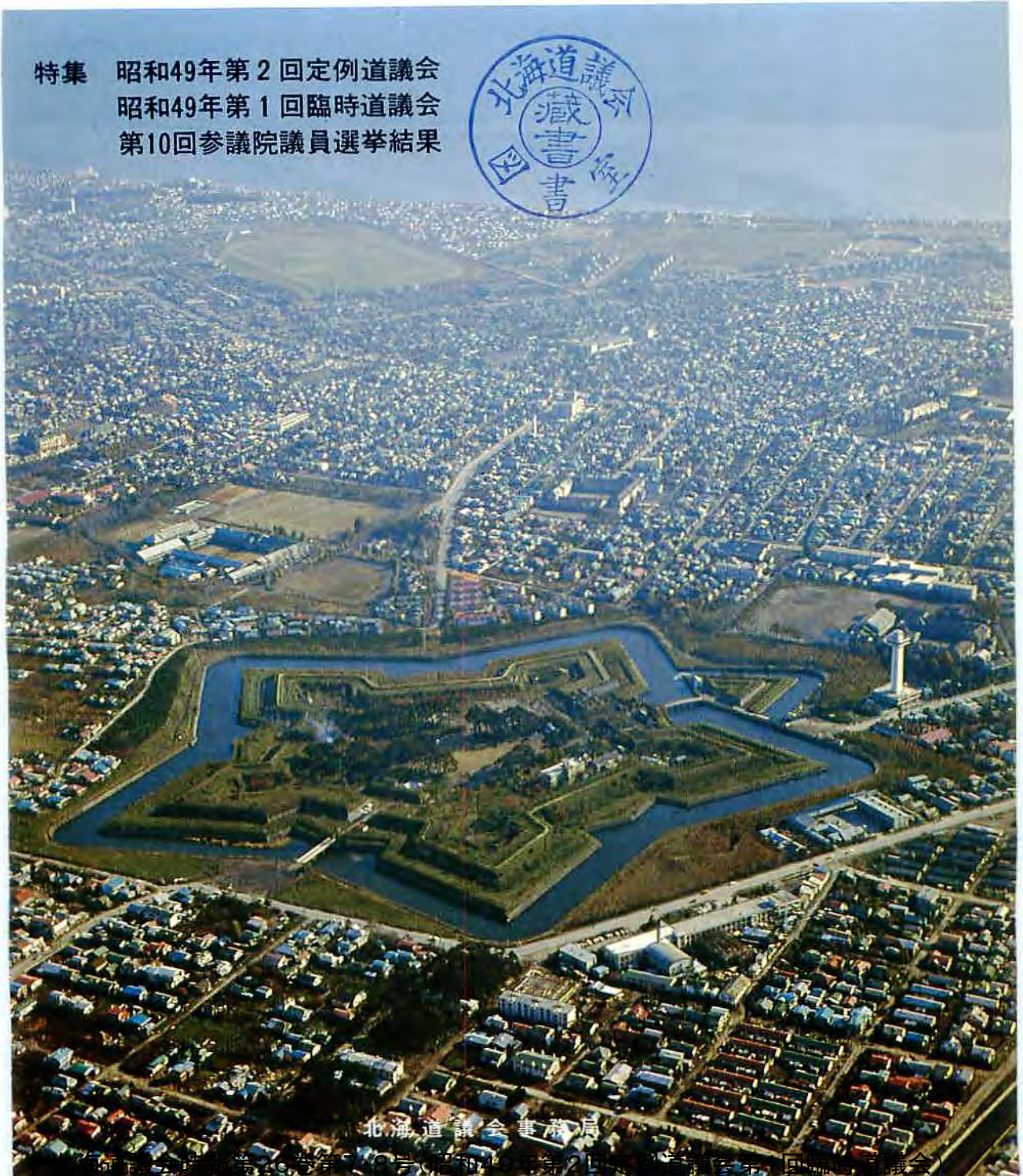


# 北海道議会時報

第26卷 第7・8号

特集 昭和49年第2回定例道議会  
昭和49年第1回臨時道議会  
第10回参議院議員選挙結果



北海道議会事務局

(表紙写真説明)

### ―特別史跡― 五稜郭跡

五稜郭は、神奈川条約（安政元年）に基づき開港された箱館を外国船から守るため、蘭学者武田斐三郎の設計により、安政4年（1857年）着工、元治元年（1864年）完成した日本最初の洋式築城で、敵に対して死角を作らないため、五つの突角に壘を築く星形をしており、外濠は、幅30メートル、周囲4キロメートル、石垣の高さは5メートル、面積約25.14ヘクタールである。

幕末から明治にかけて、この城郭を舞台に歴史的なドラマが展開された。

慶応3年（1867年）、徳川幕府の大政奉還に伴い、翌4年4月、新政府は、箱館奉行に代えて箱館裁判所を置いた（同年9月明治と改元）。しかし、同年10月、榎本武揚らの幕府脱走軍は、軍艦「開陽丸」で北上して五稜郭を占拠し、翌2年4月から5月にかけて新政府軍との間に激しい攻防の末、降伏した。この戦いは、箱館戦争といわれ、明治戊辰の役最後の戦いである。

郭内には、当時の建物としては糧秣庫が残っているだけであり、市立函館博物館分館が設置され、史料を集めて昔をしのぼせている。

昭和27年3月29日、特別史跡に指定されている。

(写真提供―函館市)

## 第2回定例道議会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	9
請 願・陳 情	12
意 見 書	18

## 第1回臨時道議会

概 要	19
本 会 議	20
提 出 案 件	24
請 願・陳 情	26
意 見 書	33

## 委員会 の 動 き

議会運営委員会	36
常 任 委 員 会	40
特 別 委 員 会	52
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
議員定数調査特別委員会	
物価対策特別委員会	
予算特別委員会	

## 会 合

全国都道府県議会議長会	64
都道府県議会議員共済会	65
東北新幹線建設促進期成同盟会	65

## 資 料

第2回定例道議会及び第1回臨時道議会 において議決を経た条例の公布調	66
第10回参議院議員通常選挙の結果	67

## 6・7月のメモ

# 議 会 日 誌

## ▶ 6 月

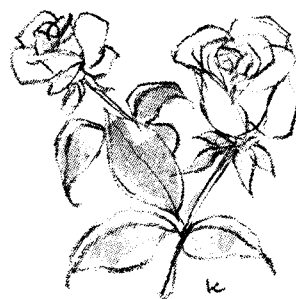
- 3日 各常任、石炭対策特別各委員会
- 4日 総務、公害対策特別、議員定数調査特別小、道民生活安定条例審査小各委員会
- 5日 物価対策特別委員会（公聴会開催）
- 6日 総合開発調査特別委員会
- 10日 石炭対策特別委員会
- 11日 厚生委員会
- 12日 条例審査小委員会
- 17日 同
- 18日 同
- 21日 議会運営委員会
- 22日 石炭対策特別委員会
- 24日 条例審査小委員会
- 27日 厚生、総合開発調査特別各委員会
- 28日 議会運営、各常任（厚生を除く）、条例審査小、物価対策特別各委員会
- 29日 議会運営、議員定数調査特別小各委員会  
本会議（会期決定、提案説明、物価対策特別委員長報告、会議案第1号撤回、道民生活安定条例案可決）

## ▶ 7 月

- 8日 議会運営委員会
- 9日 議会運営、総務各委員会  
本会議（代表質問（3人））
- 10日 議会運営委員会  
本会議（一般質問（3人））
- 11日 議会運営、総務各委員会  
本会議（一般質問（4人）、予算特別委設置）  
予算特別委員会（正副委員長互選）
- 12日 農務委員会  
予算特別委員会（各部所管審議）
- 13日 同
- 15日 議員定数調査特別小委員会
- 16日 予算特別委員会（各部所管審議）
- 17日 議会運営、各常任（厚生、農務、文教林務を除く）、物価対策特別各委員会  
予算特別委員会（各部所管審議）  
本会議（意見案第1号可決、会期延長（

1日間）

- 18日 議会運営、厚生、文教林務、総合開発調査特別、石炭対策特別、公害対策特別、決算特別各委員会  
予算特別委員会（各部所管審議、総括質疑、意見調整）  
本会議（会期延長（1日間））
- 19日 議会運営、北方領土対策特別、議員定数調査特別小、同特別各委員会  
本会議（時間延長、流会）
- 22日 議会運営委員会
- 24日 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、公害対策特別、物価対策特別各委員会  
本会議（会期決定、提案説明、公安委員選任同意、予算・決算特別委設置、意見案第1号ないし第3号可決、請願・陳情付託）  
予算特別、決算特別各委員会（正副委員長互選）
- 25日 議会運営、議員定数調査特別、予算特別各委員会  
本会議（各委員長報告、議案等可決、議員定数調査特別委調査終了、決算継続審査、閉会）
- 26日 各常任、石炭対策特別、決算特別各委員会



# 第2回定例道議会

## 道民生活安定条例案全会一致可決

### ▶議員定数をめぐり紛糾・時間切れ流会◀

#### 概 要

- ① 7月7日の参議院議員選挙を目前にした第2回定例道議会は、6月29日招集され、まず、会期を6月29日から7月17日までの19日間と決定。ついで、441億円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する条例案42件が上程され、知事から提案説明の後、前会より継続審査の会議案第1号（北海道道民生活安定条例案）について、物価対策特別委員長報告のとおり了承の後、会議案の撤回を承認し、改めて議案第22号（北海道道民生活安定条例案）が提出され、これを即決して、議案調査のため7月1日から8日まで8日間休会した。
- ② 休会明けの7月9日は、追加提出議案について知事から説明の後、直ちに代表質問、翌10日から一般質問に入り、11日には質問を終結し、同日、19人からなる予算特別委員会を設置の後、議案を各委員会に付託のうえ、各委員会における議案審査のため翌12日から16日まで5日間休会した。
- ③ 代表質問、一般質問において論議された問題は、知事の政治姿勢、食糧自給率の向上等食糧問題、国際海洋法会議に関する諸問題、明年度開発予算要求に対する姿勢、広域生活圏対策、研究学園都市構想、北海道新幹線構想、道都圏構想、3期計画改訂に関する諸問題、今後の財政運営の基本的考え方、石炭需要の確保・経営体制のあり方・朝日炭鉱閉山等石炭問題、エネルギー資源の開発、過疎地域の医療体制、市町村立病院の経営健全化、中小企業融資枠の増大並びに経営診断体制の強化、北海道価格解消の見通し・標準価格撤廃品目に対する対策・青函擬制キロ・道民生活安定条例の運用方針・農産物価格対策・都市ガス料金値上げ対策等物価問題、北教組幹部の逮捕問題、米価に対する考え方・生産調整打切り後の転作対策・農業機械導入対策と農村工業導入促進方策・農産物価格補償問題・穀物増産対策・未開発農地の利用及び乳価問題等農業問題、都市周辺農協の運営問題、ファントム戦闘機の配備等千歳周辺航空基地の諸問題、開拓記念厚生館の運営問題、職業病問題及び休廃止鉱山の鉱害対策、水産加工場公害防止対策、小規模水道工事の検査強化等が主に取りあげられた。
- ④ 予算特別委員会は、7月11日正副委員長の互選を行ない、翌12日から49年度補正予算案に対する各部所管審査を行ない、18日には知事に対する総括質疑に入り、同日、質疑を終結して直ちに意見調整を行なった結果、5項目の附帯意見を付して原案可決と決定した。
- ⑤ 本会議再開日の7月17日は、工事請負契約の締結議案2件が追加提案され、関係各委員会に付託の後、昭和49年度産産者米価に関する要望意見案を即決して、会期を翌18日まで1日間延長、18日には、議員定数問題に関する調整がつかず、更に会期を翌19日まで1日間延長した。
- ⑥ 会期最終日の7月19日は、議員定数調査特別委員会の今後の取扱いをめぐり与野党間で精力的に意見調整を行なったが、ついに意見の一致を見られず、同日夜半に開かれた同特別委員会において、調査事件の継続について採決したため紛糾、深更に再開された議運委において、会期延長などの取扱いについて意見交換を行なったが、結論を見いだし得ず、ついに時間切れのため流会。49年度補正予算等48件及び47年度各会計決算並びに各委員会付託の請願・陳情は、いずれも審議未了となった。
- ⑦ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議決の状況				計
		原案可決	撤回	報告のみ	審議未了	
知事	72	1	—	24	48	73
議員	1	1	1	—	—	2
計	73	2	1	24	48	75

注 提出件数と議決件数が符合しないのは、閉会中継続審査案件が2件あったためである。



# 本 会 議

○6月29日（土）午後零時34分開議、高橋賢一議長、昭和49年第2回定例会の開会を宣し、引き続き、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告の後、議長から、元道会議員河西貴一氏（4月26日）及び佐藤弥十郎氏（5月4日）並びに元道議会議員山内広氏（5月21日）、三浦福粹氏（5月27日）及び菊地三之助氏（6月23日）の逝去について弔辞を贈り、哀悼の意を表した旨を報告。

ついで、日程第2会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を6月29日から7月17日までの19日間と決定。

次に、日程第3議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、知事から提出議案について説明の後、

日程第4前会より継続審査の会議案第1号（北海道道民生活安定条例案）を議題とし、奈良敬蔵物価対策特別委員長（自民）から委員会における審議の経過と結果について報告の後、異議なく委員長報告を了承。諸般の報告の後、日程に追加し、前会より継続審査の会議案第1号撤回の件を議題とし、異議なく本件の撤回を承認することに決定し、諸般の報告を行ない、日程に追加し、議案第22号（北海道道民生活安定条例案）を議題とし、知事から提出議案について説明の後、委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

ついで、日程第5請願第353号及び第354号を議題とし、異議なく物価対策特別委員会に付託することを決定の後、議案調査のための休会についてはかり、7月1日から8日まで8日間休会（6月30日は休日）、9日再開することを決定して、午後零時55分散会。

## 知 事 説 明 要 旨

ただいま議題となりました昭和49年度補正予算案並びにその他の案件について、その大要を御説明申し上げます。

まず、議案第1号ないし議案第11号の補正予算案は、当面措置を要する経費及び災害復旧関係経費などについて所要の措置を講じようとするものでありまして、

その予算の総額は、

一般会計	436億5,800万円
特別会計	4億6,900万円
合計	441億2,700万円

となるのであります。

一般会計のうち、歳出の主なものとして、

まず、本年6月公衆浴場料金が改定されたことに伴い、低所得者の負担の軽減などを図るとともに、離島における公衆浴場に対し助成措置を講ずることとし、

入浴料金対策事業費	3,500万円
公衆浴場老人開放促進費補助金	1,700万円

過疎地公衆浴場対策事業費補助金 300万円  
を計上したほか、

勤労者の持ち家建設を更に促進するため、融資枠を10億円増額することとし、

持家建設促進特別対策費 5億円

を計上いたしました。

また、最近の物価の上昇に対応し、措置基準などが改定されたことに伴い、

措置費、扶助費 5億 400万円  
一般失業対策事業費 2,400万円

を計上いたしました。

更に、配合飼料価格の高騰に対処するため、昨年に引き続き低利資金の融通を図ることとし、

畜産経営特別資金融通助成事業費 9,000万円

を計上したほか、

漁業経営の現状にかんがみ、生産資材などの確保を図るため低利資金の融通を行なうとともに、本年1月のサロマ湖流水被害に対する復旧資金に対し、利子補給の措置を講ずることといたしました。

次に、本年4月の低気圧災害復旧経費及び過年公共災害復旧経費として、

土木災害復旧費 7億2,000万円  
港湾災害復旧費 1億円  
緊急地すべり対策費 2,500万円  
緊急傾斜地崩壊防止事業費 1,300万円

を計上したほか、

昨年の渡島地方大雨災害に係る災害援護資金貸付金の確定に伴い、

災害援護資金貸付金 4,600万円

を計上いたしました。

次に、公共事業については、事業の執行時期などを勘案し、前年度における繰延べ措置に伴うものを含め、当面措置を要するものについて、

総 額 203億3,700万円

を計上したほか、

農業改良普及所整備費 7,100万円  
北海道豆類価格安定基金協会出資金 5,000万円  
北方圏環境会議開催費 4,200万円  
開発関連地域振興対策調査費 800万円  
鉱山鉱害対策費 600万円  
環境アセスメント実施推進費 300万円

を計上いたしました。

また、給与費については、給与の暫定措置及び教員の給与と改善などについて所要の措置を講ずることとし、

総 額 206億6,400万円

を計上いたしました。

これに見合う歳入の主なものとして、

国庫支出金 204億3,200万円

地方交付税	111億6,000万円
繰入金	50億1,400万円
繰越金	35億3,300万円

を計上いたしました。

また、特別会計のうち、主なものといたしましては、

札幌医科大学附属病院特別会計	1億2,900万円
道有林野事業会計	1億6,900万円
病院事業会計	1億5,000万円

を計上いたしました。

次に、その他の案件の主なものについて申し上げます。

議案第12号共同営農用地開発事業負担金等徴収条例案は、農用地開発公団が行なう農用地開発事業に係る負担金及び特別徴収金について、必要な事項を定めようとするものであり、

議案第16号北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案は、修学資金の貸付額の引上げなどの措置を講じようとするものであり、

議案第19号社団法人北海道豆類価格安定基金協会に対する出資の件は、豆類の価格の安定を図るため出資しようとするものであります。

以上、今回提案いたしました案件の主なものについて、その大要を御説明申し上げた次第であります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

## 物価対策特別委員長報告

私は、物価対策特別委員会に付託されました会議案第1号北海道道民生活安定条例案審査の経過について御報告いたします。

御承知のとおり、本件は、第1回定例会におきまして本委員会に付託のうえ、継続審査とされたものであります。さる5月24日の委員会におきまして、審査の方法について協議の結果、本委員会に道民生活安定条例審査小委員会を設置し、案件を付託して審議することに決定した次第であります。

じ来、小委員会は、5月24日から6月28日までの7日間 にわたり開催され、終始御熱心に審議が行なわれた次第であります。

以下、小委員会における質疑、意見交換の主なる事項を申し上げますと、

条例制定の目的とその考え方について。公開、公表、明らか等の字句の使い方について。市町村の責務及び道と市町村との協力について。行政機関の長に対する要請について。北海道価格の解消について。道民生活安定審議会のあり方について。物価監視員及び物価モニター設置について。消費者保護について

など道民生活にかかわる重要な問題について論議が交わされた次第であります。小委員会の審議の過程におきまして協議いたしました結果、会議案を骨子として、各会派の

意見を加味した条例案の要綱を作成することとし、これを踏まえて意見調整を行なうことに意見の一致をみた次第であります。

かくして、小委員会における意見調整の結果、別紙お手もとに配付のとおり、北海道道民生活安定条例案要綱（別紙省略）が作成され、6月28日の小委員会において全会一致をもって決定し、この決定に伴いまして、理事者に対し、知事から提案することについて意向表明を求めましたところ、知事としては、この要綱に基づききわめて早い機会に北海道道民生活安定条例を提案したい旨の発言があり、これを了承した次第であります。

また、以上のような議案審査の経緯にかんがみまして、会議案第1号につきましては、提案者側から撤回の手续をとる旨の意向表明がなされたのであります。

以上申し上げました小委員会の経過につきまして、昨日の本委員会において小委員長から報告があり、全会一致、小委員長報告を了承した次第であります。

以上、本委員会に付託されました会議案審査の経過を申し上げ、私の報告を終わります。

## 知事説明要旨

ただいま議題となりました議案第22号について御説明申し上げます。

議案第22号北海道道民生活安定条例案は、昨今の道内における物価の高騰などの経済情勢にかんがみ、道民の消費生活に関連性の高い物資及びサービス並びに道内経済上重要な物資について、買占め及び売惜しみの防止、価格等の引下げの措置など価格等の安定及び流通の円滑化を図るための施策を講ずるとともに、物資等による危害の防止、物資等の適正表示の推進など消費者の保護を図るための施策を講じ、道民生活の安定向上に資しようとするものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○7月9日（火） 午前11時55分開議、諸般の報告の後、  
日程第1請願第356号を議題とし、異議なく物価対策特別委員会に付託することに決定。

ついで、日程第2議案第23号及び第24号を議題とし、知事から提出議案について説明の後、

日程第2にあわせ、日程第3議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、代表質問に入り、

野中 富雄議員（社会）から、①知事の政治姿勢に関し、老人医療無料化等社会的不平等の現状に対する道政執行上の基本姿勢、無料化対象年齢引下げの決意と施策、地域格差解消計画





策定の必要性、  
②食糧政策に関し、食糧自給率の向上と本道農・漁業の役割及び拡大政策のための早急な調査研究体制と国への働きかけ、農業政策の根本的な検討の考えと本道食糧生産のシェア、本道水産業の方向と国際情勢及び不安解消の積極的姿勢、国際海洋法会議が日ソ間漁業協定及び大型船の沿岸漁業に及ぼす影響並びに200カイリ経済水域に対処する考え、明年度開発予算要求に対する考え方、

③総合開発計画の諸問題に関し、3期計画の従来の観点と経済的側面から考え直す必要性及び国の長期計画と3期計画の改訂に対する姿勢、現行道開発法と道民参加・福祉を前提とした改正の考え、

④石炭問題に関し、審議会の基本方針と3期計画との関連、石炭の需要確保と供給量に対する考え、公社化の場合の所有形態、北海道としての石炭産業の役割、朝日炭鉱の閉山阻止に対する具体策と再開の見通し、

⑤医療政策に関し、過疎市町村の医療体制の充実と財政的援助対策及び医師招へいに対する負担対策、休日・夜間における災害救急・急病対策及び公設民営の夜間急病センター方式の積極的推進と建設費の全額道費負担及び運営費の赤字補てん対策、一定地区ごとに指定病院を建設する考え、医療水準の引上げと道民要求への対応策、

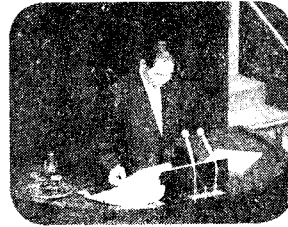
⑥中小企業倒産対策に関し、総需要抑制による倒産増加の現状及び道の諸金融制度の融資枠の拡大、保証協会の保証能力の大幅拡大、道の経営診断指導体制の強化等の諸対策、

⑦物価問題に関し、北海道価格解消の今後の見通し、特にセメント価格の対策及び移出入の是正等適正な指導、標準価格撤廃品目に対する方策、特に灯油に対し道独自の標準価格設定の考え、青函擬制キロに対する中央折衝の経過と撤廃されない理由、農畜水産物の生産コスト上昇による生活圧迫と価格安定対策、

⑧教育の諸問題に関し、北教組に対する捜査の判断と根拠及び他府県との相違、あおり行為に

対する見解、教育界に与える影響、教育長の中入れ内容と道警の回答、今回の捜査に対する教育委員長の見解と道教委不信に対する考え及び今後の対処方針等について

質問があり、議事進行の都合により午後1時5分休憩、午後2時14分再開。知事、道警本部長及び教育委員長から答弁、野中議員から再質問（2回）、知事、道警本部長及び教育委員長から答弁。議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時8分休憩、午後4時25分再開。ついで、



田 莉子 政太郎議員（自民）から、①物価問題と道民生活に関し、道民生活安定緊急対策本部設置の成果と今後の決意、道民生活安定条例の運用に対する決意、灯油の価格と供給の安定に係る国への強力な要請と道独自の施策、北海道価格の解消と辺地・離島における物価高解消の考え、農産物等の長距離フェリー輸送の考え、本年下半年における本道経済の見通し、当初留保した公共事業費補正の基本的考え方と今回の補正残部分に対する今後の予算措置及び今後の財政運営の基本的な考え方、

②開発の諸問題に関し、地域の均衡ある都市整備と緑豊かな都市建設の考え、道央地域の工場分散と内陸型工業の導入促進対策、立ち遅れている広域生活圏に対する道の財政投融資事業及び国の開発公共事業配分に当たっての配慮方、研究学園都市誘致運動の推進と建設適地選定に当たっての配慮、北海道新幹線建設構想と釧路・網走・稚内まで延長する考え、高速自動車道建設の考え方、エネルギー問題について、道鉱業振興委員会提言の「石炭対策に対する基本方針」の受けとめ方、石油・天然ガス・地熱等道内エネルギー資源開発の将来性と有効利用及び安定供給のための原子力発電所建設の積極的推進、3期計画総点検の考え方と明年度開発予算要求に対する所信、

③食糧自給率の向上と農漁業問題に関し、農政に対する姿勢と基本的考え方、米の生産調整打ち切り後の土地改良区の運営対策及び稲作対策、米価に対する考え方と農産物価格制度の抜本的改善、大規模経営農業の事業計画推進のための

予算確保と農業機械導入のための共同利用銀行制度等の指導奨励の強化の考え、農村工業導入促進の今後の方策、第3次国連海洋法会議の動きと沿岸経済水域問題に積極的に取り組む必要性、

④社会福祉問題に関し、市町村立病院の経営健全化に対する国への働きかけと医師の地方分散のための医療センター設置の考え、車いすの利便を考慮した福祉の街づくりの具体策と都市の改善整備対策、

⑤教育問題に関し、道徳教育の振興、充実対策と4・11スト参加者に対する処置等について質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、



石川 十四夫議員

(道政ウ) から、①物価対策に関し、家庭用灯油の標準価格に係る国への働きかけ及び標準価格撤廃

後の小売店の販売量制限の実態把握とその未然防止並びに新標準価格設定の時期と価格、プロパンガスの流通過程段階別の価格形成と本州との格差及び格差解消の見通しと具体策、

②道都圏構想に関し、札幌市の過密化防止と地方市町村の過疎化防止のための地方都市育成に対する見解、道都圏圏域設定の考え方と産炭地振興等との関連、

③石炭対策に関し、半官半民の石炭生産会社の設立と販売機構の統一化、新鉱開発等政府への要請の考え、

④研究学園都市構想に関し、道総合開発委員会答申に対する受けとめ方と具体的計画及び産炭地域振興との関連、

⑤米価問題に関し、要求米価実現に対する決意等について

質問があり、知事から答弁があって、午後7時2分延会。

## 知事説明要旨

ただいま議題となりました議案第23号及び議案第24号について御説明申し上げます。

議案第23号北海道職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案は、特種勤務手当のうち税務手当について、その額を改定しようとするものであり、

議案第24号学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案は、学校教育法の一部改正により教頭等の職が定められたことに伴い、関係条例について所要の整備を行なおうとするものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○7月10日(水) 午前11時30分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第21号、第23号、第24号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、質疑並びに一般質問に入り、

松本 響委員(自民)から、農業に係る諸問題に関し、世界的食糧不足の現状に対応する穀物増産の抜本的対策と開拓適地開発の可能性、未開発適地の現況把握、特にゴルフ場等の実情認識、開発未利用地の利用に係る農協の活用、乳価・てん菜価格の算定根拠と再生産の確保、医療・教育等農村生活環境施設の格差是正に対する所見等について

質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後零時4分休憩、午後1時36分再開。ついで、

中田 繁夫議員(社会)から、①千歳航空基地の諸問題に関し、ファントム戦闘爆撃機の千歳配備に対する所見、住民生活擁護の立場と千歳基地周辺における騒音被害に対する認識、特別管制区域内における航空法遵守方の自衛隊への嚴重申入れと米軍機の飛来中止の申入れ、航空機墜落の可能地区と千歳市泉沢地区の住宅団地造成に対する所見、千歳航空基地の移動に係る国への働きかけ、騒音による潜在的り病者と基地周辺住民の健康調査の考え、

②白老町開拓記念厚生会館の運営に関し、会館設立に至った経過と従来の運営主体である一部事務組合の解散及び白老町への財産譲渡の理由、会館運営に対する道の指導のあり方及び町条例に対する措置等について

質問があり、知事から答弁、中田議員から再質問、知事から答弁。ついで、

湯田 倉治議員(社会)から、①都市周辺農協の運営に関し、札幌市厚別農協と三菱地所の土地売買に伴う差額金と農民に支払われない理由、宅建法無免許者の土地売買と謝礼金の利益計上に対する所見、都市周辺農協に対する定例監査実施の考え、

②朝日炭鉱閉山問題に関し、新鉱開発計画に伴う資金不足の手当と国への開発要請の考え、賃

金の支払遅延に対する指導の考え、閉山問題の早期解決の方策等について

質問があり、知事から答弁、湯田議員から再質問、知事から答弁があって、午後3時9分延会。

○7月11日(木) 午前11時40分開議、諸般の報告の後、  
日程第1請願第357号を議題とし、異議なく総合開発調査特別委員会に付託することに決定。ついで、日程第2議案第1号ないし第21号、第23号、第24号及び報告第1号ないし第21号を議題とし、一般質問を続行、

湯本 芳志議員(社会)から、職業病対策に関し、本道における職業病の実態把握と職業病対策協議会の運営のあり方、早期発見のための作業管理等の調査・研究等に対する予算・人員配置の考えと民間研究団体に対する補助金引上げ及び職業病予防のための啓発運動等について質問があり、知事から答弁、湯本議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後零時5分休憩、午後1時55分再開。諸般の報告の後、

小野 秀夫議員(道政ク)から、休業止鉱山対策に関し、本年閉山した伊達鉱山経営者の自殺事故の調査と国の行政指導の適否及び嚴重な申入れと道の責任、国・道・市町村の連携による中小企業の鉱害対策、鉱廃水の迅速な処理と長期間放流の責任及び今後の対策、元幌別鉱業所鉱廃水対策の事業主体に対する見解と道が実施する考え及び鉱廃水中和処理施設の労働環境対策と沈でん池の決壊防止対策並びに責任体制等について

質問があり、知事から答弁、小野議員から再質問、知事から答弁。ついで、

本間 喜代人議員(共産)から、①知事の政治姿勢に関し、企業ぐるみ選挙、金権選挙に対する見解、伊達周辺町村への北電の寄附受入れあつ旋に対する見解、値上げ認可された電灯料金等に対する措置と今後見込まれる公共料金値上げに対する方策、

②3期計画に関し、農畜産物価格補償に対する考えと優良農地の保存に対する基本姿勢、中空知中核工業団地に対する各部の意思統一の必要性と知事の直接接合の有無、苫東基地早来住宅団地の用水計画と農業用水との関連、鶴川町住宅団地の土地購入と開拓パイロット事業に対する道費投入との関連、第三セクター構成メンバーから大手企業排除の考え、

③道民の暮らしに係る諸問題に関し、馬鈴しょウィルス病の現況及び減収と緊急防除事業の補助対策の必要性、原種の管理対策と一般農家に対する被害補償の考え及び明年度の再生産種子の確保対策等について

質問があり、知事から答弁、本間議員から再質問(2回)、知事から答弁。ついで、

高橋 鉦議員(公明)から、①道民生活の擁護に関し、灯油・都市ガスの供給量確保と料金値上げとの関連に対する見解、灯油の低所得者対策、本道の都市ガス料金値上げ防止対策と料金体系改善の考え、A F 2等食品添加物に対する行政指導の基本姿勢と有害食品添加物の検査体制の強化及び国への使用制限要請の考え、

②環境問題に関し、稚内市における水産加工場の公害防止対策と公共下水道の整備対策及び悪臭防止に係る施設改善の考え方並びに技術者養成対策、原子力発電について、既存原子力発電所の事故と国に対する安全確保要請の考え、北電の核燃料に対する事前措置に係る道との連携、岩内原発建設に対する見解と安全性に対する認識、

③簡易水道問題に関し、宅地造成に伴う小規模水道工事の実態と検査の強化等について

質問があり、知事から答弁、高橋議員から再質問、知事から答弁。ついで、日程第1の議事を中止し、日程に追加し、議案第25号を議題とし、知事から提出議案について説明の後、日程第2にあわせ、追加日程議案第25号を一括議題とし、議事を継続、質疑並びに一般質問を終結。次に、尾崎豊議員(道政ク)から、予算に関連する議案については、なお慎重審査の必要があると認められるので、本議会に19人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨の動議を提出、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定し、直ちに、次の委員を議長指名により選任のうえ、議案第1号ないし第11号及び第19号を予算特別委員会に付託した。

#### ○予算特別委員

伊藤 知則(自民)	小笠原 孝(自民)
石川十四夫(道政ク)	笹井 望(自民)
鈴木 誠二(社会)	山科 喜一(共産)
大方 春一(社会)	奥野 一雄(社会)
影山 豊(社会)	松尾 静江(自民)
松本 響(自民)	作田 政次(自民)
高橋正四郎(自民)	田 莉子政太郎(自民)

西村 慎一(自 民) 石畑 久成(自 民)  
笠島 保(社 会) 塚本 肇(社 会)  
奥野 善造(自 民)

次に、残余の案件について、議案第25号は総合開発調査特別委員会に、議案第12号は農務委員会に、議案第13号ないし第15号、第18号、第23号、報告第1号、第2号、第4号、第5号、第8号及び第9号は総務委員会に、議案第16号及び報告第10号は厚生委員会に、議案第17号、第24号、報告第3号、第6号及び第15号ないし第21号は文教林務委員会に、議案第20号、報告第7号及び第11号ないし第13号は建設委員会に、議案第21号及び報告第14号は農地開発委員会にそれぞれ付託することを決定の後、各委員会付託議案審査のための休会についてばかり、異議なく7月12日から16日までの5日間休会、17日再開することを決定して、午後4時40分散会。

### 知 事 説 明 要 旨

ただいま議題となりました議案第25号について御説明申しあげます。

議案第25号十勝ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件は、特定多目的ダム法第4条第4項前段の規定により基本計画について建設大臣から意見を求められたので、同項後段の規定により議決を得ようとするものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申しあげます。

○7月17日(水) 午後4時48分開議、諸般の報告の後、  
日程第1議案第26号及び第27号を議題とし、知事から提出議案について説明の後、異議なく議案第26号は厚生委員会に、議案第27号は文教林務委員会に付託することを決定。

ついで、日税第2意見案第1号(昭和49年産生産者米価に関する要望意見書)を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、異議なく原案のとおり可決。

ついで、日程第3会期延長の件を議題とし、異議なく会期を7月18日まで1日間延長することを決定して、午後4時52分散会。

### 知 事 説 明 要 旨

ただいま議題となりました議案第26号及び議案第27号について御説明申しあげます。

議案第26号及び議案第27号の工事請負契約の締結に関する件は、工事請負契約について議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議決を得ようとするものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申しあげます。

○7月18日(木) 午後4時50分開議、諸般の報告の後、  
日程第1会期延長の件を議題とし、異議なく会期を7月19日まで1日間延長することを決定して、午後4時51分散会。

○7月19日(金) 午後4時43分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長して、午後4時42分休憩、その後再開するに至らず流会。

## 第2回定例道議会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
6. 29	1	昭和49年度北海道一般会計補正予算（第1号）		審議未了
同	2	昭和49年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第1号）		同
同	3	昭和49年度北海道真駒内大麻団地開発事業特別会計補正予算（第1号）		同
同	4	昭和49年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第1号）		同
同	5	昭和49年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）		同
同	6	昭和49年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）		同
同	7	昭和49年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第1号）		同
同	8	昭和49年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）		同
同	9	昭和49年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）		同
同	10	昭和49年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）		同
同	11	昭和49年度北海道有料道路事業会計補正予算（第1号）		同
同	12	公団営農用地開発事業負担金等徴収条例案		同
同	13	北海道議会議務局職員定数条例の一部を改正する条例案		同
同	14	北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案		同
同	15	北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案		同
同	16	北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案		同
同	17	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案		同
同	18	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案		同
同	19	社団法人北海道豆類価格安定基金協会に対する出資の件		同
同	20	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件		同
同	21	工事請負契約の締結（中樹林地区道宮かんがい排水事業）に関する件		同
同	22	北海道道民生活安定条例案	6. 29	原案可決
7. 9	23	北海道職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案		審議未了
同	24	学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案		同
7. 11	25	十勝ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件		同
7. 17	26	工事請負契約の締結（北海道立小児総合保健センター新築追加工事）に関する件		同
同	27	工事請負契約の締結（北海道立美術館（躯体）工事）に関する件		同

### 報 告

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
6. 29	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）		審議未了
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（北海道知事等の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）		同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）		同

提出月日	番号	件名	議決月日	議事結果
6. 29	4	専決処分報告につき承認を求める件（北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）		審議未了
同	5	専決処分報告につき承認を求める件（北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例6月11日専決処分）		同
同	6	専決処分報告につき承認を求める件（財産の取得に関する件4月11日専決処分）		同
同	7	専決処分報告につき承認を求める件（損害賠償の額の決定に関する件5月1日専決処分）		同
同	8	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（札幌医科大学第2看護婦宿舍改築第2期工事）に関する件6月20日専決処分）		同
同	9	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道消防学校寮舎新築第2期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道立肢体不自由年長児訓練施設新築工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	11	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（道道月形江別線石狩大橋架換（下部）工事）に関する件5月25日専決処分）		同
同	12	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（道道千歳鷗川線苫小牧市宇美沢地内踏切除却工事）に関する件5月25日専決処分）		同
同	13	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（道道小樽港線3-2-4臨港線道路改良工事）に関する件6月6日専決処分）		同
同	14	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（大富地区道管かんがい排水事業）に関する件6月6日専決処分）		同
同	15	専決処分報告につき承認を求める件（船舶建造請負契約の締結に関する件6月17日専決処分）		同
同	16	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道苫小牧東高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	17	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道紋別北高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	18	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道札幌北陵高等学校校舎新築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	19	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道斜里高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	20	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道名寄高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	21	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道札幌盲学校校舎改築第4期工事）に関する件6月24日専決処分）		同
同	22	昭和48年度北海道継続費繰越計算書報告の件		報告のみ
同	23	昭和48年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件		同
同	24	昭和48年度北海道事故繰越し繰越計算書報告の件		同
同	25	昭和48年度北海道工業用水道事業会計継続費繰越計算書報告の件		同
同	26	昭和48年度北海道病院事業会計予算繰越計算書報告の件		同
同	27	昭和48年度北海道有林野事業会計予算繰越計算書報告の件		同
同	28	昭和48年度北海道北広島団地開発事業会計予算繰越計算書報告の件		同
同	29	昭和48年度北海道工業団地開発事業会計予算繰越計算書報告の件		同
同	30	昭和48年度北海道電気事業会計予算繰越計算書報告の件		同
同	31	昭和48年度北海道工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件		同

提出月日	番号	件名	議決月日	議事結果
6. 29	32	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件		報告のみ
同	33	北海道土地開発公社の経営状況に関する件		同
同	34	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件		同
同	35	社団法人北海道私学振興基金協会の経営状況に関する件		同
同	36	社団法人北海道私立各種学校基金協会の経営状況に関する件		同
同	37	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件		同
同	38	社団法人北海道指定野菜価格安定基金協会の経営状況に関する件		同
同	39	財団法人国立旭川医科大学設置協力会の経営状況に関する件		同
同	40	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件		同
同	41	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件		同
同	42	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件		同
同	43	社団法人北海道産炭地域振興基金協会の経営状況に関する件		同
同	44	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件		同
同	45	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定 5月1日1件、5月14日7件、5月24日3件、5月25日1件、5月31日1件、6月17日1件、6月20日1件、6月22日3件、6月24日2件専決処分）		同

### 議員から提出のあった案件

#### 意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
7. 17	1	昭和49年産生産者米価に関する要望意見書	三上 勇君ほか12人	7. 17	原案可決

### 前会から継続審査中の案件

#### 報告

提出月日	番号	件名	議決月日	議事結果
48.12.8	3	昭和47年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件		審議未了

#### 会議案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
4. 5	1	北海道道民生活安定条例案	湯田 倉治君ほか43人	6. 29	撤回

## 請 願 ・ 陳 情

①第2回定例道議会において、各常任・特別委員会に付託された請願・陳情は、次のとおりである。

### 請 願

文書表番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 果 実
349	大森、珊内区間の海岸道路工事路線変更による早期着工の件	神恵内村長 高山庸一ほか1人	総 務	審議未了
350	アルコール中毒センター及びハーフウェイハウス設置に関する件	北海道断酒連合会長 原田ひろし	厚 生	同
351	休日、夜間における医療体制の確立の件	社団法人北海道勤労者医療協会 理事長 塚田竜爾	同	同
352	北海道追分高等学校校舎改築の件	北海道追分高等学校校舎改築促進期成 会長 追分町長 中村喜一	文教林務	同
353	灯油の安定価格及び安定供給維持のための行政措置に関する件	生活協同組合市民生協 専務理事 真鍋康弘	物価対策 特 別	同
354	各種公共料金のすえおきと生活必需物資の価格高騰をおさえるための行政措置に関する件	同	同	同
355	昭和49年米政府買入価格の大巾引上げ等に関する件	北海道農業会議 会長 安藤友之輔	農 務	同
356	家庭用灯油の大幅値上げ反対に関する件	くらしと権利を守る諸要求貫徹実 行委員会 代表者 藤田新一	物価対策 特 別	同
357	大量高速輸送機関の運行確保に関する件	江別市長 山田利雄ほか3人	総合開発 調査特別	同
358	道立太陽の園職員の労働条件改善と道職員なみ待遇要求の件	北海道福祉事業団太陽の園労働組 合 執行委員長 横井寿之	厚 生	同
359	街灯の整備の件	千歳市東雲町東町内会 会長 山岡上治	総 務	同
360	市道の道道昇格及び整備促進に関する件	砂川市長 山口正直ほか3人	建 設	同
361	北海道浜益高等学校の道立移管の件	浜益村長 大江政雄ほか1人	文教林務	同
362	非常勤講師の待遇改善に関する件	札幌講師懇談会 代表 神谷敏成	同	同
363	道営競走馬トレーニングセンター設置の件	日高町村会長 浜口光輝ほか5人	農 務	同
364	北海道大学農学部附属酪農科学研究施設及び帯広畜産大学附属草地畜産実験施設の整備に関する件	札幌市中央区北4条西1丁目 北 修二	同	同
365	北海道公共牧場施設及び環境整備事業等経営に関する件	北海道公共牧場管理運営団体長 代表者 上士幌町長 金野四郎ほか4人	同	同

### 陳 情

文書表番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 果 実
101	道営北広島団地内への札幌東警察署部長派出所早期設置実現の件	札幌市と広島町の合併推進住民協 議会 本部長 川原哲男ほか2人	総 務	審議未了
102	昭和49年度公共事業の早期発注の件	北海道中小企業家同友会 代表理事 井上良次	同	同

②継続審査中のものであって、今期定例会において取下げがあり、又は流会のため審議未了となったもの。

### 請 願

文書表番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 果 実
3	深川市に国立医科大学設置の件	総 務	審議未了



文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
4	道立婦人会館建設の件	総務	審議未了
7	釧路市に国立医科大学設置の件	同	同
39	登別市に警察署を設置の件	同	同
86	個人企業税制に関する件（ほか3件）	同	同
148	千歳市に国連大学設置の件	同	同
166	道道忠別、清水線（大雪縦貫道路）の建設中止の件	同	同
220	横断歩道設置の件	同	同
221	住民生活の安全確保に関する件	同	同
222	交通信号機設置の件	同	同
223	騒音規制措置等の件	同	同
235	選挙制度の改悪反対決議要請の件	同	同
252	個人事業税等の減免に関する件	同	同
261	ボウリング場娯楽施設利用税減税の件	同	同
268	大森、珊内区間の海岸道路工事早期完成の件	同	同
270	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	同	同
283	信号機設置の件	同	同
305	地方公営企業に関する件	同	同
307	交通問題に関する件	同	同
308	地方自治に関する件	同	同
309	減税に関する件	同	同
310	軍事問題に関する件	同	同
346	札幌医科大学の食堂の料金値上げ阻止等の件	同	同
12	65歳以上の老人医療無料化の件	厚生	同
31	いのちとくらしを守るための件	同	同
32	「子供の国」設置の件	同	同
79	生活保護世帯、低所得世帯に対する夏期手当、年末手当（見舞金）制度化の件	同	同
80	老令者に対する敬老金制度化の件	同	同
91	こどもの国設置に関する件	同	同
134	社会福祉施設等の充実の件	同	同
170	65歳以上の老人医療費無料化の件	同	同
171	敬老手当制度化の件	同	同
214	道立衛生学院の修学資金制度の改善及び院外実習費保障の件	同	同
226	スモン病患者援護対策の件	同	同
227	厚生年金保険老令年金の制度改正に関する件	同	同
239	生活保護家庭の夏期生活資金（見舞金）支給の件	同	同

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
245	消費生活協同組合法改正に関する件	厚生	審議未了
259	道立肢体不自由児療育センター設置の件	同	同
264	道立寿都病院改築の件	同	取下げ
271	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	同	審議未了
280	公衆浴場の運営に対する助成の件	同	同
291	道内難病患者団体の運営と事業に対する道費補助の件	同	取下げ
292	あん摩、マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の無資格者対策の件	同	審議未了
299	船員保険法改正に関する件	同	同
312	社会福祉に関する件	同	同
313	社会保障に関する件	同	同
314	清掃事業に関する件	同	同
315	清掃事業に対する財政措置に関する件	同	同
316	衛生医療に関する件	同	同
340	身体障害者福祉事業施設の管理委託及び暫定措置の件	同	同
341	未熟児網膜症児童の養護施設並びに教育施設設置の件	同	同
73	中高年令求職者の救済事業実施の件	商工労働	同
98	建設労働者に対する生活保障の件	同	同
165	失業保険制度改善要望の件	同	同
236	失対事業に働く労働者の生活確保の件	同	同
272	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	同	同
284	道内の各産業労働者の健康及び労働実態調査費用の予算化の件	同	同
300	無担保、無保証人融資制度創設に関する件	同	同
301	失業保険制度を廃し、雇用保険制度を創設することに反対の件	同	同
303	雇用を安定し、失業保障に関する件	同	同
304	中小企業に対する北海道中小企業特別融資制度創設の件	同	同
317	中小企業関係に関する件	同	同
318	労働条件改善の件	同	同
328	失業保険制度の廃止に反対の件	同	同
338	労働者対策に関する件	同	同
302	農業政策に関する件	農務	同
330	昭和48年度生産者米価に係る追加払い並びに昭和49年度生産者米価決定の適正化に関する件	同	同
337	農業問題に関する件	同	同
344	当面する北海道農業危機突破のための措置に関する件	同	同
348	畜産農業振興に関する件	同	同
180	大型店舗誘致反対の件	建設	同

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
193	水産加工場の排水汚水対策の件	建設	審議未了
194	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	同	同
197	国土開発幹線自動車道路の路線変更の件	同	同
206	幌別川砂利採取中止の件	同	同
228	石狩川札幌大橋架設等の件	同	同
285	公共下水道施設完備の件	同	同
287	国土開発幹線自動車道路江別市通過ルート（南北線）の路線変更の件	同	同
319	住宅に関する件	同	同
331	急傾斜地崩壊防止に関する件	同	同
332	阿寒川堤防改良工事等の促進の件	同	同
339	がけ地の早期整備補強対策の件	同	同
52	土地改良事業再施行の件	農地開発	取下げ
76	道営かんがい排水整備事業取止めの件	同	審議未了
78	草地造成事業の再施行の件	同	取下げ
186	100トン以上大型いかつり漁船の操業縮小規制の件	水産	審議未了
195	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	同	同
15	除草剤散布反対の件	文教林務	同
100	公立高校小学区制の回復、高校進学希望者の全員入学達成、高校増設、私学への大幅な公費助成、教育費父母負担軽減の件	同	同
103	高校入試3科目制反対の件	同	同
132	文化財保護の件	同	同
143	公立高校小学区制の回復、入試科目削減反対の件（ほか1件）	同	同
144	公立高校小学区制の回復、入試科目削減反対、帯広市に公立高校新設、私学への大幅な公費助成に関する件	同	同
145	学校法人旭川大学（大学、短大、高校、幼稚園）の存続再建のための特別助成及び融資の実現と同時に広く道内私学への大幅な公費助成の件	同	同
160	私立大学の設備費補助金増額の件	同	同
178	道立高等学校増設及び私立高等学校振興策の改善の件	同	同
255	小樽市における全日制公立高校普通科の増設、私学への大巾助成と小学区制復活の件	同	同
265	北海道長沼高等学校の間口増の件	同	同
266	北海道東川高等学校全日制への課程変更の件	同	同
269	道立工業高等学校に設備工業科新設の件	同	同
273	養護学校高等部の設立の件	同	同
281	非常勤講師の待遇改善の件	同	取下げ
286	私学の父母負担を軽くし教育条件等をよくする件	同	審議未了
321	教職員定数増の件	同	同
322	児童、生徒及び教職員の健康と福祉対策の件	同	同

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
323	高等学校全員就学と後期中等教育充実の件	文教林務	審議未了
324	埋蔵文化財の調査、保護の件	同	同
325	林業政策の件	同	同
334	インフレ、物不足、高物価から道民の暮らしをまもる措置の件	同	同
335	公立高校の大巾な増設と小学区制の回復の件	同	同
342	未熟児網膜症児童の養護施設並びに教育施設設置の件	同	同
343	宿日直員の待遇改善の件	同	同
347	砂川南高等学校公宅敷地確保の件	同	同
136	新幹線札幌駅乗入促進の件	総合開発 調査特別	同
248	夕張鉄道輸送運行路線にかかわる旅客列車存続確保に関する件	同	取下げ
250	女満別空港整備の件	同	審議未了
326	北海道第3期総合開発計画改訂に関する件	同	同
69	炭鉱離職者と家族、関連企業離職者救済事業実施の件	石炭対策 特別	同
232	滝口炭鉱閉山に伴う産炭地域振興対策の件	同	同
233	炭鉱災害の絶滅及び労働者の生命と権利遵守の件	同	同
262	釧路地域に石炭専焼火力発電所建設の件	同	同
94	泊、共和地区に原子力発電所設置反対の件	公害対策 特別	同
234	騒音規制措置等の件	同	同
276	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	同	同
327	公害防止に関する件	同	同
306	物価対策に関する件	物価対策 特別	同
311	公共輸送石油危機解決に関する件	同	同
333	インフレ、物不足、高物価から道民の暮らしをまもる措置の件	同	同

## 陳 情

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
3	道立婦人会館建設の件	総務	審議未了
42	北海道開拓の日制定の件	同	同
56	札幌陸運事務所小樽出張所設置の件	同	同
78	「道民の日」制定の件	同	同
92	大森、珊内区間の海岸工事中止の件	同	取下げ
95	出張車検日程増加の件	総務	審議未了
96	神恵内地区における海岸道路の早期開通の件（ほか1件）	同	取下げ
97	浜頓別町に警察署設置の件	同	審議未了
7	長期入院患者への夏期生活保障金（見舞金）支給の件	厚生	同
18	長期入院患者への冬期生活保障金（見舞金）支給の件	同	同

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
28	南宗谷地域センター病院設置の件	厚生	審議未了
29	稚内保健所支所設置の件	同	同
32	清掃施設整備に対する道費補助の件	同	同
43	長期入院患者への夏期生活保障金（見舞金）支給の件	同	同
44	枝幸町に地域センター病院設置の件	同	同
71	慢性疾患児に対する療育費給付拡充の件	同	取下げ
76	生協の違法行為規制に関する件	同	審議未了
90	道立看護婦養成施設設置の件	同	同
91	道立肢体不自由児養護施設設置の件	同	同
33	原子力発電所設置促進の件	商工労働	同
62	公営独身寮建設の件	同	同
63	道内中小企業向け持家制度の件	同	同
64	札幌市中央卸売市場東部市場開場の件	同	同
77	札幌交通センタービル（仮称）建設にともなうショッピング部門の併設計画の件	同	同
86	北海道商工指導センター支所設置の件	同	同
87	北海道立釧路専修職業訓練校に溶接科増設の件	同	同
100	大雪山国立公園内層雲峡地区における地熱開発事業の促進の件	同	同
38	農地買収処分調査の件	農務	同
26	ボウリング場建設に伴う公害排除の件	建設	同
60	国土開発幹線自動車道（北海道縦貫道）建設促進の件	同	同
61	北海道縦貫自動車道路札幌岩見沢路線の建設促進の件	同	同
69	道道士幌、然別湖線の建設中止の件	同	同
70	一般道道士幌、然別湖線工事の早期完成の件	同	同
88	札幌大橋（仮称）架設等の件	同	同
98	北海道縦貫自動車道の江別市通過ルート（素案）の撤回と再検討を求める件	同	同
93	勸奨退職者に対する優遇措置の件	文教林務	同
94	北海道野幌高等学校校舎新設の件	同	同
80	中空知圏域に石炭専焼火力発電所設置の件	石炭対策特別	同
81	石炭化学研究所（仮称）設置の件	同	同
99	インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件	物価対策特別	同

# 意見書

## 意見案第1号

(三上 勇君ほか12人提出)  
(7月17日 原案可決)

### 昭和49年産生産者米価に関する要望意見書

本道は、我が国最大の食糧生産基地として国民食糧の供給に大きな役割を果たしているが、最近における生産資材、労賃等異常な高騰は、農家経済に深刻な打撃を与え、農業生産の停滞が懸念される現状にある。

このような農業を取りまくきびしい情勢に照らし、農業生産を増大し、食糧の自給率を高めるためには、主要な農畜産物について確固たる生産目標を定めるとともに、諸般の振興対策を充実し、生産者の営農意欲の高揚をはかることが極めて肝要である。

このため、特に当面している生産者米価の決定に当たっては、次の措置を取るよう強く要望する。

#### 記

- 1 昭和49年産生産者米価については、生産資材の高騰、労働賃金の大幅上昇、穀物の国際価格の上昇傾向を十分参酌し、農業団体が要求している米価(10キログラム当り2,784円、60キログラム当り16,704円以上)の実現をはかること。
- 2 昭和48年産生産者米価については、最近の異常な経済情勢を考慮し、農業団体が要求している追加払いなど所要の助成措置を講ずること。  
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 高橋 賢一

内閣総理大臣、農林大臣、大蔵大臣 } 各通(国会には、請願書として提出する。)  
衆議院議長、参議院議長

# 第1回臨時道議会

## 441億円余に及ぶ補正予算成立

### ▶ 議員定数調査特別委員会調査終了 ◀

#### 概 要

- ① 時間切れ流会となった第2回定例道議会の異常事態を收拾するため、翌7月20日午後から、議長が各会派と折衝を行なった結果、同日夕刻、(1)臨時会を開き、廃案となった49年度道補正予算案などを成立させる。(2)議員定数調査特別委員会については、臨時会中に終結する一ことで与野党間の意見が一致、7月22日、付議案件30件をもって、第1回臨時会の招集告示がなされた。
- ② 第1回臨時道議会は、7月24日招集され、まず、会期を7月25日までの2日間と決定。ついで、さきの定例会において審議未了となった昭和49年度補正予算をはじめこれに関連する議案及び昭和47年度各会計決算等の報告案件等48件並びに公安委員等の人事案件4件が上程され、知事から提案説明の後、直ちに人事案件等4件について即決。次に、予算及び決算特別委員会を設置のうえ、議案を各委員会に付託した後、「地方財政の措置に関する要望意見案」ほか2意見案を可決し、請願・陳情の特別委員会付託を行なって、休憩した。
- ③ 休憩中、各常任・特別委員会において付託案件の審査を行なうとともに、予算・決算特別委員会においては正副委員長互選を行ない、更に、議員定数調査特別委員会の取扱いについて、与野党間において精力的に折衝が行なわれたが、意見の調整がつかず、補正予算などの成立は翌日に持ち越された。
- ④ 最終日の7月25日は、更に議員定数調査特別委の終結方法をめぐり折衝が続けられ、同日夕刻に至り、審議経過を報告して調査終了することによってようやく話し合いが付き、予算特別委の審議を行なったうえ、同日夜に至り本会議を再開。まず、昭和49年度補正予算をはじめ各付託案件について、予算特別委員長、各常任・特別委員長報告を行なって、いずれも原案可決又は承認議決。ついで、議員定数調査特別委員長から、北海道議会議員の選挙区及び各選挙区別定数に関する調査について経過報告の後、調査終了を決定。引き続き、請願・陳情審査の件について委員会決定のとおり採択と決定の後、47年度決算について継続審査に付し、閉会申請・陳情継続審査及び事務調査の件を決定して、今期臨時会に付議された案件は、昭和47年度決算を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、7月25日夜閉会した。
- ⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況				計
		原案可決	承認議決	同意議決	閉会中 継続審査	
知 事	52	27	21	3	1	52
議 員	3	3	—	—	—	3
計	55	30	21	3	1	55

# 本 会 議

○7月24日(水) 午後2時18分開議、高橋賢一議長、昭和49年第1回臨時会の開会を宣し、まず、**日程第1会議録署名議員の指定**を行ない、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員岡蕃氏の逝去(7月17日)について、弔辞を贈り、哀悼の意を表した旨を報告。

ついで、**日程第2会期決定の件**を議題とし、異議なく今期臨時会の会期を7月24日から25日までの2日間と決定。

次に、**日程第3特別委員補欠選任の件**を議題とし、異議なく公害対策特別委員に川尻外治議員(自民)を補欠選任。

次に、**日程第4苫小牧港管理組合議会議員の補欠選挙**に入り、異議なく選挙の方法は指名推選によることとし、議長において指名することを決定し、伊藤弘議員(自民)を当選人と決定。

次に、**日程第5議案第1号ないし第30号、報告第1号ないし第22号**を議題とし、知事から提出案件について説明の後、まず、議案第27号ないし第30号を問題とし、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立多数(共産反対)にて議案第27号ないし第29号については同意議決、議案第30号については原案可決。ついで、議案第1号ないし第26号、報告第1号ないし第22号を問題とし、尾崎豊議員(道政ク)から、予算並びに決算に関連する案件については、本議会に19人の委員からなる予算特別委員会並びに27人の委員からなる決算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたいとの動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって異議なくそのことに決定し、直ちに議長指名(名簿配付)により次の委員を選任のうえ、議案第1号ないし第11号及び第19号は予算特別委員会に、報告第22号は決算特別委員会にそれぞれ付託した。

## ○予算特別委員

伊藤 知則(自民)	小笠原 孝(自民)
石川十四夫(道政ク)	笹井 望(自民)
鈴木 誠二(社会)	山科 喜一(共産)
大方 春一(社会)	奥野 一雄(社会)
影山 豊(社会)	松尾 静江(自民)
松本 響(自民)	作田 政次(自民)
高橋正四郎(自民)	田 莉子政太郎(自民)
西村 慎一(自民)	石畑 久成(自民)
笠島 保(社会)	塚本 肇(社会)
奥野 善造(自民)	

## ○決算特別委員

川崎 守(共産)	大浦 貞助(社会)
----------	-----------

伊藤 知則(自民)	宇川 源吉(自民)
大平 秀雄(自民)	小沢 栄吉(自民)
川尻 外治(自民)	鈴木 誠二(社会)
野村 光雄(公明)	星野 健三(社会)
奥野 一雄(社会)	吉田 繁雄(自民)
高橋正四郎(自民)	津川 直一(道政ク)
西野 実(自民)	佐藤 幹夫(自民)
島田 薫(自民)	新村 源雄(社会)
諏訪田勝衛(社会)	青木 力(社会)
笠井 幸衛(社会)	時田政次郎(社会)
池田 金助(自民)	神部 俊郎(自民)
奈良 敬蔵(自民)	深山 和圀(自民)
川口 常一(自民)	

次に、残余の案件については、議案第24号は総合開発調査特別委員会に、議案第12号は農務委員会に、議案第13号ないし第15号、第18号、第22号、報告第1号、第2号、第4号、第5号、第8号及び第9号は総務委員会に、議案第16号、第25号及び報告第10号は厚生委員会に、議案第17号、第23号、第26号、報告第3号、第6号、第15号ないし第21号は文教林務委員会に、議案第20号、報告第7号、第11号ないし第13号は建設委員会に、議案第21号及び報告第14号は農地開発委員会にそれぞれ付託することに決定。

次に、**日程第6意見案第1号ないし第3号**を議題とし、提出者の説明並びに委員会付託を省略のうえ、異議なくいずれも原案のとおり可決。

次に、**日程第7請願第372号ないし第379号、第495号ないし第504号、陳情第104号、第140号及び第141号**を議題とし、異議なく請願第372号、第373号、第495号及び第496号は総合開発調査特別委員会に、請願第374号ないし第379号及び陳情第104号は物価対策特別委員会に、請願第497号ないし第500号、陳情第140号及び第141号は石炭対策特別委員会に、請願第501号ないし第504号は公害対策特別委員会にそれぞれ付託することを決定し、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後2時35分休憩、午後7時49分再開し、本日の会議はこの程度とすることを決定し、午後7時50分散会。

## 知 事 説 明 要 旨

ただいま議題となりました昭和49年度補正予算案並びにその他の案件について、その大要を御説明申し上げます。

まず、議案第1号ないし議案第11号の補正予算案は、当面措置を要する経費及び災害復旧関係経費などについて所要の措置を講じようとするものでありまして、

その予算の総額は、

一般会計	436億5,800万円
------	-------------



特別会計 4億6,900万円  
合計 441億2,700万円

となるのであります。

一般会計のうち、歳出の主なものといたしましては、まず、本年6月公衆浴場料金が改定されたことに伴い、低所得者の負担の軽減などを図るとともに、離島における公衆浴場に対し助成措置を講ずることとし、

公衆浴場経営安定対策費 5,600万円

を計上したほか、

勤労者の持ち家建設を更に促進するため、融資枠を10億円増額することといたしました。

また、最近の物価の上昇に対応し措置基準などが改定されたことに伴い、措置費、扶助費及び一般失業対策事業費を計上いたしました。

更に、配合飼料価格の高騰に対処するため、昨年に引き続き、低利資金の融通を図ることとしたほか、

漁業経営の現状にかんがみ、生産資材などの確保を図るため低利資金の融通を行なうとともに、

本年1月のサロマ湖流水被害に対する復旧資金に対し、利子補給の措置を講ずることといたしました。

また、本年4月の低気圧災害復旧経費及び過年公共災害復旧経費として、8億5,800万円を計上いたしました。

次に、公共事業については、事業の執行時期などを勘案し、前年度における繰延べ措置に伴うものを含め、当面措置を要するものについて、

総額 203億3,700万円を、

また、給与費については、給与の暫定措置及び教員の給与改善などについて所要の措置を講ずることとし、

総額 206億6,400万円

を計上いたしました。

これに見合う歳入の主なものといたしましては、

国庫支出金 204億3,200万円

地方交付税 111億6,000万円

繰入金 50億1,400万円

繰越金 35億3,300万円

を計上いたしました。

また、特別会計のうち、主なものといたしましては、

札幌医科大学附属病院特別会計 1億2,900万円

道有林野事業会計 1億9,600万円

病院事業会計 1億5,000万円

を計上いたしました。

次に、その他の案件の主なものについて申し上げます。

議案第12号公団営農用地開発事業負担金等徴収条例案は、農用地開発公団が行なう農用地開発事業に係る負担金及び特別徴収金について、必要な事項を定めようとするものであり、

議案第19号社団法人北海道豆類価格安定基金協会に対する出資の件は、豆類の価格の安定を図るため出資しようとするものであり、

するものであり、

議案第23号学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案は、学校教育法の一部改正により教頭等の職が定められたことに伴い、関係条例について所要の整備を行なおうとするものであり、

議案第24号十勝ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件は、特定多目的ダム法第4条第4項前段の規定により、基本計画について建設大臣から意見を求められたので、同項後段の規定により議決を得ようとするものであります。

次に、議案第27号ないし議案第29号の委員選任につき同意を求める件は、

昭和49年7月26日をもって任期満了となる

北海道収用委員会委員 徳永俊夫君

北海道収用委員会予備委員 上口利男君

また、昭和49年7月31日をもって任期満了となる

北海道公害審査会委員 遠藤博也君

及び昭和49年8月12日をもって任期満了となる

北海道公安委員会委員 若林勝君

北海道函館方面公安委員会委員 上田大賢君

北海道旭川方面公安委員会委員 安達利淳君

北海道釧路方面公安委員会委員 小田豊四郎君

北海道北見方面公安委員会委員 桜田唯見君

につきましては、いずれも再任いたそうとするものであり、

昭和49年7月26日をもって任期満了となる

北海道収用委員会委員 越智正六君

の後任として

北海道収用委員会予備委員 高柳隆君を、

また、これに伴い北海道収用委員会予備委員に

小寺一卓君

をそれぞれ適任と認め、選任いたそうとするものであり、

議案第30号特別職職員の退職手当の額を定める件は、北海道出納長能登三之助君の退職に伴い支給すべき退職手当につき、北海道知事等の退職手当に関する条例第3条の規定に基づき、その額を定めようとするものであります。

次に、報告第22号昭和47年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件についてであります。

まず、一般会計におきましては、

歳入決算額 4,790億2,800万円

歳出決算額 4,750億6,500万円

で、

差引き 39億6,300万円

となりましたが、このうち、繰越し事業財源に

1億8,200万円

を充当いたしましたので、

差引き 37億8,100万円

を翌年度へ繰り越すこととしたのであります。

次に、特別会計におきましては、

歳入決算額	216億7,800万円
歳出決算額	213億7,700万円

で、

差引き	3億 100万円
-----	----------

を一般会計同様、翌年度へ繰り越すこととしたのであります。

以上、今回提案いたしました案件の主なものについて、その大要を御説明申し上げた次第であります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○7月25日(木) 午後4時45分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時44分休憩、午後7時43分再開。諸般の報告の後、**日程第1議案第1号ないし第26号及び報告第1号ないし第21号**を議題とし、**奥野一雄**予算特別委員長(社会)から議案第1号ないし第11号及び第19号について、**三上勇**農務委員長(自民)から議案第12号について、**西尾六七**総務委員長(自民)から議案第13号ないし第15号、第18号、第22号、報告第1号、第2号、第4号、第5号、第8号及び第9号について、**阿部恵三**厚生委員長(自民)から議案第16号、第25号及び報告第10号について、**諏訪田勝衛文**文教林務委員長(社会)から議案第17号、第23号、第26号、報告第3号、第6号及び第15号ないし第21号について、**倉増新八郎**建設委員長(自民)から議案第20号、報告第7号及び第11号ないし第13号について、**小堀秀次**農地開発委員長(社会)から議案第21号及び報告第14号について、**神部俊郎**総合開発調査特別委員長(自民)から議案第24号についてそれぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、直ちに採決に入り、まず、議案第23号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数(共産反対)にて原案のとおり可決。次に、残余の案件を問題とし、異議なく委員長報告のとおり議案については原案可決、報告については承認議決。

次に、**日程第2**北海道議会議員の選挙区及び各選挙区別定数に関する調査の件を議題とし、**天谷平信**議員定数調査特別委員長(自民)から、委員会における調査の経過と結果について報告の後、異議なく委員長報告をもって調査終了することに決定。

次に、**日程第3**請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、異議なくいずれも委員会決定(採択16件)のとおり決定。

次に、閉会中報告第22号継続審査の件を議題とし、異議なく決算特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長及び総合開発調査、石炭対策、公害対策各特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査又は事務調査に付することを決定して、今期臨時会に付議された案件は、報告第22号を除きすべて議

了。高橋賢一議長から閉会のあいさつがあって、午後8時19分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案第1号ないし第11号及び第19号の12件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、昨日付託されました案件は、当面措置を要する公共事業及び給与暫定措置等の経費並びに災害復旧関係経費等を内容とする昭和49年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額441億2,700万円に及ぶ補正予算でありまして、これらの案件は、いずれも第2回定例会予算特別委員会に付託、審査されたものと同一内容のものでありますので、本日の委員会において、その審査の方法について協議いたしました結果、質疑等を省略の上、お手もとに配付の報告書(別紙省略)のとおり、全会一致、原案可決と決定いたしました次第であります。

なお、本件については、第2回定例会におきまして、道政各般にわたり質疑が交わされているのでありますが、その論議の対象となりました主なる事項を申し上げますと、

札幌市内新設高校校舎の整備促進と今後の新設計画、児童・生徒の対外運動競技出場にかかわる単位認定のあり方と派遣経費負担問題、修学旅行付添い旅費の実態と改善措置、高等学校運営事務費の増額、第6回日本ジャンボリーの開催に関する諸問題、新道立美術館の早期建設、学校給食施設についての考え方及び栄養士の身分切替えにかかわる諸問題、PTAの学校施設などに対する寄付の実態と寄付行為の制限の考え方。

十勝支庁管内における農薬公害の多発に対する道の対策、公団管農用地開発事業実施地域内における基盤整備事業の実施の現状と問題点、別当賀地区開拓地道路等補修事業の用地処理にかかわる紛争解決策、総需要抑制と公共事業早期発注についての措置。

季節移動労働者の援護対策、閉山地域滞留者の雇用促進対策。

保健所長の欠員充足対策、保健所行政にかかわる予算の充実強化、休日・夜間救急診療対策の確立、未熟児網膜症発生状況と医療機関に対する指導及び道が行なうべき今後の対応策と公費負担の考え方。

志村化工株式会社伊達工場の鉾さい処理にかかわる問題、産業廃棄物公害に対する行政指導のあり方。

老人福祉に取り組む道の基本姿勢と老人医療費無料化年齢引下げの考え方、寿の家設置にかかわる補助制度の改善、保育所の整備計画と保母の充足対策、道立保育専門学院の整備と後援会費のあり方、道立太陽の園の運営のあり方に関し、職員の労働条件と給与体系の改善。

自動車排気ガスによる大気汚染対策、北海道自然環境等保全条例の施行に関し、特定開発行為の実態及び悪質

行為者公表の有無。

産炭地域の振興対策、石炭鉱業の安定対策、原子力発電所建設に対する基本姿勢並びに安全性、家庭用灯油価格引下げに対する見解、プロパンガス標準価格と実勢価格の格差是正、大麻田商店街協同組合の駐車場用地利用にかかわる諸問題、地域暖房実施状況と今後の計画及び料金値上げに対する道の対策。

4・11北教組ストに対する道警の捜査のあり方及び教育現場に与えた影響に対する見解、南茅部町における土砂盗掘事件と警察の捜査のあり方、北海道自動車学園における物品販売業者の取扱いに係る問題。

自衛隊沼田演習場設置に対する道の見解と農家の営農対策、国鉄地方開発線完成の促進及び地方閑散線、赤字線廃止の動向とその対策、苫小牧東港築港建設工事に対する大手建設業者の石材採石計画をめぐる諸問題、石狩港新港開発地域と明治乳業所有地との土地交換協定に関し、農地法、建築基準法違反に対する道の見解と今後の是正対策。

公共事業費の補正理由、追加議案の取扱いについて、山岳遭難救助体制の整備と救助経費の補助、高層建築物及び一般家庭における防災対策、消防学校の運営の改善、予算執行の基本的な考え方

などであり、また、総括質疑におきましては、

プロパンガスの北海道価格解消策、自衛隊基地誘致運動に対する道の姿勢、石狩湾新港開発地域と明治乳業所有地との土地交換協定にかかわる諸問題

などあります。

なお、議案第1号につきましては、審査の経緯から、本日の委員会におきまして、次の意見、すなわち、

- 1 公共料金、一般物価値上り防止に全力をつくすと同時に、LPガス等のいわゆる北海道価格解消を速やかに図ること。
- 2 灯油の需要期に対し、民間及び公共需要の確保に万全を期するとともに、不当な値上り防止と価格の引下げに努めること。
- 3 石炭産業の見直しを基盤とした産炭地の住宅環境整備等労働条件の拡充強化を図り、その振興に一層努力すること。
- 4 人命尊重の見地から、医師の夜間・休日診療に対し、道民の不安を除くため、具体的施策の強力な推進を図ること。
- 5 産業廃棄物の処理については、住民に不安を与えないよう充分実態を把握し、適切な行政指導を積極的に行なうこと。

との附帯意見を付することについて、全会一致、これを決定いたしました次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申しあげ、私の報告を終わります。

## 議員定数調査特別委員長報告

私は、本委員会に付託されました北海道議会議員の選挙区及び各選挙区別定数に関する調査の件について、その経過並びに結果を御報告申しあげます。

本委員会は、御承知のとおり、昭和47年7月29日に設置されたのでありますが、直ちに基礎資料の調査、他府県の実態調査及び付託案件に係る基本問題についての質疑などを行なった上、今後の調査方法などについて協議いたしました結果、本委員会に小委員会を設置することとし、昭和48年2月12日小委員会が設置されたのであります。

自来、小委員会は、各派代表者会議を含め、29回にわたり開催され、各般にわたり論議を尽くし、調査が行なわれたのでありますが、7月19日の委員会におきまして、小委員長から小委員会の調査結果について報告があった次第であります。本委員会といたしましては、小委員長報告に基づき、更に調査いたしました。ついに意見の一致をみるに至りませんでしたので、本日の委員会において協議いたしました結果、本件調査は以上で終了することに、全会一致、決定した次第であります。

以上、御報告申しあげます。

## 第1回臨時道議会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
7. 24	1	昭和49年度北海道一般会計補正予算（第1号）	7. 25	原案可決
同	2	昭和49年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第1号）	同	同
同	3	昭和49年度北海道真駒内大麻団地開発事業特別会計補正予算（第1号）	同	同
同	4	昭和49年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第1号）	同	同
同	5	昭和49年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	6	昭和49年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	7	昭和49年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	8	昭和49年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	9	昭和49年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	10	昭和49年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	11	昭和49年度北海道有料道路事業会計補正予算（第1号）	同	同
同	12	公団営農用地開発事業負担金等徴収条例案	同	同
同	13	北海道議会議務局職員定数条例の一部を改正する条例案	同	同
同	14	北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案	同	同
同	15	北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案	同	同
同	16	北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同
同	17	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同
同	18	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	同	同
同	19	社団法人北海道豆類価格安定基金協会に対する出資の件	同	同
同	20	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	同	同
同	21	工事請負契約の締結（中樹林地区道管かんがい排水事業）に関する件	同	同
同	22	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同
同	23	学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案	同	同
同	24	十勝ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	同	同
同	25	工事請負契約の締結（北海道立小児総合保健センター新築追加工事）に関する件	同	同
同	26	工事請負契約の締結（北海道立美術館（軀体）工事）に関する件	同	同
同	27	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	7. 24	同意議決
同	28	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件	同	同
同	29	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件	同	同
同	30	特別職職員の退職手当の額を定める件	同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
7. 24	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）	7. 25	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例4月26日専決処分）	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）	同	同
同	4	専決処分報告につき承認を求める件（北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例4月26日専決処分）	同	同
同	5	専決処分報告につき承認を求める件（北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例6月11日専決処分）	同	同
同	6	専決処分報告につき承認を求める件（財産の取得に関する件4月11日専決処分）	同	同
同	7	専決処分報告につき承認を求める件（損害賠償の額の決定に関する件5月1日専決処分）	同	同
同	8	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（札幌医科大学第2看護婦宿舎改築第2期工事）に関する件6月20日専決処分）	同	同
同	9	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道消防学校寮舎新築第2期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道立肢体不自由年長児訓練施設新築工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	11	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（道道月形江別線石狩大橋架換（下部）工事）に関する件5月25日専決処分）	同	同
同	12	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（道道千歳鶴川線苫小牧市宇美沢地内踏切除却工事）に関する件5月25日専決処分）	同	同
同	13	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（道道小樽線3ー2ー4臨港線道路改良工事）に関する件6月6日専決処分）	同	同
同	14	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（大富地区道管かんがい排水事業）に関する件6月6日専決処分）	同	同
同	15	専決処分報告につき承認を求める件（船舶建造請負契約の締結）に関する件6月17日専決処分）	同	同
同	16	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道苫小牧東高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	17	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道紋別北高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	18	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道札幌北陵高等学校校舎新築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	19	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道斜里高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	20	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道名寄高等学校校舎改築第3期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	21	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（北海道札幌盲学校校舎改築第4期工事）に関する件6月24日専決処分）	同	同
同	22	昭和47年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	同	継続審査

## 議員から提出のあった案件

### 意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
7. 24	1	地方財政の措置に関する要望意見書	西尾六七君ほか13人	7. 24	原案可決
同	2	家庭用灯油及び液化石油ガスの標準価格に関する要望意見書	奈良敬蔵君ほか26人	同	同
同	3	北海道における空港整備の促進に関する要望意見書	神部俊郎君ほか16人	同	同

## 請 願 ・ 陳 情

第1回臨時道議会において、各常任・特別委員会に付託された請願・陳情は、次のとおりである。なお、これらの請願・陳情は、いずれも、さきの第2回定例道議会の流会に伴い、審議未了となったものである。

### 請 願

文書表番 号	旧文書 表番号	件名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
366	302	農業政策に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	農 務	採 択
367	330	昭和48年度生産者米価に係る追加払い並びに昭和49年度生産者米価決定の適正化に関する件	中富良野町農業委員会 会長 池田善治ほか15人	同	同
368	337	農業問題に関する件	全日本農民組合北海道連合会 執行委員長 菅原朝喜	同	同
369	344	当面する北海道農業危機突破のための措置に関する件	北海道単位農業協同組合労働 組合連合会 中央執行委員長 小林茂	同	同
370	348	畜産農業振興に関する件	中富良野町農業協同組合長 星野久三郎ほか12人	同	同
371	355	昭和49年米政府買入価格の大巾引上げ等に関する件	北海道農業会議 会長 安藤友之輔	同	同
372	250	女満別空港整備の件	斜網地区町村議会議長会会長 東藻琴村議会議長 高橋市良ほか7人	総合開発 調査特別	同
373	357	大量高速輸送機関の運行確保に関する件	江別市長 山田利雄ほか3人	同	同
374	306	物価対策に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	物価対策 特別	同
375	311	公共輸送石油危機解決に関する件	同	同	同
376	333	インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件	安保破棄、諸要求貫徹北海道 実行委員会 内山博	同	同
377	353	灯油の安定価格及び安定供給維持のための行政措置の件	生活協同組合市民生協 専務理事 真鍋康弘	同	同
378	354	各種公共料金のすえおきと生活必需物資の高騰をおさえるための行政措置に関する件	同	同	同
379	356	家庭用灯油の大幅値上げ反対に関する件	くらしと権利を守る諸要求貫徹 実行委員会 代表者 藤田新一	同	同
380	3	深川市に国立医科大学設置の件	深川市長 真鍋政之ほか6人	総 務	継続審査

文書表 番号	旧文書 表番号	件名	請願者	付託 委員 託会	審査の 結果
381	4	道立婦人会館建設の件	旭川市長 五十嵐広三ほか1人	総務	継続審査
382	7	釧路市に国立医科大学設置の件	国立医科大学誘致期成会会長 釧路市長 山口哲夫	同	同
383	39	登別市に警察署を設置の件	登別市長 高田忠雄	同	同
384	86	個人企業税制に関する件（ほか3件）	北海道青色申告会連合会 高橋常雄	同	同
385	148	千歳市に国連大学設置の件	千歳市議会 議長 鈴木助雄	同	同
386	166	道道忠別、清水線（大雪縦貫道路）の建設中止の件	大雪の自然を守る会 代表 西村裕	同	同
387	220	横断歩道設置の件	南30条西南線横断歩道を設置 する会 浜本道子	同	同
388	221	住民生活の安全確保に関する件	千歳市長 米田忠雄ほか1人	同	同
389	222	交通信号機設置の件	古平町を明るくする会 代表 高野名久	同	同
390	223	騒音規制措置等の件	千歳平和委員会 金子耕三	同	同
391	235	選挙制度の改悪反対決議要請の件	新日本婦人の会北海道本部 会長 市原富美	同	同
392	252	個人事業税等の減免に関する件	北海道民主商工団体連合会 会長 益井愛人	同	同
393	261	ボウリング場娯楽施設利用税減税の件	ボウリング場協会 会長 山崎満	同	同
394	268	大森、珊内区間の海岸道路工事早期完成の件	神恵内村長 高山庸一ほか1人	同	同
395	270	安心して魚をたべることができるようにするための 緊急対策に関する件	きれいな魚と海をとりもどす 北海道連絡会 国府谷盛明	同	同
396	283	信号機設置の件	古平町を明るくする会 代表 橋場静雄	同	同
397	305	地方公営企業に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同
398	307	交通問題に関する件	同	同	同
399	308	地方自治に関する件	同	同	同
400	309	減税に関する件	同	同	同
401	310	軍事問題に関する件	同	同	同
402	346	札幌医科大学の食堂の料金値上げ阻止等の件	札幌医科大学園民生化協議会 山内潔	同	同
403	349	大森、珊内区間の海岸道路工事路線変更による早期 着工の件	神恵内村長 高山庸一ほか1人	同	同
404	359	街灯の整備の件	千歳市東雲町東町内会 会長 山岡上治	同	同
405	12	65歳以上の老人医療無料化の件	北海道老令保障を進める会 会長 内匠政司	厚生	同
406	31	いのちとくらしを守るための件	全北海道労働組合協議会 議長 片平久雄ほか3人	同	同
407	32	「子供の国」設置の件	えりも町長 花田政雄	同	同

文書表番 号	旧文書 表番号	件名	請願者	付託 委員	査 結 の 果
408	79	生活保護世帯、低所得世帯に対する夏期手当、年末手当（見舞金）制度化の件	全生連北海道本部 委員長 館本一豊	厚生	継続審査
409	80	高齢者に対する敬老金制度化の件	北海道老令保障を進める会 会長 内匠正司	同	同
410	91	こどもの国設置に関する件	富良野地区広域生活圏振興協 議会 会長 高松竹次	同	同
411	134	社会福祉施設等の充実の件	新日本婦人の会伊達支部 代表者 真鍋好	同	同
412	170	65歳以上の老人医療費無料化の件	北海道老令保障を進める会 会長 内匠政司	同	同
413	171	敬老手当制度化の件	同	同	同
414	214	道立衛生学院の修学資金制度の改善及び院外実習費保障の件	北海道衛生学院校友会 執行委員長 大場陽子	同	同
415	226	スモン病患者援護対策の件	北海道スモンの会 会長 野田勉	同	同
416	227	厚生年金保険老令年金の制度改正に関する件	社団法人北海道炭鉱職者雇 用援護協会 理事長 井村精爾	同	同
417	239	生活保護家庭の夏期生活資金（見舞金）支給の件	全国生活と健康を守る会北海 道本部 委員長 館本一豊	同	同
418	245	消費生活協同組合法改正に関する件	労働福祉北海道協議会 会長 小笠原亀五郎ほか2人	同	同
419	259	道立肢体不自由児療育センター設置の件	釧路市長 山口哲夫ほか5人	同	同
420	271	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	きれいな魚と海をとりもどす 北海道連絡会 国府谷盛明	同	同
421	280	公衆浴場の運営に対する助成の件	雨竜郡妹背牛町一区 大黒湯店主 高木忍	同	同
422	292	あん摩、マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の無資格者対策の件	北海道鍼灸按師連合会 会長 中沢清	同	同
423	299	船員保険法改正に関する件	全日本労働総同盟北海道地方 同盟 会長 菅井盈ほか1人	同	同
424	312	社会福祉に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同
425	313	社会保障に関する件	同	同	同
426	314	清掃事業に関する件	同	同	同
427	315	清掃事業に対する財政措置に関する件	同	同	同
428	316	衛生医療に関する件	同	同	同
429	340	身体障害者福祉事業施設の管理委託及び暫定措置の件	小樽一般労働組合 執行委員長 岩坂英市ほか2人	同	同
430	341	未熟児網膜症児童の養護施設並びに教育施設設置の件	釧路未熟児網膜症児障害児守 る会 会長 山口一郎	同	同
431	350	アルコール中毒センター及びハーブウェイハウス設置に関する件	北海道漸酒連合会 会長 原田ひろし	同	同
432	351	休日、夜間における医療体制の確立の件	社団法人北海道勤労者医療協 会 理事長 塚田竜爾	同	同



文書表 番 号	旧文書 表番号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
433	358	道立太陽の園職員の労働条件改善と道職員なみ待遇要求の件	北海道福祉事業団太陽の園労働組合 執行委員長 横井寿之	厚生	継続審査
434	73	中高年令求職者の救済事業実施の件	全日自労北海道地方本部 執行委員長 内匠政司	商工労働	同
435	98	建設労働者に対する生活保障の件	同	同	同
436	165	失業保険制度改善要望の件	全日本自由労働組合札幌建設分会 委員長 館本光一	同	同
437	236	失対事業に働く労働者の生活確保の件	全日本自由労働組合北海道地方本部 執行委員長代理 向坂公夫	同	同
438	272	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	きれいな魚と海をとりもどす北海道連絡会 国府谷盛明	同	同
439	284	道内各産業労働者の健康及び労働実態調査費用の予算化の件	北海道職業病対策連絡協議会 会長 横山正男	同	同
440	300	無担保、無保証人融資制度創設に関する件	営業と生活を守る諸要求貫徹実行委員会 代表者 益井愛人	同	同
441	301	失業保険制度を廃止し、雇用保険制度を創設することに反対の件	同	同	同
442	303	雇用を安定し、失業保障に関する件	いのちと暮らしを守る北海道実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同
443	304	中小企業に対する北海道中小企業特別融資制度創設の件	同	同	同
444	317	中小企業関係に関する件	同	同	同
445	318	労働条件改善の件	同	同	同
446	328	失業保険制度の廃止に反対の件	全日自労北海道地方本部 執行委員長 藤田新一	同	同
447	338	労働者対策に関する件	全日本農民組合北海道連合会 執行委員長 菅原朝喜	同	同
448	363	道営競馬トレーニングセンター設置の件	日高町村会長 浜口光輝ほか5人	農 務	同
449	364	北海道大学農学部附属酪農科学研究施設及び帯広畜産大学附属草地畜産実験施設の整備に関する件	札幌市中央区北4条西1丁目北修二	同	同
450	365	北海道公共牧場施設及び環境整備事業経営に関する件	北海道公共牧場管理運営団体 代表者 上土幌町長 金野四郎ほか4人	同	同
451	180	大型店舗誘致反対の件	江別市大麻商店街連合会 会長 宮野幸太郎	建 設	同
452	193	水産加工場の排水汚水対策の件	茅部郡森町字港町65 坂田敏昭ほか15人	同	同
453	194	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	茅部郡森町本町西部 杉浦義春ほか10人	同	同
454	197	国土開発幹線自動車道路の路線変更の件	江別地区労働組合協議会 議長 橋本武彦ほか1人	同	同
455	206	幌別川砂利採取中止の件	幌別川を守る会 代表 鎌田正	同	同
456	228	石狩川札幌大橋架設等の件	札幌市篠路連合町内会 会長 宮西頼母	同	同

文書表番 番号	旧文書 表番号	件名	請願者	付託 委員会	審査 の結果
457	285	公共下水道施設完備の件	釧路村下水道の完備を進める会 鈴木武雄	建設	継続審査
458	287	国土開発幹線自動車道路江別市通過ルート(南北線)の路線変更の件	江別市東大塚自治会 尾崎寿雄	同	同
459	319	住宅に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同
460	332	急傾斜地崩壊防止に関する件	釧路市知人町5ノ14 野村力一	同	同
461	332	阿寒川堤防改良工事等の促進の件	大楽毛すみよくする会 代表 工藤義一ほか8人	同	同
462	339	がけ地の早期整備補強対策の件	釧路市緑ヶ丘かえん町内会 会長 沢田雅史ほか1人	同	同
463	360	市道の道道昇格及び整備促進に関する件	砂川市長 山口正直ほか3人	同	同
464	76	道営かんがい排水整備事業取止めの件	旭川市永山町第12区 佐藤梅尾ほか3人	農地開発	同
465	186	100トン以上大型いかつり漁船の操業縮小規制の件	森町字上台町 高橋四三男ほか29人	水産	同
466	195	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	茅部郡森町本町西部 杉浦義春ほか10人	同	同
467	15	除草剤散布反対の件	全林野労働組合北海道評議会 議長 東井富男	文教林務	同
468	100	公立高校小学区制の回復、高校進学希望者の全員入学達成、高校増設、私学への大幅な公費助成、教育費父母負担軽減の件	全北海道労働組合協議会 議長 片平久雄	同	同
469	103	高校入試3科目制反対の件	函館市湯の川町3丁目13番地 西村公江ほか2人	同	同
470	132	文化財保護の件	自然と住民を守る会 会長 美馬敦	同	同
471	143	公立高校小学区制の回復、入試科目削減反対の件(ほか1件)	民主教育を守る小樽市民会議 会長 片桐誠士	同	同
472	144	公立高校小学区制の回復、入試科目削減反対、帯広市に公立高校新設、私学への大幅な公費助成に関する件	中教審に反対し民主教育をすすめる帯広共斗会議 吉田勇治	同	同
473	145	学校法人旭川大学(大学、短大、高校、幼稚園)の存続再建のための特別助成及び融資の実現と同時に広く道内私学への大幅な公費助成の件	旭川市8条15丁目右5号 城戸俊郎	同	同
474	160	私立大学の設備費補助金増額の件	北海道学生自治会連合 委員長 三浦誠一	同	同
475	178	道立高等学校増設及び私立高等学校振興策の改善の件	旭川市PTA連合会 会長 吉田大貴地	同	同
476	255	小樽市における全日制公立高校普通科の増設、私学への大巾助成と小学区制復活の件	民主教育を守る小樽市民会議 下沢誠二ほか1人	同	同
477	265	北海道長沼高等学校の間口増設の件	北海道長沼高等学校間口増設 促進期会 会長 中川清	同	同
478	266	北海道東川高等学校全日制への課程変更の件	東川町長 中川音治ほか1人	同	同
479	269	道立工業高等学校に設備工業科新設の件	北海道管工事工業協会 会長 青木一郎ほか1人	同	同
480	273	養護学校高等部の設立の件	帯広心身障害者(児)育成会 会長 佐藤温彦ほか2人	同	同

文書表 番 号	旧文書 表番号	件 名	請 願 者	付 託 会 員 会	審 査 の 結 果
481	286	私学の父母負担を軽くし教育条件等をよくする件	全道労協 議長 片平久雄ほか2人	文教林務	継続審査
482	321	教職員の定数増の件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同
483	322	児童、生徒及び教職員の健康と福祉対策の件	同	同	同
484	323	高等学校全員就学と後期中等教育充実の件	同	同	同
485	324	埋蔵文化財の調査、保護の件	同	同	同
486	325	林業政策の件	同	同	同
487	334	インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件	安保破棄、諸要求貫徹北海道 実行委員会 内山博	同	同
488	335	公立高校の大巾な増設と小学区制の回復の件	高教組札幌支部長 奈良部健一	同	同
489	342	未熟児網膜症児童の養護施設並びに教育施設設置の件	釧路未熟児網膜症児童障害児守 る会 会長 山口一郎	同	同
490	343	宿日直員の待遇改善の件	札幌市西区8軒9条西2丁目 斎藤敏夫	同	同
491	347	砂川南高等学校公宅敷地確保の件	砂川市緑町2番地 今野皓司	同	同
492	352	北海道追分高等学校校舎改築の件	北海道追分高等学校改築促進 期成会長 追分町長 中村喜一	同	同
493	361	北海道浜益高等学校の道立移管の件	浜益村長 大江政雄ほか1人	同	同
494	362	非常勤講師の待遇改善に関する件	札幌講師懇談会 代表 神谷敏成	同	同
495	136	新幹線札幌駅乗入促進の件	新幹線札幌駅乗入促進期成会 会長 伊藤義郎	総合開発 調査特別	同
496	326	北海道第3期総合開発計画改訂に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同
497	69	炭鉱離職者と家族、関連企業離職者救済事業実施の件	全日自労北海道地方本部 執行委員長 内匠政司	石炭対策 特別	同
498	232	滝口炭鉱閉山に伴う産炭地域振興対策の件	奈井江町長 萬敏夫	同	同
499	233	炭鉱災害の絶滅及び労働者の生命と権利遵守の件	夕張炭鉱、安保と炭鉱どう会 責任者 森谷猛ほか1人	同	同
500	262	釧路地域に石炭専焼火力発電所建設の件	釧路市石炭産業対策協議会 会長 山口哲夫	同	同
501	94	泊、共和地区に原子力発電所設置反対の件	原発設置に反対する岩内町民 会議 議長 佐賀正一	公害対策 特別	同
502	234	騒音規制措置等の件	千歳平和委員会 金子耕三	同	同
503	276	安心して魚をたべることができるようにするための緊急対策に関する件	きれいな魚と海をとりもどす 北海道連絡会 国府谷盛明	同	同
504	327	公害防止に関する件	いのちとくらしを守る北海道 実行委員会 実行委員長 片平久雄	同	同

陳 情

文書表番	旧文書表番号	件 名	陳 情 者	付 託 員 会	審 査 の 果
103	91	道立肢体不自由児養護施設設置の件	白糠町長 千葉清ほか7人	厚生	採 択
104	99	インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件	釧路市母親大会連絡会 白崎ハルノ	物価対策特	同
105	3	道立婦人会館建設の件	道立婦人会館誘致期成会 会長 三木タカほか17人	総 務	継続審査
106	42	北海道開拓の日制定の件	北海道農地同盟 東野幸二郎	同	同
107	56	札幌陸運事務所小樽出張所設置の件	小樽市議会 議長 渡辺善太郎ほか6人	同	同
108	78	「道民の日」制定の件	北海道青少年団体連絡協議会 会長 吉原弘行	同	同
109	95	出張車検日程増加の件	小樽自動車協会 理事長 滝野吉雄	同	同
110	97	浜頓別町に警察署設置の件	浜頓別町長 坂下堯	同	同
111	101	道営北広島町地内への札幌東警察署部長派出所早期設置実現の件	札幌市と広島町の合併推進住民協議会 本部長 川原哲男ほか2人	同	同
112	7	長期入院患者への夏期生活保障金（見舞金）支給の件	道立釧路療養所湖療会 会長 森留吉	厚生	同
113	18	長期入院患者への冬期生活保障金（見舞金）支給の件	国立北海道第二療養所白療自治会 会長 小林三博	同	同
114	28	南宗谷地域センター病院設置の件	浜頓別町長 坂下堯ほか3人	同	同
115	29	稚内保健所支所設置の件	同	同	同
116	32	清掃施設整備に対する道費補助の件	札幌市議会 議長 松官利市	同	同
117	43	長期入院患者への夏期生活保障金（見舞金）支給の件	日患同盟札幌地区協議会 議長 服部稔	同	同
118	44	枝幸町に地域センター病院設置の件	枝幸町長 佐藤健三ほか5人	同	同
119	76	生協の違法行為規制に関する件	北海道商店街振興組合連合会 理事長 河関広司ほか1人	同	同
120	90	道立看護婦養成施設設置の件	社会福祉法人函館厚生院 理事長 原忠雄ほか6人	同	同
121	33	原子力発電所設置促進の件	岩内商工会議所 会頭 江川利男	商工労働	同
122	62	公営独身寮建設の件	北海道中小企業家同友会 代表理事 井上良次	同	同
123	63	道内中小企業向け持家制度の件	同	同	同
124	64	札幌市中央卸売市場東部市場開場の件	社団法人北海道市場協会 会長 筒井英樹	同	同
125	77	札幌交通センタービル（仮称）建設にともなうショッピング部門の併設計画の件	北海道商店街振興組合連合会 理事長 河関広司ほか2人	同	同
126	86	北海道商工指導センター支所設置の件	釧路市長 山口哲夫ほか1人	同	同
127	87	北海道立釧路専修職業訓練校に溶接科増設の件	釧路市長 山口哲夫ほか3人	同	同
128	100	大雪山国立公園内層雲峡地区における地熱開発事業の促進の件	上川町長 野田晴男ほか1人	同	同

文書表 番号	旧文書 表番号	件名	陳情者	付委員 託会	審査の 結果
129	38	農地買収処分調査の件	札幌市北3条東7丁目346番 地の1 谷口基左エ門	農務	継続審査
130	26	ボーリング場建設に伴う公害排除の件	稚内市中央1丁目2番31号 沖野政雄	建設	同
131	60	国土開発幹線自動車道(北海道縦貫道)建設促進の件	札幌岩見沢間高速道路江別連 絡協議会 代表 星清ほか1人	同	同
132	61	北海道縦貫自動車道路札幌岩見沢路線の建設促進の 件	江別市の環境を守る会 代表 甲斐六郎	同	同
133	69	道道士幌、然別湖線の建設中止の件	鹿追町自然を守る会 会長 三好則重	同	同
134	70	一般道道士幌、然別湖線工事の早期完成の件	士幌町開発と自然保護の会 会長 杉原鈴一	同	同
135	88	札幌大橋(仮称)架設等の件	札幌市議会 議長 松宮利市	同	同
136	98	北海道縦貫自動車道の江別市通過ルート(素案)の撤 回と再検討を求める件	縦貫道路の東西野幌通過に反 対する会 会長 土橋慶吉	同	同
137	102	49年度公共事業の早期発注の件	北海道中小企業家同友会 代表理事 井上良次	同	同
138	93	勲奨退職者に対する優遇措置の件	北海道小学校長会 会長 白石信義ほか3人	文教林務	同
139	94	北海道野幌高等学校校舎新設の件	江別地区道立高校新設期成会 会長 泉重陽ほか1人	同	同
140	80	中空知圏域に石炭専焼火力発電所設置の件	中空知市町振興協議会会長 滝川市長 吉岡清栄	石炭対策 特別	同
141	81	石炭化学研究所(仮称)設置の件	同	同	同

## 意見書

### 意見案第1号

(西尾六七君ほか13人提出)  
7月24日 原案可決

#### 地方財政の措置に関する要望意見書

激動しつつある内外の経済環境から、最近における地方財政は、誠に厳しい状況下におか  
れている。

地方公共団体は、このような経済情勢にもかかわらず、社会基盤の整備、住民福祉の増進  
等、住民の強い要請に基づいて、当面、緊急に措置しなければならない多くの課題に直面し  
ている。

北海道としては、これらの施策を積極的に推進するため、歳入、歳出両面にわたる徹底的  
な見直しを行ない、予算の重点的、効率的運用に努力してきたところであるが、なお自主財  
源の不足は覆うべくもない状況にある。

よって、この際、地方財政の自主性を堅持しながら、窮迫している地方財政をたて直し、  
増大する財政需要に対応し得るよう、当面、緊急に次の措置を講ぜられたい。

記

#### 1 超過負担の解消について

数次にわたる解消措置にもかかわらず、最近の物価、労務賃金及び各種資材の高騰は、地方団体における超過負担をますます増大させる傾向にあり、地方財政を圧迫する要因となっている実情にかんがみ、速やかに実勢価格に見合った補助単価の改定、補助対象範囲の拡大等の措置を講じ、引き続きこれが解消措置を講じられたい。

2 地方交付税の増強について

社会福祉の充実、生活環境の整備、国土利用計画の推進、高校急増対策、大幅な給与改定等当面激増しつつある財政需要に対処するため、地方交付税率の引き上げを含めて、その総額を増強する方途を速やかに講ぜられたい。

3 地方債の改善について

地域住民の強い要請に基づく生活環境施設の整備等、各種社会資本の計画的な整備を促進するため、地方債の総量を大幅に増額し、充当率の引き上げ及び適債事業の拡大をはかられたい。

なお、政府資金のウエイトを高めるとともに、償還期間の延長等融通条件の改善をはかられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 高橋 賢一

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣 } 各通（国会には、請願書として提出する。）  
北海道開発庁長官、衆議院議長、参議院議長 }

意見案第2号

(奈良敬蔵君ほか26人提出)  
(7月24日 原案可決)

家庭用灯油及び液化石油ガスの標準価格に関する要望意見書

家庭用灯油が国民生活安定緊急措置法に基づく指定物資から解除されたが、積雪寒冷の厳しい北海道において、家庭用灯油は食糧に匹敵する重要な生活必需物資であり、その大幅な値上がりが道民生活に及ぼす影響は極めて大きく、誠に憂慮にたえないところである。

については、家庭用灯油及び家庭用液化石油ガスの価格安定のため、次の事項について特段の配慮をされるよう強く要望する。

記

- 1 49年以前のできるだけ早い時期に、家庭用灯油の新しい標準価格を設定すること。

また、この標準価格は、政策的配慮により元売り価格を大幅に引き下げ、極力低くすること。

- 2 液化石油ガスの現行標準価格を今後とも維持すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 高橋 賢一

内閣総理大臣、通商産業大臣、北海道開発庁長官 } 各通（国会には、請願書として提出する。）  
経済企画庁長官、衆議院議長、参議院議長 }

意見案第3号

(神部俊郎君ほか16人提出)

(7月24日 原案可決)

北海道における空港整備の促進に関する要望意見書

最近、生活水準の向上、産業経済の進展に伴ない、航空機利用の一般化がすすみ、その輸送需要は著しく増大していることにかんがみ、空港の整備は極めて緊要であるため、国において、近く策定が予定されている「空港整備5カ年計画」の中で、北海道の空港についてその整備が促進されるよう強く要望する。

(理由)

最近の航空輸送の増大と航空機の大形化などに対処し、運航の安全性と通年定期制の確保及び空港周辺環境の保全をはかるため、北海道に設置されている空港の整備をすすめる必要がある。

また、離島などを運航する航空路線の確保については、国策としてすすめられているが、これらに関連する空港の整備についても、さらに促進する必要がある。

よって、政府並びに関係機関において、北海道空港整備の重要性と地域の発展に果たす役割を十分勘案され、空港の整備を促進されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 高橋 賢一

内閣総理大臣、運輸大臣、大蔵大臣 }  
北海道開発庁長官、環境庁長官 } 各通(国会には、請願書として提出する。)  
衆議院議長、参議院議長 }

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○6月21日(金) 午後2時32分、議会運営委員会室において開議、午後2時40分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 議員の辞職について、議長は、4月10日熊谷克治議員(社会)、6月13日高橋辰夫議員(自民)の辞職を許可した旨並びに各派の所属議員数(自民55人、社会34人、道政ク4人、共産3人、公明2人、新政ク1人、欠員6人)について報告。
- ② 議員の辞職許可に伴う議席について、空席のままとすることに決定。
- ③ 元道会議員河西貴一氏(4月26日)及び佐藤弥十郎氏(5月4日)並びに元道議会議員山内広氏(5月21日)及び三浦福督氏(5月27日)の逝去について報告。
- ④ 第2回定例会の招集日について、6月29日とすることを了承。
- ⑤ 会期について、7月17日までの19日間とすることに決定。
- ⑥ 総務部長から、第2回定例会提出予定主要案件について説明。
- ⑦ 日程については、次回において決定することとした。
- ⑧ 高橋 賢一議長(自民)から、月曜日の休会及び予算特別委の効率的審議方法に対する検討方について要請があり、次回において検討することとした。

○6月28日(金) 午後7時、議会運営委員会室において開議、午後7時5分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 元道議会議員菊地三之助氏の逝去(6月23日)について報告。
- ② 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 第2回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

### ▽ 第2回定例会日程

6月29日	本会議(提案説明)
30日~7月8日	休会
7月9日	本会議(代表質問)
10日	同(一般質問)
11日	同(一般質問、予算特別委員会設置)
12日~16日	休会(予算特別委員会審議)
17日	本会議

④ 請願第353号(灯油の安定価格及び安定供給維持のための行政措置に関する件)及び同第354号(各種公共料金のすえおきと生活必需物資の価格高騰をおさえるための行政措置に関する件)について、物価対策特別委員会に付託することに決定。

⑤ 継続審査中の会議案第1号(北海道民生活安定条例案)に関する物価対策特別委員長報告について、明日の本会議において行なうことに決定。

⑥ 議案調査のための休会について、7月1日から8日まで8日間とすることに決定。

⑦ 代表質問について、順序は社会、自民、道政クとし、通告は7月6日正午までとすることを了承。

⑧ 一般質問について、順序は多数会派の後、道政ク、共産、公明、新政クとし、新政クラブの本年の持ち時間は23分とすること、通告は7月8日正午までとすることを了承。

⑨ 予算特別委員会について、構成は19人(自民11人、社会6人、道政ク及び共産各1人)とし、委員長は社会、副委員長は自民とすること、委員名簿の提出は7月9日正午までとすること、設置動議の提出は道政クとすることを了承。

○6月29日(土) 午後零時14分、議会運営委員会室において開議、午後零時17分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

① 前会から継続審査中の会議案第1号(北海道民生活安定条例案)の取扱いについて、物価対策特別委員長報告の後、提出者からの撤回申し出を承認することに決定。

② 総務部長から、追加提出議案について説明。

③ 追加提出の議案第22号(北海道民生活安定条例案)の取扱いについて、直ちに上程し、提案説明の後、委員会付託を省略して即決することに決定。

④ 本日の本会議の議事は、次の順序にて取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

(開会)

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件(6月29日から7月17日までの19日間)

日程第3 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号

提出議案に関する知事の説明

日程第4 前会より継続審査の会議案第1号

物価対策特別委員長の報告

委員長報告を了承することについて簡易



## 採決

### 諸般の報告

追加日程 前会より継続審査の会議案第1号撤回の件

本件を承認することについて簡易採決

### 諸般の報告

追加日程 議案第22号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第5 請願第353号及び第354号

物価対策特別委員会に付託することについて簡易採決

議案調査のための休会の決定(7月1日から8日までの8日間)

○7月8日(月) 午後2時10分、議会運営委員会室において開議、午後2時13分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ② 請願第356号(家庭用灯油の大幅値上げ反対に関する件)について、物価対策特別委員会に付託することに決定。
- ③ 代表質問の順序について、1番野中富雄議員(社会)、2番田莉子政太郎議員(自民)、3番石川十四夫議員(道政ク)とすることに決定。
- ④ 明9日の本会議の議事は、次の順序にて取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

#### 諸般の報告

日程第1 請願第356号

物価対策特別委員会に付託することについて簡易採決

日程第2 議案第23号及び第24号

追加提出議案に関する知事の説明

日程第2にあわせ、

日程第3 議案第1号ないし第21号及び報告第1号ないし第21号

質疑並びに一般質問(代表質問(3人))

○7月9日(火) 午前11時38分、議会運営委員会室において開議、午前11時44分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 総務部長から、追加提出議案について説明。
- ② 代表質問の順序については昨日決定のとおりとし、野中富雄議員(社会)の質問後休憩する。一般質問について、配付の通告表(8人)とし、順序について協

定決定の後、10日4人、11日4人を行なうことに決定。

- ③ 本日の本会議の議事順序は、昨日決定のとおりとすることを了承。
- ④ 岡田 義雄副議長(社会)から、日朝議連に関し、経済文化視察団の日程等について説明及び協力方の要請があった。

○7月10日(水) 午前11時1分、議会運営委員会室において開議、午前11時11分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 藤井 猛委員(自民)から、一般質問の順序変更について意見があり、大方春一委員(社会)、尾崎豊委員(道政ク)、作田政次委員(自民)、原潜重委員(社会)及び本間喜代人委員(共産)から意見の交換があって、本日の一般質問は4人を予定することに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第21号、第23号、第24号及び報告第1号ないし第21号で、一般質問4人を行なうことに決定。

○7月11日(木) 午前11時22分、議会運営委員会室において開議、午前11時27分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 総務部長から、追加提出予定議案について説明。
- ② 請願第357号(大量高速輸送機関の運行確保に関する件)について、総合開発調査特別委員会に付託することに決定。
- ③ 本日の一般質問は4人を行ない、質疑終結後、予算特別委設置動議の提出は、尾崎豊議員(道政ク)とすることを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおり決定。
- ⑤ 各委員会付託議案審査のための休会について、7月12日から16日までの5日間とすることに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序にて取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

#### 諸般の報告

日程第1 請願第357号

総合開発調査特別委員会に付託することについて簡易採決

日程第2 議案第1号ないし第21号、第23号、第24号及び報告第1号ないし第21号

質疑並びに一般質問(4人)

(質疑終結)

予算特別委員会設置動議

予算特別委員の指名

議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のための休会の決定（7月12日から16日までの5日間）

○7月17日（水） 午後4時38分、議会運営委員会室において開議、午後4時41分散会、委員長 佐々木 豊（自民）

- ① 総務部長から、追加提出予定議案について説明。
- ② 追加提出議案について、第26号は厚生委員会に、第27号は文教林務委員会に付託することに決定。
- ③ 意見案第1号（昭和49年産生産者米価に関する要望意見書）について、本日可決することに決定。
- ④ 委員長から、各委員会における付託議案審査の状況について報告。
- ⑤ 会期延長について、7月18日まで1日間延長することに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序にて取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

- 日程第1 議案第26号及び第27号  
提出議案に関する知事の説明  
議案の各委員会付託
- 日程第2 意見案第1号  
（説明及び委員会付託省略）  
原案のとおり決することについて簡易採決
- 日程第3 会期延長の件（7月18日1日間）

○7月18日（木） 午後4時43分、議会運営委員会室において開議、午後4時44分散会、委員長 佐々木 豊（自民）

- ① 委員長から、各委員会における付託議案の審査状況について報告。
- ② 会期延長について、7月19日まで1日間延長することに決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、諸般の報告の後、日程第1会期延長の件を議題とし、7月19日1日間延長を決定して、散会する、以上の順序にて取り進めることに決定。

○7月19日（金） 午後11時50分、議会運営委員会室において開議、委員長 佐々木 豊（自民）

- 委員長から、会期の1日延長について発言の後、中田 繁夫委員（社会）から、議員定数調査特別委員会、幹事長会議等の経過について発言があり、高橋賢一議長（自民）から応答の後、中田委員、本間喜代人委員（共産）から、議員定数特別委員の取扱いと会期の関連について発言。ついで、議長

から、付託議案成立のため、会期延長の必要性について発言の後、改選治幸議員（社会）から、会期延長について、会議規則第87条に基づく投票による表決方について要求、委員長から休憩についてはなかったところ、休憩をめぐる紛糾し、時間切れのため流会。

○7月22日（月） 午後5時45分、議会運営委員会室において開議、午後6時15分散会、委員長 佐々木 豊（自民）

- ① 高橋 賢一議長（自民）から、第2回定例会の流会に対する遺憾の意を表明。
- ② 臨時会の招集について、招集日は7月24日とし、本日告示すること、付議案件は、前定例会の流会により審議未了となった案件及び人事案件52件とすることを了承。
- ③ 臨時会の会期について、7月24日から25日までの2日間とすることに決定。
- ④ 提出案件の取扱いについて、議案の提出方法は、審議未了分については原本送付のみとし、人事案件については新たに配付する、審議の方法は、提案説明の後、質疑通告なしと認め、人事案件については即決、その他の案件については各委員会に付託する、予算・決算特別委員会については、流会に伴い自然消滅しているため、新たに動議により設置し、審査することに決定。
- ⑤ 要望意見案の取扱いについて、前定例会においてすでに署名手続が終わっているので、日付けを訂正して即決することに決定。
- ⑥ 請願、陳情の取扱いについて、流会によりすべて審議未了となったので、7月24日付けで再提出あったものとして処理簿に記載、文書表作成は省略し、文書表番号、月日は訂正表により訂正して各委員会に付託する、審査結果報告書及び継続審査申出書は、番号、月日の訂正表を添付することを決定。
- ⑦ 常任委員会の所管事務調査事項について、委員会で決定のうえ、継続調査の申し出を行ない、会議にはかつて決定することを決定。
- ⑧ 予算、決算特別委員会について、新たに設置し、正副委員長互選の後、予算特別委員会について審議のうえ、委員長報告を行ない、議決する、決算特別委員会については継続審査を決定のうえ、申出書を提出することに決定。
- ⑨ 各種資料について、委員会審査結果報告書、継続審査申出書等については、月日、番号の訂正表添付のものを提出することとした。
- ⑩ 予算・決算の設置動議及び委員構成は前定例会と同じとし、正副委員長の回数、順序は前定例会の延長とすることを確認。

○7月24日(水) 午後2時、議会運営委員会室において開議、午後2時11分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 総務部長から、第1回臨時会提出案件について説明。
- ② 公害対策特別委員について、川尻外治議員(自民)を補欠選任することに決定。
- ③ 高橋辰夫議員(自民)の辞職に伴う苫小牧港管理組合議会議員の補欠選挙について、指名推選の方法によることとし、議長において指名(伊藤弘議員(自民))することに決定。
- ④ 意見案第1号ないし第3号について、本日即決することに決定。
- ④ 請願、陳情の特別委員会付託について、請願第372号、第373号、第495号及び第496号は総合開発調査特別委員会に、請願第374号ないし第379号及び陳情第104号は物価対策特別委員会に、請願第497号ないし第500号、陳情第140号及び第141号は石炭対策特別委員会に、請願第501号ないし第504号は公害対策特別委員会にそれぞれ付託することに決定。
- ⑤ 予算及び決算特別委員会の設置動議の提出について、尾崎豊議員(道政ク)とすることを了承。
- ⑥ 議案の各委員会付託について、配付の一覧表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 請願・陳情文書表、委員会審査報告書及び議案番号の訂正について、事務局長説明のとおり了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

- 日程第1 会議録署名議員の指定  
諸般の報告  
元議員の逝去報告
- 日程第2 会期決定の件(7月24日から25日までの2日間)
- 日程第3 特別委員補欠選任の件  
公害対策特別委員に川尻外治議員を補欠選任することについて簡易採決
- 日程第4 苫小牧港管理組合議会議員の補欠選挙  
補欠選挙の数は1人とし、指名推選によること、及び指名の方法は議長において指名することについて簡易採決
- 日程第5 議案第1号ないし第30号、報告第1号ないし第22号  
提出案件に関する知事の説明  
議案第27号ないし第30号を問題とし、議案第27号ないし第29号については原案のとおり同意、議案第30号については原案のとおり決することについて起立採決

(共産反対)

予算・決算特別委員会設置の動議  
予算・決算特別委員の指名  
議案の各委員会付託

- 日程第6 意見案第1号ないし第3号  
(説明及び委員会付託省略)  
原案のとおり決することについて簡易採決
- 日程第7 請願第372号ないし第379号、第495号ないし第504号、陳情第104号、第140号、第141号  
関係特別委員会に付託することについて簡易採決

○7月25日(木) 午後7時34分、議会運営委員会室において開議、午後7時37分散会、委員長 佐々木 豊(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議結果並びに議員定数調査特別委員会の調査終了について報告。
- ② 再開後の本会議の議事は、次の順序にて取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

- 日程第1 議案第1号ないし第26号、報告第1号ないし第21号  
予算特別、農務、総務、厚生、文教林務、建設、農地開発、総合開発調査特別各委員長報告  
議案第23号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立採決(共産反対)  
残余の案件を問題とし、委員長報告(議案は可決、報告は承認議決)のとおり決することについて簡易採決
- 日程第2 北海道議会議員の選挙区及び各選挙区別定数に関する調査の件  
議員定数調査特別委員長報告  
委員長報告をもって調査終了することについて簡易採決
- 日程第3 請願、陳情審査の件  
(委員長報告省略)  
委員会決定(採択16件)のとおり決することについて簡易採決
- 閉会中継続審査の件  
決算特別委員長から申し出のとおり、報告第22号について閉会中継続審査に付することについて簡易採決
- 閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに総合開発調査、石炭対策、  
公害対策各委員長から申し出のとおり、閉会中  
継続審査又は調査に付することについて簡易採  
決

閉会のあいさつ  
(閉会)

## 常任委員会

### 総務委員会

○6月3日(月) 午後5時27分、第5委員会室において  
開議、午後5時29分散会、委員長 西  
尾 六七(自民)

#### 一般議事

○ 本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○6月4日(火) 午後2時45分、第5委員会室において  
開議、午後7時5分散会、委員長 西  
尾 六七(自民)

#### 一般議事

① 委員長から、さきに実施した過疎及び交通安全対策  
の推進状況に関する道外調査の経過について報告書に  
より報告、異議なくこれを了承。

② 総務部長から、職員給与の暫定措置及び工事契約に  
関する専決処分予定について説明の後、  
佐野 法幸委員(社会)から、工事を急ぐ理由につ  
いて  
質疑があり、総務部長から答弁。

③ 委員長から、陳情第92号(大森、珊瑚区間の海岸道  
路工事中止の件)及び第96号(神恵内地区における海  
岸道路の早期開通の件)について、陳情者から取下げ  
願があった旨を報告。

④ 委員長から、北教組幹部の逮捕問題に関する文教林  
務委員会との連合審査会開催要請に係る理事会の協議  
経過について報告の後、湯田倉治委員(社会)、佐野  
法幸委員(社会)、西村慎一委員(自民)、笹浪幸男  
委員(新政ク)、笠島保委員(社会)、中田繁夫委員  
(社会)及び山科喜一委員(共産)からそれぞれ意見  
の交換があって、午後3時50分休憩、午後4時29分再  
開。笠島保委員(社会)から、連合審査会開催の必要  
性について討論の後、採決に入り、挙手採決の結果、  
挙手少数(反対自民、新政ク)にて連合審査会を開催  
しないことに決定。中田繁夫委員(社会)から議事進  
行発言があって、午後4時35分休憩、午後5時5分再  
開。

⑤ 中田 繁夫委員(社会)から、北教組幹部の逮捕理  
由と根拠法令並びにその妥当性、不出頭に対する警察  
の姿勢、家宅搜索の理由、警察庁等との関連及び政治  
的意図の有無、憲法上の基本権に対する警察権介入の  
適否等について、

湯田 倉治委員(社会)から、不出頭による逮捕の  
適否、警察のあり方等について、

佐野 法幸委員(社会)から、逮捕理由の妥当性、  
憲法及び労働3法との関連と警察行政のあり方、被疑

者と北教組幹部の関連等について、

山科 喜一委員（共産）から、(1)逮捕理由の適否と取調べのあり方、政治的意図の有無、逮捕のあり方と今後の見通し、(2)真駒内アイスアリーナ貴賓室を使用させない理由、道費補助金の内容等について、

笠島 保委員（社会）から、逮捕理由の適否と事件発生後長期間たっている事実等について

質疑及び意見があり、道警警備部長、道警本部長及び生活環境部長から答弁。

○6月28日（金） 午後2時20分、第5委員会室において開議、午後3時15分散会、委員長 西尾 六七（自民）

#### 一般議事

① 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

② 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、昭和50年度開発関係予算主要要望事項についてそれぞれ説明の後、

湯田 倉治委員（社会）から、国連大学の一部誘致の理由、千島歯舞諸島居住者連盟に対する補助制度の内容と援護対策の基金量等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。中田繁夫委員（社会）から発言、委員長から応答。

③ 鈴木 誠二委員（社会）から、国の総需要抑制による当初予算編成の考え方及び公共事業執行上の指導内容及び年度内の措置方について、

山科 喜一委員（共産）から、道有財産貸付契約書の保管部課と総合調整、自衛隊及び道有林関係の貸付状況等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○7月9日（火） 午前10時55分、第5委員会室において開議、午前10時58分散会、委員長 西尾 六七（自民）

#### 一般議事

○ 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月11日（木） 午後零時50分、第5委員会室において開議、午後零時53分散会、委員長 西尾 六七（自民）

#### 一般議事

○ 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月17日（水） 午後零時45分、第5委員会室において開議、午後1時7分散会、委員長 西

尾 六七（自民）

#### 付託案件の審査

① 議案第13号（北海道議会事務局職員定数条例の一部を改正する条例案）、議案第15号（北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案）及び議案第15号（北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長からそれぞれ説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。

② 議案第18号（警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案）を議題とし、道警警務部長から説明の後、

湯田 倉治委員（社会）から、災害の範囲と給付額等について、

中田 繁夫委員（社会）から、道警独自の改正かについて、

笠島 保委員（社会）から、具体例と一時金支給の有無について

質疑及び意見があり、道警警務部長から答弁があって、異議なく原案のとおり可決することに決定。

③ 議案第23号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

④ 報告第1号、第2号及び第3号（いずれも専決処分報告（北海道職員、知事等及び地方警察職員の給与の一部を改正する条例）につき承認を求める件）を一括議題とし、総務部長から説明の後、異議なくいずれも承認議決とすることに決定。

⑤ 報告第5号（専決処分報告（北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例）につき承認を求める件）、報告第8号及び第9号（いずれも専決処分報告（工事請負契約の締結に関する件）につき承認を求める件）を順次議題とし、総務部長からそれぞれ説明の後、いずれも承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

① 総務部長から、追加提出予定議案について説明。

② 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び地方財政制度に対する対策の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

③ 地方財政の措置に関する要望意見案についてはかり、異議なく配付の案文により発議することに決定。

○7月24日（水） 午後1時30分、第5委員会室において開議、午後2時54分散会、委員長 西

## 付託案件の審査

- ① 委員長から、提案説明並びに質疑を省略することをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 議案第13号(北海道議会議務局職員定数条例の一部を改正する条例案)、第14号(北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例案)、第15号(北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案)、第18号(警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案)及び第22号(北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例)を一括議題とし、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。
- ③ 報告第1号、第2号、第4号、第5号、第8号及び第9号(いずれも専決処分報告につき承認を求める件)を一括議題とし、異議なくいずれも承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

## 一般議事

- ① 総務部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。議事進行の都合により午後1時34分休憩、午後2時50分再開(再開後、付託案件の審査を行なう)。
- ② 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 地方行政財政制度に対する対策の件、過疎地域振興対策の件、警察施設整備充実対策の件及び物価対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○7月26日(金) 午前10時44分、第5委員会室において開議、午前10時56分散会、委員長 西尾 六七(自民)

## 一般議事

- ① 委員長から、地方財政の措置に関する中央折衝並びに交通安全、地方財政及び過疎対策の推進状況に関する道内調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 山科 喜一委員(社会)から、マルチ商法等の物品販売の実態について  
質疑及び要求があり、道警本部長から答弁。

## 厚生委員会

○6月3日(月) 午後1時40分、第9委員会室において開議、午後3時50分散会、委員長 阿部 恵三男(自民)

## 一般議事

- ① 北海道社会福祉審議会委員について、異議なく委員長及び津川直一委員(道政ク)を推選することに決定。
- ② 民生部長から、ウタリ福祉対策について説明。
- ③ 民生部長から、電力料金引上げに伴う生活保護世帯に対する特別措置及び社会福祉施設に対する救済措置について説明の後、  
山家 勇委員(社会)から、生活保護基準における電力料金の算定と特別措置の内容、保育所に対する措置、施設運営予算の見直しの必要性等について  
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。
- ④ 民生部長から、肢体不自由年長児訓練施設の建設について説明。
- ⑤ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金改訂に関するその後の経過について説明の後、  
山家 勇委員(社会)から、無浴場地区解消の取組み経過と過疎対策との関連、物統令に対する考え方と公衆浴場の位置づけ、公衆浴場建設促進の年次計画と今後の対策のあり方、市町村助成の概要、答申時期の見通し、電力料金に係る特別措置の考え、審議会提出資料の提示等について、  
大浦 貞助委員(社会)から、公衆浴場に対する取組み姿勢、国、地区に対する基本的考え方と補助による救済の程度等について、  
川尻 外治委員(自民)から、無浴場地区の資料と経営上のペラインの検討方について  
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。
- ⑥ 衛生部長から、と畜場の整備について説明の後、  
山家 勇委員(社会)から、早急な作業の必要性について  
意見及び要望があった。
- ⑦ 委員長から、請願第291号(道内難病患者団体の運営と事業に対する道費補助の件)及び陳情第71号(慢性疾患児に対する療育費給付拡充の件)について、請願者及び陳情者から取下げ願があった旨を報告。
- ⑧ 渡辺 和歌子委員(社会)から、A F 2に係る対策、塩化ビニール殺虫剤に対する指導と対応策、道独自の光化学スモッグ対策の必要性について、  
山家 勇委員(社会)から、道立衛生研究所の立場と資料の整備、研究成果の公表の必要性、老人の住宅入居希望者数、寡婦に対する公営住宅入居基準の改正の考えについて  
質疑、意見及び要望があり、衛生部長及び民生部長から答弁。

○6月11日(火) 午前11時27分、第9委員会室において開議、午後1時50分散会、委員長 阿部 恵三男(自民)

## 一般議事

- ① 衛生部長から、公衆浴場入浴料金改訂に係る審議会の答申について説明の後、

山家 勇委員（社会）から、支払い方式と他府県との関連、離島に対する措置と過疎地域との関連、住民負担軽減の内容、低所得者、生活保護者に対する上乘せの考え、新料金による経営安定の見通し及び公衆浴場のビジョン、物統令適用に対する道の施策、答申の受けとめ方、電気料金のウェート、公租公課、公営への切换え、適正配置、道民負担軽減等今後の対応策、知事の出席方、答申の尊重と行政上の配慮等について、

渡部 勇雄委員（社会）から、離島における改訂料金による経営の見通しと格差の取扱い及び公費助成の必要額、改訂料金による経営不安定地区数と必要予算額、一部旧料金の考え方等について、

渡辺 和歌子委員（社会）から、総括方式の妥当性と一定客確保の困難性、行政上の努力の考えについて、

川尻 外治委員（自民）から、物統令適用の妥当性と国の措置の必要性、新料金に伴う公営料金に対する考え方、電気料金のすえ置き方について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁、委員長から応答。

- ② 公衆浴場に関する委員会の意見等の取りまとめについて、理事会に一任することに決定。

○6月27日（木） 午後2時23分、第9委員会室において開議、午後4時52分散会、委員長 阿部 恵三男（自民）

## 一般議事

- ① 委員長から、さきの委員会において要求のあった知事出席の取扱いについて報告。

- ② 民生部長及び衛生部長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

- ③ 民生部長及び衛生部長から、昭和50年度北海道開発関係予算主要要望事項についてそれぞれ説明の後、

山家 勇委員（社会）から、50年度のビジョンの明示方、施設計画、老人医療の年齢引下げ及びウタリ対策の年次計画の考え方、小児医療の給付方法と特定疾患の範囲拡大、救急休日・夜間診療のモデル地区設定の考え、通信医療システムのあり方、衛生大学の設置カ所と考え方、保健所の基準引上げの具体策、開発予算要求のあり方と市町村、出先の集約方法及び住民参加の考え等について、

津川 直一委員（道政ク）から、福祉施策の重点項目について、

大浦 貞助委員（社会）から、寿の家補助金の引上

げの必要性、事業体国保の赤字解消策について

質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

- ④ 民生部長から、道立肢体不自由年長児訓練施設新築工事請負契約に関する専決処分について説明。

- ⑤ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金改訂に関する処理経過について説明の後、

山家 勇委員（社会）から、身障者等ボーダーラインの取扱い、老人開放促進費補助及び過疎地対策の予算補正の考え、年度内再値上げに対する具体的方策、問題協議会の審議事項の考え方と結論の時期及び部の考えの取りまとめ時期、標準世帯の規模と調査の方法等について、

大浦 貞助委員（社会）から、実態把握の状況、企業努力の内容と道、市町村の措置の必要性、公営化の考え方等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

- ⑥ 委員長から、請願第264号（道立寿都病院改築の件）について、請願者から取下げ願があった旨を報告。

○7月18日（木） 午前11時30分、第9委員会室において開議、午前11時39分散会、委員長 阿部 恵三男（自民）

## 付託案件の審査

- ① 議案第16号（北海道医学及び歯科修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）及び議案第26号（工事請負契約の締結（北海道立小児総合保健センター新築追加工事）に関する件）を順次議題とし、衛生部長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。

- ② 報告第10号（専決処分報告（工事請負契約の締結（北海道立肢体不自由年長児訓練施設新築工事）に関する件）につき承認を求める件）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

## 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び社会福祉対策の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 請願第264号（道立寿都病院改築の件）、同第291号（道内難病患者団体の運営と事業に対する道費補助の件）及び陳情第71号（慢性疾患児に対する療育費給付拡充の件）について、それぞれ取下げがあった旨を報告。

○7月24日（水） 午後2時52分、第9委員会室において

開議、午後3時4分散会、委員長 阿部 恵三男（自民）

#### 付託案件の審査

- ① 議案第16号（北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）及び議案第25号（工事請負契約の締結に関する件）を順次議題とし、衛生部長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。
- ② 報告第10号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

##### 陳情

第103号 道立肢体不自由児養護施設設置の件  
(採択)

#### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 社会福祉対策の件及び公衆衛生対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○7月26日（金） 午前10時10分、第9委員会室において開議、午前10時24分散会、委員長 阿部 恵三男（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、道内における民生、衛生事情の調査並びに昭和50年度懸案事項に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 津川 直一委員（道政ク）から、船員の失業保険適用手続、難病の集団検診と国鉄ストの関連等について質疑及び意見があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

## 商工労働委員会

○6月3日（月） 午後1時48分、第8委員会室において開議、午後3時10分散会、委員長 合坪 正三（社会）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した他県の商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 商工観光部長から、家庭用灯油の標準価格廃止とこれに伴う指導方針について説明の後、

砂原 清治委員（社会）から、知事、副知事が廃止阻止要請をしなかった理由、旧価格仕入れ分に対する指導について、

星野 健三委員（社会）から、18リットル223円以内の根拠について  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- ③ 高橋 敏委員（公明）から、(1)道内企業倒産の原因と防止策、総需要抑制策の影響と建設工事の早期発注の必要性、3公庫の融資条件の緩和、倒産企業従業員の対応策、(2)石狩工業団地の用地買収に関し、計画面積と買収面積との関連、明治乳業用地を対象区域から除外した経過、漁民団地のあつ旋と基本方針との関連、譲渡地の漁協保有の妥当性と指導方、明治乳業との協定の経過と妥当性及び代替地と樽川農民の要望、未買収地の処理方針、町との連携等について  
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、金融課長、労働部長及び公営企業管理者から答弁。

○6月28日（金） 午前11時34分、第8委員会室において開議、午後零時4分散会、委員長 合坪 正三（社会）

#### 一般議事

- ① 商工観光部長及び労働部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局次長から、昭和50年度道開発関係予算主要要望事項についてそれぞれ説明。

○7月17日（水） 午後3時32分、第8委員会室において開議、午後3時39分散会、委員長 合坪 正三（社会）

#### 一般議事

- ① 中小企業振興対策の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすること、及び付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 公営企業管理者から、苫小牧東部工業団地内における野火の発生について説明。

○7月24日（水） 午後2時44分、第8委員会室において開議、午後2時46分散会、委員長事故のため副委員長 宇川 源吉（自民）

#### 一般議事

- 中小企業振興対策の件、雇用対策推進の件、北海道公営企業の運営に関する件及び物価流通対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすること、並びに付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なく



そのことに決定。

- 7月26日(金) 午前10時17分、第8委員会室において開議、午前10時18分散会、委員長 合坪 正三(社会)

#### 一般議事

- 委員長から、商工労働事情に関する道内調査については、異議なく配付の日程案により実施することに決定。

### 農務委員会

- 6月3日(月) 午後1時46分、第7委員会室において開議、午後5時散会、委員長 三上 勇(自民)

#### 一般議事

- ①委員長から、さきに実施した生産者米価に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ②農務部長から、農作物の生育状況及び農作業の進捗よく状況について説明の後、

笠井 幸衛委員(社会)から、今後の生育見通しと指導の方針、技術指導の徹底方について質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

- ③委員長から、さきに要求のあったてん菜作付け動向に関する資料の提出があった旨を報告。農務部長から、提出資料について説明の後、

亀井 忠衛委員(社会)から、従来の集荷区域変更の考え、会社側との価格交渉の内容、委員会決定の受けとめ方と道費上積みの必要性等について、

新村 源雄委員(社会)から、糖価安定法に基づく買入れ価格指示の発動要請の考え、国内産の比重上げの必要性等について、

先崎 照雄委員(社会)から、てん菜減少に伴う増加作目について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ④農務部長から、留萌市における農地法違反に係る調査結果について説明の後、

先崎 照雄委員(社会)から、調査内容の資料、法違反に対する対処策、市振興公社、不動産業者の一連の関係に対する見解、許可関係書類の整備状況、農林省との協議時期とその見通し、市振興公社と農協間の売買契約書の有無、検査の方法と対象期間及びマサリベツ地区の土地との関連、土地の名義と税金等の処理内容、責任の明確化と道の毅然たる態度、農委職員研修と違反の関連、公文書の日付け変更、議事録の作成、土地の名義等に対する見解、違反に対する認識等

について、

新村 源雄委員(社会)から、告発の必要性について、

亀井 忠衛委員(社会)から、農委、農協、公社、業者の相互関係に係る資料、告発の考えと全道農委の点検、指導の必要性、現地日証明発行の実態と事務局長の責任、十分な調査の必要性、留萌農協の検査実施状況等について

質疑、意見及び要望並びに要求があり、農務部長から答弁。

- ⑤農務部長から、清里町における農協設立に関するその後の経過について説明。

- ⑥農務部長から、農業用機械等の補助金早期交付について説明の後、

亀井 忠衛委員(社会)から、一般の機械購入に対する価格問題に係る指導方について

要望があった。

- ⑦農務部長から、昭和49年度米予約限度数量について説明。

- ⑧委員長から、昭和49年度米価に関する中央折衝並びに道外における農業事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ⑨亀井 忠衛委員(社会)から、馬鈴しょ病害発生の実態と調査の目的、種子販売業者に対する補償要求の考えと今後の指導策等について、

川崎 守委員(共産)から、農業団体の選挙運動の事実とこれに対する見解、農協法に基づく事業範囲との関連及び運動経費支出の有無、業務命令のあり方及び調査の考え等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- 6月28日(金) 午後4時、第7委員会室において開議、午後5時36分散会、委員長事故のため副委員長 新村 源雄(社会)

#### 一般議事

- ①副委員長から、さきに実施した道外農業事情の調査並びに昭和49年産麦の政府買入れ価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。関連して、農務部長から、麦の政府買入れ価格の決定内容等について説明。

- ②農務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明の後、

笠井 幸衛委員(社会)から、農業改良普及所整備費の対象カ所について

質疑があり、農務部長から答弁。

- ③農務部長から、昭和50年度農業関係国費予算の要望事項について説明の後、笠井幸衛委員(社会)及び川

崎守委員（共産）から、本件の取扱いについて発言があり、農務部長から答弁、副委員長から応答。

④ 副委員長から、さきの委員会において要求のあった留萌市における土地問題に関する資料の提出があった旨を報告。

⑤ 農務部長から、留萌市における土地に係る市農協の常例検査結果について説明の後、

先崎 照雄委員（社会）から、土地所有者との関係、早急な解決の必要性、今後の指導の徹底方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

⑥ 農務部長から、ホクレンの選挙活動問題に係る照会結果について説明の後、

川崎 守委員（共産）から、照会先と文書の写し、ポスターはりの動員の事実等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

⑦ 先崎 照雄委員（社会）から、米の買入れ限度数量に関し、割当て数量と予備予約数量の格差に対する考え方について

質疑があり、議事進行の都合により午後5時3分休憩、午後5時6分再開。農務部長から答弁の後、引き続き、

先崎 照雄委員（社会）から、(1)全量買上げの基本姿勢、(2)と畜場の整備に関し、整備促進の考え方と完了時期、国・道の助成等の必要性について、

笠井 幸衛委員（社会）から、米の収穫予想量に対する概算払いの方途について、

吉田 繁雄委員（自民）から、肉用牛の輸入増加に伴う苫小牧検疫所設置の可能性について、

川崎 守委員（共産）から、空知中核工業団地造成に関連する農林省の文書、斜里町における馬鈴しょバイラス病発生の調査報告方について

質疑、意見、要望及び要望があり、農務部長から答弁。

○7月12日（金） 午前11時25分、第7委員会室において開議、午後零時散会、委員長 三上 勇（自民）

#### 付託案件の審査

○ 議案第12号（公団営農用地開発事業負担金等徴収条例案）を議題とし、農務部長から説明の後、

川崎 守委員（共産）から、公団施工施設の引渡し

の形態、農業用道路の工事施行範囲等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁があって、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

請 願

第355号 昭和49年米政府買入価格の大巾引上げ等に関する件（採択）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### 一 般 議 事

① 寒地農業確立対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

② 農務部長から、昭和49年産稲作転換等実施計画について説明。

③ 委員長から、昭和49年産生産者米価に関する中央折衝並びに道内における農業事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○7月24日（水） 午後3時、第7委員会室において開議、午後3時3分散会、委員長 三上 勇（自民）

#### 付託案件の審査

○ 議案第12号（公団営農用地開発事業負担金等徴収条例案）を議題とし、提出者の説明を省略して、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

請 願

第366号 農業政策に関する件（採択）

第367号 昭和48年度生産者米価に係る追加払い並びに昭和49年度生産者米価決定の適正化に関する件（採択）

第368号 農業問題に関する件（採択）

第369号 当面する北海道農業危機突破のための措置に関する件（採択）

第370号 畜産農業振興に関する件（採択）

第371号 昭和49年米政府買入価格の大巾引上げ等に関する件（採択）

残余の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### 一 般 議 事

○ 寒地農業確立対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○7月26日（金） 午後1時30分、第7委員会室において開議、午後4時4分散会、委員長 三上 勇（自民）

#### 一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した昭和49年産生産者米価に関する中央折衝の概要について報告書により報告、

異議なくこれを了承。

- ② 農務部長から、昭和49年産生産者米価の決定内容について説明の後、

新村 源雄委員（社会）から、生産者米価の低位決定と労働時間積算の方法、てん菜・牛乳等農産物の生産者価格の妥当性と再改定要請の考え、審議会の答申時期と道の姿勢、作物間の価格の不均衡と道の基本方針、算定方式と試算の内容及びその妥当性等について質疑及び意見があり、農務部長及び畑作園芸課長から答弁。笠井幸衛委員（社会）から議事進行発言があって、午後2時28分休憩、午後4時51分再開し、農務部長から補足答弁の後、

新村 源雄委員（社会）から、現状における農産物価格の矛盾と今後の方針について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

- ③ 農務部長から、農作物の生育状況等について説明の後、

亀井 忠衛委員（社会）から、馬鈴しょ葉巻き病に対する応急対策と今後の対策、国の援助の内容と種子需給の長期対策、減収に伴う影響と対策、シスト線虫の被害状況と防除対策、道東地区における病害馬鈴しょ販売のルートと種子不足に対応する施設新設の必要性等について、

吉田 繁雄委員（自民）から、有機質肥料の施用と地力増強の重要性、堆・きゅう肥の固形化、魚かす資源の活用と普及奨励の必要性について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ④ 委員長から、道東地域における農作物の作況調査の実施については、異議なくそのことに決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 建設委員会

- 6月3日（月） 午後1時33分、第4委員会室において開議、午後3時9分散会、委員長 倉増 新八郎（自民）

### 一般議事

- ① 土木部長から、公有水面埋立法の一部改正について説明の後、

青木 力委員（社会）から、知事の許可権限と改正趣旨に基づく運用の必要性について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁。

- ② 住宅都市部長から、道持ち家建設資金貸付制度について説明の後、

越前谷 忠委員（社会）から、公庫利用者に限定した理由と対象拡大の必要性、公庫の本年度道分枠の有無と指導方、利子補給の検討方、受付窓口と公庫窓口

との関連等について、

青木 力委員（社会）から、住宅政策の根本的な考え方と考え直す必要性、住宅相談員の支庁設置の考えについて

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

- ③ 越前谷 忠委員（社会）から、急傾斜地崩壊防止事業の実施カ所と知事の道南視察時の発言との関連、公庫融資の利子と激甚災非適用に伴う低減要請に対する方策等について、

桜井 勝広委員（社会）から、前払金の措置と今後の発注見通し、入札不調の原因と単価基準の内容等について、

藤井 猛委員（自民）から、国の補助事業、繰延べ事業の発注見直しについて

質疑及び意見があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

- 6月28日（金） 午前11時20分、第4委員会室において開議、午後零時22分散会、委員長 倉増 新八郎（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した他府県における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和50年度道開発関係予算主要要望事項についてそれぞれ説明の後、

越前谷 忠委員（社会）から、主要要望事項の基本的考え方と見直しの結果との関連、苫東及び石狩湾新港のアセスメントとの関連、昭和48年度の超過負担額と解決策、過疎地域の生活基盤の充実策、道開発法との関連、住宅金融公庫の融資目標額、住宅規模の拡大と既存住宅の関連、大沼の汚濁防止策等について質疑及び意見があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

- 7月17日（水） 午後2時24分、第4委員会室において開議、午後2時30分散会、委員長 倉増 新八郎（自民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第20号（北海道道の路線の認定及び廃止に関する件）を議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 報告第7号（専決処分報告（損害賠償の額の決定に関する件）につき承認を求める件）及び報告第11号ないし第13号（いずれも専決処分報告（工事請負契約の締結に関する件）につき承認を求める件）を一括議題

とし、異議なく原案のとおり承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継統審査の扱いとすること、及び地方道整備促進の件はかる件について、閉会中継統調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- 7月24日(水) 午後2時45分、第4委員会室において開議、午後2時50分散会、委員長 倉増 新八郎(自民)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第20号(北海道道の路線の認定及び廃止に関する件)を議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 報告第7号及び報告第11号ないし第13号(いずれも専決処分報告につき承認を求める件)を一括議題とし、異議なく原案のとおり承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、閉会中継統審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 地方道整備促進の件、治水対策の件、海岸保全対策の件及び住宅対策の件について、閉会中継統調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- 7月26日(金) 午前10時6分、第4委員会室において開議、午前10時7分散会、委員長 倉増 新八郎(自民)

#### 一般議事

- 委員長から、道内建設事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

### 農地開発委員会

- 6月3日(月) 午後1時19分、第2委員会室において開議、午後1時29分散会、委員長 小堀 秀次(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した他府県における農地開発改良事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 農地開発部長から、第1四半期における農業基盤整備事業工事発注状況について説明の後、

藤井 虎雄委員(社会)から、残事業分の発注見通しと早期発注の必要性及び地元業者に対する配慮について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

- 6月28日(金) 午前11時23分、第2委員会室において開議、午前11時57分散会、委員長 小堀 秀次(社会)

#### 一般議事

- 農地開発部長から、昭和50年度北海道開発予算主要要望事項並びに第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

- 7月17日(水) 午後3時42分、第2委員会室において開議、午後3時49分散会、委員長 小堀 秀次(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第21号(工事請負契約の締結(中樹林地区道管かんがい排水事業)に関する件)及び報告第14号(専決処分報告(工事請負契約の締結(大富地区道管かんがい排水事業)に関する件)につき承認を求める件)を順次議題とし、農地開発部長からそれぞれ説明の後、異議なく議案については原案のとおり可決、報告については承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 農地開拓事業推進の件はか1件について、閉会中継統調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、請願第52号(土地改良事業再施行の件)及び第78号(草地造成事業の再施行の件)について、請願者から取下げの申し出があった旨を報告。残余の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継統審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- 7月24日(水) 午後2時58分、第2委員会室において開議、午後3時1分散会、委員長 小堀 秀次(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第21号(工事請負契約の締結に関する件)及び報告第14号(専決処分報告につき承認を求める件)を一括議題とし、提案説明を省略のうえ、異議なく議案については原案可決、報告については承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告について

は、委員長に一任することとした。

#### 一 般 議 事

- 農地開発改良事業推進の件及び農地開拓事業推進の件について、閉会中継続調査の扱いとすること、及び付託の請願について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○7月26日(金) 午前10時26分、第2委員会室において開議、午前10時31分散会、委員長 小堀 秀次(社会)

#### 一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、昭和49年度上半期農業基盤整備関係事業発注計画について説明。
- ② 委員長から、昭和50年度北海道開発予算に関する中央折衝並びに農用地開発改良事業に関する道内調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。日時、派遣委員については、委員長に一任することとした。

## 水 産 委 員 会

○6月3日(月) 午後1時59分、第6委員会室において開議、午後3時32分散会、委員長 滝沢 勉(自民)

#### 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した他府県の水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 水産部長から、ソ連監視船による罰金徴収事件とその後の措置等について説明の後、  
松浦 義信委員(自民)から、安全操業に対する発想転換の必要性と国連海洋法会議の動向との関連、貝殻島コンブ協定方式に対する考え方、地方行政庁間の話合いの積重ね等について、  
奥野 一雄委員(社会)から、公海上の漁獲と罰金徴収に対する政府見解及び外交手段の内容、安全操業に対する道と樺太庁の接触、積極的な諸措置の必要性等について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。
- ③ 委員長から、道内における水産事情調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 武藤 正春委員(社会)から、韓国への漁業関係企業の進出と労働者の日本での研修及び日本近海の操業等の実態並びに道漁連の出資理由とこれらに対する見解、負傷漁船員の取扱いの実態調査等について、  
時田 政次郎委員(社会)から、漁連の事業内容と

出資との関連について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午後2時56分休憩、午後3時4分再開。ついで、

松浦 義信委員(自民)から、道東沿岸における流水被害の対処策、天災融資法適用に対する考え方及びサロマ湖の場合の措置と異なる理由、漁業資材高騰に伴う漁業経営安定対策について、

奥野 一雄委員(社会)から、流水被害に対する天災融資法適用要請の考え方について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○6月28日(金) 午後2時23分、第6委員会室において開議、午後3時46分散会、委員長 滝沢 勉(自民)

#### 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した道東地域水産事情調査の概要について報告書により報告。異議なくこれを了承。
- ② 水産部長から、第2回定例会提出予定案件並びに昭和50年度北海道開発関係予算主要要望事項について説明。
- ③ 原 清重委員(社会)から、静内海域の自衛隊演習による被害調査に関し、函館水試の調査経費の負担と調査時の動向、調査結果の発表時期、中間資料の提出方等について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午後3時2分休憩、午後3時5分再開。引き続き、  
原 清重委員(社会)から、弾片の散在海域とホッキ稚貝に与える影響、自衛隊からの支出と会計上の処理、漁船等の借上げ経費、自衛隊の委託調査と水試の業務内容、調査方法の妥当性と道独自の調査、演習中止の必要性と漁業補償に対する考え方等について  
質疑及び意見があり、水産部長から答弁。時田政次郎委員(社会)から議事進行発言があって、午後3時36分休憩、午後3時46分再開し、直ちに散会。

○7月17日(水) 午後零時27分、第6委員会室において開議、午後零時37分散会、委員長 滝沢 勉(自民)

#### 一 般 議 事

- ① 水産部長から、さきの委員会における質疑事項について答弁。
- ② 付託の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び沿岸漁家振興対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- 7月24日(水) 午後2時49分、第6委員会室において開議、午後2時51分散会、委員長 滝沢 勉(自民)

#### 一般議事

- 付託の請願について、閉会中継続審査の扱いとすること、及び沿岸漁家振興対策の件について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- 7月26日(金) 午前10時6分、第6委員会室において開議、午前10時7分散会、委員長 滝沢 勉(自民)

#### 一般議事

- 委員長から、道内における水産事情調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 文教林務委員会

- 6月3日(月) 午後5時31分、第10委員会室において開議、午後5時32分散会、委員長 諏訪田 勝衛(社会)

#### 一般議事

- 本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

- 6月28日(金) 午後4時50分、第10委員会室において開議、午後6時30分散会、委員長 諏訪田 勝衛(社会)

#### 一般議事

- ① 村上 舜明副委員長(自民)から、前回の委員会運営について釈明、異議なくこれを了承。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、第2回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ③ 教育長及び林務部長から、昭和50年度道開発関係予算主要要望事項についてそれぞれ説明の後、  
本間 喜代人委員(共産)から、教育委員会関係の超過負担の状況、建築資材の高騰と単価アップ幅の適否及び具体的方策、中間収益制度の具体的要求内容及び木材輸入港の整備について  
質疑及び意見があり、教育長及び林務部長から答弁。
- ④ 教育長から恵庭南高校定時制生徒会誌掲載文について、林務部長から本年の林野火災による被害状況及び今冬の寒風と乾燥による造林地と苗畑の被害についてそれぞれ説明。
- ⑤ 林務部長から、札幌市西岡水源かん養保安林の解除について説明の後、  
本間 喜代人委員(共産)から、札幌市と羊ヶ丘自

然保護団体との協定内容等について  
質疑があり、林務部長から答弁。

- ⑥ 林務部長から、大規模林業圏開発計画策定調査について説明の後、

本間 喜代人委員(共産)から、自然保護調査の対象範囲、予定路線の最高標高と高い部分の制限の必要性、車の乗入れ制限計画の有無とその必要性、国費予算額と全路線の自然保護調査の可能性について、

大方 春一委員(社会)から、本年度の着工カ所及び反対団体との調整状況、将来予測の調査の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。

- ⑦ 影山 豊委員(社会)から、静内町内のチャシ破損事件の経緯と適切な指導、管理の必要性及び強い取締りの姿勢、分布調査と追加指定の考え、農免道路の関連、崖くずれの復旧保全、開発庁、業者等との協議会設置の必要性等について、

小笠原 孝委員(自民)から、文化財保護対策の緊急性と年次計画による実施について、

大方 春一委員(社会)から、指定文化財の積極的保護対策について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び林務部長から答弁。

- 7月18日(木) 午後零時20分、第10委員会室において開議、午後2時10分散会、委員長 諏訪田 勝衛(社会)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第17号(北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第24号(学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、本間喜代人委員(共産)から反対の意思表示があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(反対共産)にて原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第27号(工事請負契約の締結(北海道立美術館新築(躯体)工事)に関する件)を議題とし、教育長から説明の後、  
本間 喜代人委員(共産)から、伊藤・清水共同企業体の設立経過について  
質疑があり、議事進行の都合により午後零時40分休憩、午後零時45分再開し、本件質疑を一時保留することに決定。
- ④ 報告第3号(専決処分報告(北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)につき承認を求める件)を議題とし、教育長から説明の後、異議なく

承認議決とすることに決定。

- ⑤ 報告第6号（専決処分報告（財産の取得に関する件）につき承認を求める件）を議題とし、学事課長から説明の後、

影山 豊委員（社会）から、知事名入りの妥当性、フードをつける考えについて、

小笠原 孝委員（自民）から、父兄の意向調査の方法等について、

塚本 肇委員（社会）から、知事名を入れた考え方や他府県の例、決定権者と苦情の有無について質疑、意見及び要望があり、学事課長から答弁があって、異議なく承認議決とすることに決定。

- ⑥ 報告第15号ないし第21号（専決処分報告（いずれも船舶建造又は校舎新・改築に係る工事請負契約の締結に関する件）につき承認を求める件）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なくいずれも承認議決とすることに決定。

- ⑦ 教育長から、議案第27号に対する本間委員の質疑保留事項について答弁の後、本間喜代人委員（共産）から意見があって、異議なく議案第27号を原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 学校教育並びに社会教育の充実促進の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。なお、請願第281号（非常勤講師の待遇改善の件）について、取下げがあった旨を報告。

○7月24日（水） 午後2時55分、第10委員会室において開議、午後3時1分散会、委員長 諏訪田 勝衛（社会）

#### 付託案件の審査

- ① 議案第17号（北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、提出者の説明を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第23号（学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案）を議題とし、提出者の説明を省略の後、本間喜代人委員（共産）から反対の意思表示があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（反対共産）にて原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第26号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、提出者の説明を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ④ 報告第3号、第6号及び第15号ないし第21号（いずれも専決処分報告につき承認を求める件）を一括議題とし、提出者の説明を省略のうえ、異議なくいずれも承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 学校教育並びに社会教育の充実促進の件、森林機能の維持拡大並びに林産業の振興の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 付託の請願・陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○7月26日（金） 午前10時16分、第10委員会室において開議、午前10時27分散会、委員長 諏訪田 勝衛（社会）

#### 一般議事

- ① 教育長から、昭和50年度国の文教施策に対する要望事項について説明の後、  
大方 春一委員（社会）から、学校給食用牛乳補助金の文部省予算移管について質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。
- ② 委員長から、昭和50年度国の文教施策に対する要望に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

# 特別委員会

## 総合開発調査特別委員会

○6月6日(木) 午前11時20分、第2委員会室において開議、午後2時散会、委員長事故のため副委員長 越前谷 忠(社会)

- ① 副委員長から、さきに実施した他府県における開発事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 副委員長から、さきの委員会において要求のあった開発関係事業超過負担額に関する資料の提出があった旨を報告。開発調整部長から、提出資料について説明。
- ③ さきに報告のあった第2期北海道総合開発計画の実績に関し、

青木 力委員(社会)から、調査実績と実質換算の内容及び投資額、生産額に対し換算しなかった理由、計画達成率の判断基準と社会生活基盤の整備が低い理由、生産所得と生産額の伸びの格差と社会的影響に対する認識、昭和60年の北海道経済の見通し、道民生活と地域格差の推移、道と開発局分離の必要性と道独自の開発の考え、報告の取扱いと3期計画に残された課題等について、

本間 喜代人委員(共産)から、実績に対する原因究明と反省点の検討の有無、人口増加率が全国平均を下回った時期と策定時における欠陥、人口の流動と道経済との関連及び都市と郡部の構成比と分析検討する必要性、人口の具体的な分析資料と正確な調査方について、

笠島 保委員(社会)から、産業別、業種別の経済基盤、札幌市、道央圏の人口集中要因の分析等明確な資料に基づく検討の必要性について

質疑、意見、要望及び要求があり、開発調整部長及び佐竹同部次長から答弁。

- ④ 開発調整部長から、石狩湾新港に伴う樽川地区農家の移転について説明。
- ⑤ さきに報告のあった研究学園都市建設の基本構想に関し、

青木 力委員(社会)から、道内各層を集約した誘致運動の必要性、筑波法、学生等、産業経済との関連など細部の検討の必要性について、

小笠原 孝委員(自民)から、本道建設の促進方、道内の要望カ所数と選定基準の可否、今後の折衝スケジュール等について、

山元 ミヨ委員(自民)から、本道の特殊性を考慮した誘致の必要性、建設適地の基準と行政区画との関連について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

- ⑥ 湯田 倉治委員(社会)から、原子力発電所建設に関し、札幌通産局長発言に対する考え方と安全性及び温排水に対する検討の考え、連絡会議設置の考え等について、

砂原 清治委員(社会)から、原子力発電所立地に関する所管部について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

- 6月27日(木) 午後2時12分、第2委員会室において開議、午後5時50分散会、委員長 神部 俊郎(自民)

- ① 開発調整部長から、昭和50年度北海道開発関係主要要望事項について説明の後、

砂原 清治委員(社会)から、苫小牧東部及び石狩湾新港着工に対する考え方、独禁法強化の明示、灯油元売価格の引下げ及び新価格体系の設定措置の必要性、札幌気象台小樽測候所のレーダー高所移転の早急実施の必要性等について、

青木 力委員(社会)から、開発予算要望の基本的考え方、開発の主体性と生活優先の考え、国鉄電化、複線化の促進の必要性、具体的な過疎対策等について、

越前谷 忠委員(社会)から、第3期計画との関連及び見直しに伴う50年度開発予算の重点、地熱開発利用調査の範囲と鹿部地区との関連、道新幹線建設の考え方と用地買収との関連及び電化、複線化の考え方、農産物長距離流通体系のフェリー活用の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

議事進行の都合により午後3時45分休憩、午後4時15分再開し、開発調整部長から補足答弁の後、

青木 力委員(社会)から、在来線増強の必要性、道民生活に直結した抜本的制度改正の必要性について、

笠島 保委員(社会)から、3期計画の実績と要求との関連性、食糧基地、エネルギー基地としての姿勢の明確化、社会開発基盤の整備比率、道開発法改正の必要性等について、

本間 喜代人委員(共産)から、超過負担解消策の効果と具体的な目標の明確化、3期計画の現状と道の指導性、大規模年金保養基地の用地取得の現状と要望との関連等について、

大内 三治委員(自民)から、資料提出の姿勢と主要要望事項に対する委員会意見の取入れ方、委員会としての結論の取りまとめ、原子力発電の必要性、広域生活圏の制度利用、開発法による特例措置と交付税の関連、超過負担の解消と地方財政計画策定のあり方、



3期計画当初の状況変化に対応する姿勢、3期計画の総点検の主体と毎年の実績把握による要求の必要性等について、

鈴木 誠二委員（社会）から、危機感に対する対処策と地元意向の反映等について  
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁、委員長から応答。

○7月18日（木） 午後1時50分、第2委員会室において開議、午後2時25分散会、委員長 神部 俊郎（自民）

#### 付託案件の審査

○ 議案第25号（十勝ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、

青木 力委員（社会）から、ダム建設に北電を加える法的根拠、下流の岩松発電所との関連、北電との交渉経過、道による実施計画策定の考え、北電の負担額の妥当性と他企業に実施させる考え、環境保全等と建設同意の範囲及びダム建設のあり方等について  
質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁があった。異議なく原案のとおり可決することに決定。ついて、「十勝川ダムの建設事業の実施に際しては、流域の水産資源の保護、特に環境保全に万全を期し、地元負担が生じないように配慮するとともに、総合利水計画の樹立の促進に努むべきである。」との付帯意見を付することをはかり、異議なくそのことに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

##### 請 願

第248号 夕張鉄道網運行路線にかかわる旅客列車存続確保に関する件 （取下げ）

第250号 女満別空港整備の件 （採択）

第357号 大量高速輸送機関の運行確保に関する件 （採択）

残余の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### その他議事

- ① 北海道における空港整備の促進に関する要望意見案の発議については、異議なくそのことに決定。案文については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、開発事情に関する道内調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○7月24日（水） 午後3時24分、第2委員会室において開議、午後3時47分散会、委員長 神

部 俊郎（自民）

#### 付託案件の審査

○ 議案第24号（十勝ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件）を議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。ついて、地元負担及び総合利水計画樹立に関する付帯意見を付することをはかり、異議なくそのことに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

##### 請 願

第372号 女満別空港整備の件 （採択）

第373号 大量高速輸送機関の運行確保に関する件 （採択）

残余の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### その他の議事

○ 北海道における空港整備の促進に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

### 石炭対策特別委員会

○6月3日（月） 午後6時52分、第2委員会室において開議、午後6時53分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

○ 本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○6月10日（月） 午後1時29分、第2委員会室において開議、午後8時11分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

① 委員長から、社会及び共産から要請のあった公聴会開催の取扱いに関する協議経過について報告。ついて、さきに実施した石炭対策連絡会議及び新石炭政策確立中央大会の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 藤井 虎雄委員（社会）から、公聴会開催のできない理由等について  
意見があり、委員長から応答、倉増新八郎委員（自民）から意見の交換があって、議事進行の都合により午後1時46分休憩、午後4時43分再開。委員長から、公聴会開催について、なお意見の一致をみなかった旨を報告の後、藤井委員及び山家勇委員（社会）から意見があった。

③ 商工観光部長から、石炭火発立地のその後の経過について説明の後、  
山家 勇委員（社会）から、内陸部石炭火発の砂川

立地と奈井江との関連、道路事情の差の有無と道の主体性、地域開発との関連、灰捨て場に対する考え方の適否、通産省の指導の関連と環境保全調査結果による変更の有無、政府助成火発の着工時期と地域住民の同意を得る方法、地域性にたった検討等について、

藤井 虎雄委員（社会）から、砂川と奈井江の道路事情、環境面の比較、砂川に内定の意味、環境調査の目途と環境審査官への提出資料の内容、需要拡大の推進と苫小牧の反対等について、

工藤 万砂美委員（自民）から、内陸部石炭火発の立地点検討のあり方と山元発電の再検討方について質疑、意見及び要求があり、商工観光部長及び石炭対策本部事務局長から答弁。議事進行の都合により午後6時8分休憩、午後6時17分再開し、商工観光部長から補足答弁の後、引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、石炭供給量と考え方、苫東の石炭火発に係る公害防止策の作成時期、着手、着工の定義と事業主体の考え方、管理委員会に対する要請内容、石炭火発の脱硝技術開発、混焼、出力等と環境アセスメントとの関連等について、

山科 喜一委員（共産）から、石炭火発立地調査と内陸部を別途計算した意図、立地経費と苫小牧設置の理由、住民とのコンセンサス、窒素酸化物の予測数値、石炭と重油の熱効率と温排水の関連、現在の技術による出力、煙量等の数値、複合汚染のおそれ、苫小牧設置見合せの考え、今後の石炭産出量の見込みと必要労働力、環境庁への提出資料と公表の考え等について、

山家 勇委員（社会）から、エネルギー問題に対する道の見直しと鉱業審議会諮問の素案等について、

大浦 貞助委員（社会）から、具体的な見直しの問題点、経営体制の掘下げ等について、

字川 源吉委員（自民）から、衆院石特委への要望事項に管理体制が入っていない理由について、

工藤 万砂美委員（自民）から、鉱業審議会への諮問と本委員会との関連について

質疑、意見及び要望があり、商工観工部長、生活環境部次長及び石炭対策本部事務局長から答弁、委員長から応答。

- ④ 大浦 貞助委員（社会）から、朝日炭鉱に関する把握状況と対策、労働賃金の実態と解決の努力方等について、

山家 勇委員（社会）から、重大な決意の意味、ベースアップ提示額の基礎と現地指導の必要性について、

藤井 虎雄委員（社会）から、積極的な解決の姿勢について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び石炭対

策本部事務局長から答弁。

- 6月22日（土） 午前11時26分、第2委員会室において開議、午後1時21分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

- ① 大浦 貞助副委員長（社会）から、朝日炭鉱閉山提案に関する現地調査の概要について報告、異議なくこれを了承。

- ② 商工観光部長から、朝日炭鉱の閉山提案の経過について説明の後、

石川 十四夫委員（道政ク）から、閉山理由の聴取の必要性について、

工藤 万砂美委員（自民）から、朝日炭鉱の平均炭価、道の依権の取扱いと租鉱契約の内容等について、

藤井 虎雄委員（社会）から、借金の内容、打開の方途、保証人の担保能力、新会社に対する認識、新鉱開発資金との関連等について、

山家 勇委員（社会）から、閉山提案撤回に対する取組み姿勢、撤回を求める根拠、新鉱移行に関する組合との話し合い、労使に対する行政指導と今後の対処策等について、

大浦 貞助委員（社会）から、新鉱移行の受けとめ方と通産省の指導について、

山科 喜一委員（共産）から、朝日炭鉱労働者の賃金実態、新会社設立時の把握と新鉱移行による従業員確保、閉山阻止の見直し等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、石炭対策本部事務局長、金融課長及び労働部長から答弁。

- ③ 委員長から、朝日炭鉱の閉山通告撤回に関し、配付の要望書により関係機関に要請することをはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ④ 工藤 万砂美委員（自民）から、石炭火発の事業主体に対する経過について質疑があり、商工観光部長から答弁。

- 7月18日（木） 午後1時43分、第8委員会室において開議、午後2時23分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した朝日炭鉱の閉山通告撤回に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- ③ 委員長から、新石炭政策等に関し、中央情勢により中央折衝を実施することをはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ④ 山家 勇委員（社会）から、朝日炭鉱のその後の経過、打開策を講ずる必要性及び山元従業員の賃金等の措置、新鉱開発許可と資材購入の関連等について、  
 工藤 万砂美委員（自民）から、中小規模産炭地開発の進ちょく状況、分譲の時期と地域農家への配慮について、  
 藤井 虎雄委員（社会）から、朝日炭鉱の新鉱移行の受けとめ方、茶志内地区の用地取得のあり方について  
 質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○7月24日（水） 午前3時20分、第8委員会室において開議、午後3時26分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

- ① 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。  
 ② 商工観光部長から、朝日炭鉱の閉山提案に関するその後の経過について説明。

○7月26日（金） 午後2時8分、第2委員会室において開議、午後3時32分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

**請願、陳情の審査**

**請 願**

第498号 滝口炭鉱閉山に伴う産炭地域振興対策の件 （採択）

**その他の議事**

- ① 商工観光部長から、朝日炭鉱の閉山提案に関するその後の経過について説明の後、  
 藤井 虎雄委員（社会）から、閉山の場合の社会保険の取扱いと昨年期末手当支給の際の労働金庫からの借入れ金に関する書換えの措置について、  
 倉増 新八郎委員（自民）から、資金融資の考え方と会社、道、通産局等の話合いの必要性について、  
 山家 勇委員（社会）から、閉山撤回と新鉱開発に対する態度について、  
 工藤 万砂美委員（自民）から、道の債権徴収と倒産防止について  
 質疑、意見及び要望があり、労働部長及び商工観光部長から答弁。  
 ② 委員長から、朝日炭鉱の閉山提案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。  
 ③ 委員長から、朝日炭鉱の閉山提案に関し協議会を開催することをはかり、異議なくそのことに決定。時期等については、委員長に一任することとした。  
 ④ 商工観光部長から、石炭鉱業審議会総合部会の報告

書について説明の後、

山科 喜一委員（共産）から、石炭供給見通しに対する評価、国有化・公社化に触れていないことに対する所見、労働力確保策の進め方について、

工藤 万砂美委員（自民）から、産炭地域振興策、年間供給量の具体策と輸入のあり方等に対する方策、知事の石炭鉱業審議会委員選任要請のその後の経過について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ⑤ 藤井 虎雄委員（社会）から、炭鉱従業員の期末手当支給に対する措置方について、

山家 勇委員（社会）から、誘致企業の閉鎖に対する調査及び指導と対処策並びに市町村との連携、石炭鉱業審議会の報告と道の施策について、

大浦 貞助委員（社会）から、進出企業の実態と道の援助協力について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び石炭対策本部事務局長から答弁。

**北方領土対策特別委員会**

○7月19日（金） 午前11時27分、第6委員会室において開議、午前11時47分散会、委員長 福島 新太郎（自民）

- ① 委員長から、さきを実施した北方領土復帰対策に関する調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。  
 ② 領対本部長事務代理から、北方地域の募参について説明の後、  
 塚本 肇委員（社会）から、過去の募参中断の理由と立入り禁止区域の解除の有無、募参団の人員決定の方法等について、  
 湯本 芳志委員（社会）から、希望者が多いときの措置について、  
 藤井 猛委員（自民）から、定員の大きな用船使用の考えについて  
 質疑があり、領対本部長事務代理から答弁。  
 ③ 領対本部長事務代理及び水産部長から、昭和50年度道開発関係予算北方領土関係主要要望事項についてそれぞれ説明の後、  
 藤井 猛委員（自民）から、都道府県に対する助成の具体的内容について、  
 松浦 義信委員（自民）から、だ捕対策に関する予算措置の要請方について  
 質疑及び意見があり、領対本部長事務代理から答弁、委員長から応答。

## 公害対策特別委員会

○6月4日(火) 午前11時、第2委員会室において開議、午後零時40分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

- ① 生活環境部長から、苫小牧地域における大気汚染測定結果及び国鉄苫小牧機関区構内における浮遊粉じんの分析結果と措置状況について説明の後、  
影山 豊委員(社会)から、環境アセスメント見直しに対する見解と具体的な方法、窒素酸化物に対する規制方法、環境アセスメントデータの調査再委託の事実とデータの信頼性、測定データの一部未収録の理由と考え方、王子製紙苫小牧工場の事故原因と協定締結の必要性等について  
質疑、意見及び要望があり、生活環境部長及び伊藤部次長から答弁。
- ② 松本 響委員(自民)から、農業公害に関し、除草剤の取扱い及び規制の考え方、人体影響の実態把握と対応策、残留農業による影響について  
質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。

○7月18日(水) 午後零時55分、第2委員会室において開議、午後1時3分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

- ① 生活環境部長から、昭和39年公害の状況等に関する年次報告並びに悪臭防止法に基づく地域指定について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した他県における公害状況等調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○7月24日(水) 午後3時12分、第2委員会室において開議、午後3時14分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

- ① 委員長から、本日、川尻外治議員(自民)が本委員に補欠選任された旨を報告。ついで、これに伴う議席の一部変更についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 付託の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

## 議員定数調査特別委員会

○6月4日(火) 午後1時45分、第5委員会室において

小委員会を開議、午後2時散会、小委員長 西尾 六七(自民)

- ① 今後の小委員会の取進め方について、中田繁夫委員(社会)、野村光雄委員(公明)及び本間喜代人委員(共産)から意見の交換。
- ② 野村 光雄委員(公明)から、自治省の人口調査により議員定数を決定した都府県の経過に関する資料について要求があった。

○6月29日(土) 午後1時15分、第5委員会室において小委員会を開議、午後1時20分散会、小委員長 西尾 六七(自民)

- ① 石山総務部次長から、さきに要求のあった資料の提出見直しについて説明。
- ② 委員長から、今後の調査の進め方について、2定会期中に結論を得ること等をはかり、倉増新八郎委員(自民)から意見があって、異議なくこれを了承。

○7月15日(月) 午後零時30分、第5委員会室において小委員会を開議、午後1時25分散会、小委員長 西尾 六七(自民)

- ① 野村 光雄委員(公明)から、さきに要求した都府県に係る資料の調製状況と回答分の提出方等について、  
中田 繁夫委員(社会)から、特例事項の適用状況について  
質疑、意見及び要求があり、地方課長から答弁。
- ② 倉増新八郎委員(自民)、中田繁夫委員(社会)、野村光雄委員(公明)及び本間喜代人委員(共産)から、伊達市の取扱いについて意見の交換の後、議事進行の都合により午後零時50分休憩、午後零時55分再開し、引き続き、各委員及び砂原清治オブザーバー(社会)から、伊達市の取扱い及び端数の取扱いの関連等について意見の交換があり、委員長から応答。

○7月19日(金) 午後3時15分、第5委員会室において小委員会を開議、午後4時17分閉会、小委員長 西尾 六七(自民)

- ① 地方課長から、他府県議会の選挙区及び定数等に関する資料について説明の後、  
野村 光雄委員(公明)から、富山県の15条7項ただし書適用の事例について、  
中田 繁夫委員(社会)から、富山県の事例と自治省の見解について  
質疑及び意見があり、地方課長から答弁。
- ② 倉増新八郎委員(自民)、越前谷忠委員(社会)、野村光雄委員(公明)、本間喜代人委員(共産)、津川直一委員(道政)及び中田繁夫委員(社会)から、

各会派の協議結果及びこれに対する意見の交換並びに小委員会の進め方について意見があり、委員長から応答の後、本委員会移行について協議のため午後4時10分休憩、午後4時15分再開。

休憩中協議の結果、異議なくさきの中間報告を小委員会の結論として報告することに決定。

- ③ 小委員長から、小委員会の調査終了に伴うあいさつがあった。

○7月19日(金) 午後5時20分、第2委員会室において開議、午後10時30分散会、委員長 天谷 平信(自民)

- ① 西尾 六七小委員長(自民)から、小委員会における調査の経過と結果について報告。本委員会の今後の進め方について協議のため午後5時23分休憩、午後10時26分再開。
- ② 委員長から、理事会協議の結果、なお継続調査すべきであるとの意見と現時点の調査結果を報告して調査終了すべきであるとの意見があり、一致をみるに至らなかった旨を報告。ついで、倉増新八郎委員(自民)、越前谷忠委員(社会)、本間喜代人委員(共産)、野村光雄委員(公明)及び津川直一委員(道政ク)から、それぞれ各会派の意見が出された後、直ちに採決に入り、本件調査をなお継続して行なうことについて挙手採決の結果、挙手多数(反対社会、共産、公明)にて、なお継続調査とすることに決定。

○7月25日(木) 午後6時38分、第2委員会室において開議、午後6時42分閉会、委員長 天谷 平信(自民)

- ① 委員長から、理事会協議の結果、意見の一致をみるに至らず、これをもって本委員会の調査を終了することをはかり、異議なくそのことに決定。調査事件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。
- ② 倉増 新八郎委員(自民)から、本委員会の終結に当たり発言があった。
- ③ 委員長から、本委員会の調査終了に伴うあいさつがあった。

### 物価対策特別委員会

○6月4日(火) 午前11時23分、第8委員会室において道民生活安定条例審査小委員会を開議、午後2時33分散会、小委員長 大内 三治(自民)

- 小委員会の今後の運営方法等協議のため午前11時24

分休憩、午後2時32分再開。各派代表者による協議の結果、6月12日、17日及び18日に小委員会を開き、その状況によりその後の日程を決めることに決定。

○6月5日(水) 午前10時17分、第1委員会室において開議、午後4時28分散会、委員長 奈良 敬蔵(自民)

- ① 委員長から、さきの委員会において要求のあったプロパンガスに係る資料の提出があった旨を報告。
- ② 公聴会について、理事会協議の結果、公述人は配付(14人)のとおりとし、発言の順序は反対、賛成の順に行なうこと、1人の発言時間は15分以内、発言事項に対する質問時間は答弁を含めて5分以内とする旨を報告。
- ③ 公述人からの資料配付の申し出についてははかり、異議なくこれを認めることに決定。公聴会開催のため午前10時18分休憩。
- ④ 午前10時30分、公聴会を開会。委員長から、あいさつ及び注意事項を述べ、直ちに、公述人からの意見聴取に入り、主婦荒野洋子氏(俱知安町在住)、北海道プロパンガス商業協同組合専務理事坂田信雄氏、北海道消費者協会常務理事覚知登米三氏、株式会社道央マルキ代表取締役横内春義氏、北海道生活協同組合連合会常務理事国井和夫氏、株式会社旭川菱雄代表取締役里見和也氏からそれぞれ意見公述があり、砂原清治委員(社会)及び湯田倉治委員(社会)から質疑、公述人から応答があって、午後零時38分休憩、午後1時34分再開し、引き続き、北海道主婦会連絡協議会副会長西村ケイ子氏、株式会社前田代表取締役前田義範氏、全道労協寺沢房成氏、泉プロパン株式会社配送センター責任者中野寿雄氏から意見公述があり、湯田倉治委員(社会)及び藤井猛委員(自民)から質疑、公述人から応答があって、午後2時36分休憩、午後2時45分再開し、引き続き、全生連北海道本部委員長館本一豊氏、株式会社ほくさん営業部長朱田義男氏、新日本婦人の会運動部長石川一美氏、株式会社北海道石油瓦斯代表取締役横山秀男氏から意見公述があり、小野秀夫委員(道政ク)及び砂原清治委員(社会)から質疑、公述人から応答があって、午後3時50分公聴会を閉会。
- ⑤ 午後3時56分委員会を再開し、生活環境部長から、家庭用灯油の標準価格の廃止について説明の後、砂原 清治委員(社会)から、撤廃阻止に対する知事、副知事の姿勢と責任等について、山科 喜一委員(共産)から、輸入価格引上げに伴う家庭用灯油の価格と輸送費との関連及び実勢価格の調査結果、価格形成過程の調査の必要性、指導価格の道民への周知と違反業者を公表する考え等について、

湯田 倉治委員（社会）から、灯油の道内在庫量と売惜しみの実態及び公表の考え等について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長及び商工観光部長から答弁。

○6月12日（水） 午前11時8分、第8委員会室において道民生活安定 条例審査 小委員会を開議、午後1時散会、小委員長 大内 三治（自民）

○ 会議案第1号（北海道道民生活安定条例案）を議題とし、湯本芳志委員（社会）から説明の後、

三上 勇委員（自民）から、国民の健康と高度成長政策に対する基本的認識、所得の向上とインフレ要因に対する見解等について

質疑があり、湯本委員、山科喜一委員（共産）及び砂原清治委員（社会）から応答。議事進行の都合により午前11時44分休憩、午前11時48分再開。ついで、

村上 霽明委員（自民）から、法指定物資を適用除外する必要性、条例目的の不適正な利得と勧告対象の一貫性、公開・公表・明らかな区分と義務規定・任意規定の使いわけ及び公表のあり方、知事の指定物資の内容、市町村の責務規定、責務と道民の協力との関連、生活安定組織の育成のあり方、行政機関の長及び他の公共団体との協力の考え方、北海道価格の解消と国の所管に属するものとの関連及び恒久的方策の必要性、道民生活安定審議会の規定のあり方と地方審議会規定の要否、物価監視員・モニター等の規定化、過大広告・包装の規制、食品危害の防止、表示の適正化、道民の苦情処理、試験研究機関の整備充実等消費者保護条項の必要性等について質疑及び意見があり、湯本委員、山科委員及び小野秀夫委員（道政ク）から応答。

○6月17日（月） 午後零時38分、議会運営委員会室において道民生活安定条例審査小委員会を開議、午後1時23分散会、小委員長 大内 三治（自民）

○ 会議案第1号を議題とし、

村上 霽明委員（自民）から、参考資料について説明の後、

山科 喜一委員（共産）から、修正案、対策案等との関連、会議案との大きな相違点、参考資料の取扱い等について

質疑及び意見があり、村上委員 及び小委員長 から応答。ついで、

山科 喜一委員（共産）から、ジャス・ジスマークに係る道の基準の有無と国との関連について、

砂原 清治委員（社会）から、ジャス・ジスマーク

に係る具体的な考え方、モミジコ等の規格について、

小野 秀夫委員（道政ク）から、会議案との調整の必要性について

質疑及び意見があり、生活安定対策本部事務局長及び消費生活課長から答弁があって、午後1時4分休憩、午後1時19分再開し、砂原清治委員（社会）から、会議案と参考資料の比較表作成後、審議方について意見があり、そのように決定。

○6月18日（火） 午後2時7分、第8委員会室において道民生活安定 条例 審査小委員会を開議、午後5時27分散会、小委員長 大内 三治（自民）

○ 会議案第1号を議題とし、会議案及び参考資料について意見交換のため午後2時8分休憩、午後5時26分再開。小委員長から、休憩中協議の結果、提案者側から湯本芳志委員（社会）及び自民党から村上霽明委員を起草委員に選出し、意見調整を行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。

○6月24日（月） 午後4時10分、第8委員会室において道民生活安定 条例審査 小委員会を開議、午後4時13分散会、小委員長 大内 三治（自民）

○ 会議案第1号を議題とし、小委員長から、会議案提出者側及び自民党からの代表者による意見調整の結果、配付の条例案要綱（別紙省略）が作成された旨を報告。これをはかって異議なくそのように決定。条例案要綱の取扱いについては、次回において決定することとした。

○6月28日（金） 午後4時8分、第8委員会室において道民生活安定条例 審査 小委員会を開議、午後4時14分閉会、小委員長 大内 三治（自民）

① 会議案第1号を議題とし、

小委員長から、北海道道民生活安定条例案要綱についてははかり、異議なく配付のとおり決定。

ついで、条例案要綱の取扱いについて、代表者会議の結果、知事提案としたい旨をはかり、生活環境部長から発言があって、異議なくそのことに決定。

次に、砂原清治委員（社会）から、小委員会の審議の経緯にかんがみ、会議案第1号の撤回手続をとる旨を発言。小委員会における審査経過報告については、小委員長に一任することとした。

② 小委員長から、小委員会における審査終了のあいさつがあった。

○6月28日(金) 午後5時30分、第1委員会室において開議、午後5時43分散会、委員長 奈良 敬蔵(自民)

#### 付託案件の審査

○ 会議案第1号(北海道民生生活安定条例案)を議題とし、大内三治道民生生活安定条例審査小委員長(自民)から、小委員会における審査経過について報告の後、異議なくこれを了承。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### その他の議事

○ 委員長から、家庭用灯油及び液化石油ガスに係る価格安定対策に係る中央折衝について、理事会において実施を決定した旨並びに中央折衝の概要について報告、異議なくこれを了承。

○7月17日(水) 午後5時9分、第2委員会室において開議、午後5時28分散会、委員長 奈良 敬蔵(自民)

#### 請願、陳情の審査

##### 請願

- 第306号 物価対策に関する件 (採択)
- 第311号 公共輸送石油危機解決に関する件 (採択)
- 第333号 インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件 (採択)
- 第353号 灯油の安定価格及び安定供給維持のための行政措置に関する件 (採択)
- 第354号 各種公共料金のすえおきと生活必需物資の価格高騰をおさえるための行政措置に関する件 (採択)
- 第365号 家庭用灯油の大幅値上げ反対に関する件 (採択)

##### 陳情

- 第99号 インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件 (採択)

#### その他の議事

- ① 家庭用灯油及び液化石油ガスの標準価格に関する要望意見案についてはかり、異議なく配付の案文により発議することに決定。
- ② 委員長から、要望意見書に関する中央折衝並びに物価対策に関する府県調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 砂原 清治委員(社会)から、府県調査に当たり、プロパンガスの北海道価格解消のための各県価格調査の考慮方について、山科 喜一委員(共産)から、地域暖房料に関する資料について

意見及び要望があり、委員長から応答。

○7月24日(水) 午後3時24分、第1委員会室において開議、午後3時26分散会、委員長 奈良 敬蔵(自民)

#### 請願、陳情の審査

##### 請願

- 第374号 物価対策に関する件 (採択)
- 第375号 公共輸送石油危機解決に関する件 (採択)
- 第376号 インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件 (採択)
- 第377号 灯油の安定価格及び安定供給維持のための行政措置に関する件 (採択)
- 第378号 各種公共料金のすえおきと生活必需物資の価格高騰をおさえるための行政措置に関する件 (採択)
- 第379号 家庭用灯油の大幅値上げ反対に関する件 (採択)

##### 陳情

- 第104号 インフレ、物不足、高物価から道民のくらしをまもる措置の件 (採択)

### 予算特別委員会

○7月11日(木) 午後4時53分、第1委員会室において開議、午後5時5分散会、委員長 奥野 一雄(社会)

#### 正副委員長の互選



奥野 一雄委員長



笹井 望副委員長

- ① 石畑 久成臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、高橋正四郎委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、奥野 一雄 委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、鈴木誠二委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、笹井望委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の運営等協議のため午後5時1分休憩、午後5時2分再開。休憩中協議の結果、審査日程は配付の日程表のとおりとすること、質疑の方法は通告の形

式により一括してこれを行なうこと、なお、一問一答については委員長に申し出ること、発言の順位は一般質問の例に準ずること等をはかり、異議なくそのことに決定。

- ④ 本委員会の運営については、自民、社会各2名、道政ク1名、計5名の理事を選び、その協議によりこれを行なうこと、共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。理事には自民党から小笠原孝委員及び高橋正四郎委員、社会党から鈴木誠二委員及び影山豊委員、道政クラブから石川十四夫委員をそれぞれ選出。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月12日(金) 午前10時25分、第1委員会室において開議、午後4時30分散会、委員長 奥野 一雄(社会)

- ① 教育委員会、林務部及び水産部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員(社会)から、(1)高校校舎の整備と新設計画に関し、北陵高校の新築校舎の本年度完成の見通しと早期完成の必要性、現行間口と設計間口との関連及び適正間口に対する見解、手稲高校新校舎の早期完成、有朋高校の独立校舎建設の考え方及び定時制独立校舎の必要性、昭和50年以降の石狩教育圏における高校新設計画と方針、(2)児童・生徒の対外運動競技に関し、運動競技に対する基本的な考え方、対外運動競技の目的と学校教育活動上区分した理由及び基準とその適否、競技出席と単位取得との関連、競技参加経費の自己負担軽減、高校野球の入場料徴収に対する見解と自己負担との関連、高野連と高体連との関連、(3)修学旅行の付添い旅費等に関し、旅費に個人差がある理由と適否、付添い教員の基準と養護等に対する考慮、研修旅費の必要性、高校の運営事務費に対する物価高騰に伴う上積み措置の必要性等について、

影山 豊委員(社会)から、(1)第6回日本ジャンボリーの開催に関し、東千歳自衛隊基地に会場を設定した経過、地元開催地との連携と財政的負担に対する配慮、ジャンボリーの開催目的と開催場所の妥当性、メンテーマとボーイスカウトに対する所見、反対運動、批判に対する方策、事故防止の万全な対策、(2)新道立美術館の建設に関し、総合美術館の必要性及び早期着工と規模の考え方等について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時休憩、午後1時50分再開。ついで、

笠島 保委員(社会)から、(1)学校給食に関し、給食センター方式と単独給食施設配置に対する基本的

考え方と具体的な方針及び給食内容の充実、定時制給食施設の充実計画、(2)学校栄養職員の身分切替えに関し、法改正に伴う準備手順、基準定数と補助対象人員及び切替えの年間計画と市町村、定時制における栄養士の取扱い、身分切替えに伴う待遇面の改善策と現給保障及び切替えの手続、調理員の身分及び待遇、(3)PTAの学校施設等に対する寄附に関し、学校寄附の実態及び41年教育長通達の妥当性と地財法上の見解、寄附範囲の限定と行政指導の徹底等について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。質疑を終結。理事者交替のため午後2時54分休憩、午後3時5分再開。

- ② 農務部、農地開発部及び土木部所管に対する質疑に入り、

松本 響委員(自民)から、十勝支庁管内における農業事故に関し、農薬の化学組成のせんと他への影響の解明、道東における農業事故発生を受けとめ方と行政指導のあり方、間接取水の推進の必要性和抜本的防止策、内水面養殖漁業に対する損害てん補の方法等について、

尾崎 豊委員(道政ク)から、新酪農村建設事業に関し、事業対象地域の範囲と農用地開発公団法20条に基づく道の区域の申し出との関連、新酪農村に対する基本的考え方と除外区域の取扱い等について  
質疑及び意見があり、農務部長から答弁の後、議事進行の都合により午後3時56分休憩、午後3時59分再開。引き続き、

尾崎 豊委員(道政ク)から、新酪農村事業の将来展望と進め方について、

川崎 守委員(共産)から、根室市別当賀地区における農道補修事業にかかわる境界紛争の内容と円満解決のための努力方、公共事業抑制に伴う建設業者及び日雇労働者に与える影響、函館土現の事業の発注率と早期発注の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長、農地開発部長及び土木部長から答弁。質疑を終結。

○7月13日(土) 午前10時25分、第1委員会室において開議、午後4時14分散会、委員長 奥野 一雄(社会)

- ① 労働部及び衛生部所管に対する質疑に入り、

山家 勇委員(社会)から、(1)季節移動労働者の援護対策に関し、賃金、休暇等労働条件の実態把握と改善策、道季節労働者福祉協会の設立と札幌季節移動労働者福祉センターの運営委託の適否、福祉協会に対する市町村負担金の妥当性、地元で就労できる体制の検



討、(2)閉山地域滞留者の雇用促進に関し、滞留者の実態把握と総合的な雇用促進対策の必要性等について、

鈴木 誠二委員（社会）から、(1)保健所長の欠員状況と充足対策、保健所行政にかかわる予算の充実強化、(2)休日・夜間救急診療対策に関し、道の指導のあり方、道の医師に対する監督、指導権限の有無、医師の診療拒否に対する見解と指導方針、市町村の休日・夜間の救急診療体制整備に対する指導と財政的援助等について、

彦辺 和歌子委員（社会）から、未熟児網膜症に関し、道内の発生状況と対応策、医療機関に対する指導の有無、保育器の取扱いと性能に対するチェック体制、未熟児網膜症発生に対する責任の所在と援護対策、障害幼児に対する教育面での配慮、未熟児網膜症児の実態調査の早期実施方等について  
質疑、意見及び要望があり、労働部長及び衛生部長から答弁。議事進行の都合により午前零時43分休憩、午後1時39分再開。ついで、

影山 豊委員（社会）から、志村化工伊達工場の鉋さい処理に関し、鉋さいの年次別発生量及び処理状況と妥当性、道の指導内容、有害物質の包含内容と2次汚染に対する見解及び今後の調査、飲料水の水質調査と万全な対策等について  
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。労働部及び衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時16分休憩、午後2時21分再開。

② 民生部及び企業局所管に対する質疑に入り、

大浦 貞助委員（社会）から、老人福祉に取り組む基本的姿勢、老人医療費の無料化対象年齢の引下げの考え、寿の家設置の目的と設置主体、補助単価の引上げと市町村負担の解消、敬老祝い金の増額の考え方等について、

星野 健三委員（社会）から、(1)保育行政に関し、道内の公・私立保育所の実態と保育行政の基本的なあり方、保育所の整備計画と保母の充足対策、私立保育所の施設・保母の労働条件等公立との格差是正、(2)道立保育専門学院に関し、保育行政における位置づけ、専任担当教員の充足、施設の充実、後援会費からの備品・図書購入の適否等について  
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○7月16日（火） 午前10時34分、第1委員会室において開議、午後5時24分散会、委員長 奥野 一雄（社会）

① 民生部及び企業局所管に対する質疑を続行、

川崎 守委員（共産）から、(1)道立太陽の園の運営に関し、委託経営によるメリットとその要否、施設職

員の労働時間及び賃金と道職員との格差及び是正に対する姿勢と時期、機能訓練士等技術職員の充実の必要性と医師の宿直制の考え、現場意見の反映等について質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。理事者交替のため午前11時6分休憩、午前11時15分再開。

② 生活環境部及び商工観光部所管に対する質疑に入り、

山科 喜一委員（共産）から、(1)自動車排出ガス規制に関し、自動車台数の推移及び走行キロ数、札幌における大気汚染の現況と推移、51年規制に対する業界の動きと道の考え方及び環境庁に対する要請の意思、(2)自然環境保全に関し、豊頃町茂岩地区の開発行為と保全条例の届け出又は許認可との関連、ゴルフ場造成と森林施業計画、農業振興法等との関連及び条例に基づく措置内容、保全条例施行後における特定開発行為の件数と面積及び監視の状況と措置内容並びに公表する考え等について、

山家 勇委員（社会）から、(1)閉山地域のあき家に関し、あき家の実態把握及び少年非行、火災、自殺者の実態並びに道有地の現状、あと処理遅延の要因と解決の窓口及び取組みの姿勢、(2)産炭地域振興に関し、6条指定地域と2条指定地域を区分した振興策の必要性、道路の整備、炭鉱改良住宅制度の改善、医療体制の整備、置きざり老人対策と老人クラブの運営、保育園、財政援助等の諸対策の考え方等について  
質疑、意見及び要望があり、生活環境部長及び商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後零時47分休憩、午後1時50分再開。ついで、

藤井 虎雄委員（社会）から、(1)石炭対策に関し、石炭の位置づけに係る要望と3期計画の目標との関連、経営体制に対する考え方と施設、設備、鉱区等の取扱い、需要の拡大と生産に対する考え方、家庭用暖房炭の確保及び電力用炭に対する方策、(2)原子力発電所建設に関し、安全性に対する考え方と各地の事故事例に対する見解、北電の市町村に対する寄附の性格と伊達市議会の議決に対する所見及び北電との接触の有無と提案の適否、福祉型発電の考え方、漁業団体の要望事項に対する今後の取扱い及び補償による解決に対する見解等について  
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後3時17分休憩、午後3時24分再開。ついで、

砂原 清治委員（社会）から、(1)灯油価格に関し、実勢価格引下げのための実効ある方策、ナショナルミニマム制採用の考え方、民生用灯油元売価格引下げの考え方と新標準価格設定の要請、(2)石油液化ガス価格に関し、最近の価格動向の実態、東北地方における卸

及び小売価格、道内小売価格の妥当性、国民生活安定緊急措置法に基づく価格引下げ指示、勧告、公表等の適用の考え、流通段階における合理化の進め方、北海道価格解消のための積極的姿勢等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、生活環境部及び商工観光部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後4時13分休憩、午後4時19分再開。

③ 住宅都市部及び公安委員会所管に対する質疑に入り、

山科 喜一委員（共産）から、(1)道営団地内商店振興に関し、商店街と駐車場の現況、駐車場の分譲先及び新住宅市街地開発法に基づく買戻し期限の関連、指定外用途使用の可否及び転売の可能性、公有化検討の必要性、(2)熱供給料金に関し、地域暖房の実施状況と普及の見通し、料金値上げに対する事前説明の有無及び申請の内容とこれに対する道の態度、値上げの根拠明示の必要性、道産当局に対する意見具申の考え等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○7月17日（水） 午前10時22分、第1委員会室において開議、午後6時15分散会、委員長 奥野 一雄（社会）

① 住宅都市部及び公安委員会所管に対する質疑を続行、

原 清重委員（社会）から、北教組に対する強制捜査に関し、北教組のみ捜査した理由と違反容疑の内容及び事前調査の有無、48年の全農林に係る最高裁判決と44年の都教組に係る最高裁判決に対する判断及び教育に与えた影響に対する考え方、全国的に一致した捜査と道警独自の判断との関連、判断の時期と参加規模の把握状況及び捜査令状請求時期と被疑者名の妥当性、捜査関連動員数と時間外勤務手当の支給状況、不起訴処分に対する見解と道警の姿勢等について、

川崎 守委員（共産）から、(1)南茅部町における土地の盗掘に関し、砂利盗掘の経過と警察の措置状況、現場における措置の適否とその後の捜査状況及び早急な解決方、(2)道交通安全協会の運営に関し、自動車学園の移転に伴う食堂の休業補償の取扱い等、物品販売者に対する協会の姿勢と身障者の自立経営のための指導の必要性について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、刑事部長及び交通部長から答弁があって、住宅都市部及び公安委員会所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時11分休憩、午後1時36分再開。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

藤井 虎雄委員（社会）から、自衛隊沼田演習場に

関し、その後の経過と沼田町の動き、道に対する意向照会の有無と施設委員会との関連及びこれらに対する見解、可能性の調査と演習内容、土質条件と災害の可能性、開発調整部の役割、防衛上の観点と今後の営農上の不安等について、

山家 勇委員（社会）から、鉄道建設公団の道内事業状況に関し、道内11建設工事線の実態と建設促進の状況及び完成の見通し、過疎地域交通の確保に対する姿勢、早期完成の方策と地方開発線に対する考え方及び完成目標策定の必要性と時期、閑散線廃止の情勢等について、

影山 豊委員（社会）から、苫小牧東部開発の築港建設に関し、東港建設に要する石材量と確保策、大手建設業者による豊浦町における石材買収の経緯及び開発局の協力依頼と積出し港等海上輸送計画の事実、林務署への採石申請と道路補修等との関連、開発行為規制の必要性和開発局への自粛の申入れ、環境保全対策の考え方と沿岸水産資源開発地域の認識及び住民に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後4時19分休憩、午後5時5分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、石狩湾新港開発に関連して、用地取得と代替地あつ旋の担当部門の違う経緯と覚え書交換の権限及び事務分掌上の見解等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後5時25分休憩、午後5時27分再開し、開発調整部長から補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、所有権移転の遅れている原因と土地使用貸借契約の目的、農地転用許可申請と工場財団の担保及び建築確認申請の関連並びに指導のあり方とその責任、明治乳業との協定時における議会への対応と改定の問題点等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。

○7月18日（木） 午前10時41分、第1委員会室において開議、午後5時11分閉会、委員長 奥野 一雄（社会）

① 総務部及び各種委員会所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、(1)公共事業費に関し、20%留保の観点に対する補正時点の判断と財源の具体的内容、年間財政見通しの妥当性及び1定予算の知事説明との関連、なお7.5%留保した理由と今後の取扱い、発注状況と中小企業倒産の現状及び対応策、工事請負契約議案の提案時期の妥当性、小児総合保健センター及び美術館の予算書と契約額との食違い、(2)

山岳遭難防止対策に関し、事故防止対策と救助体制及び経費の個人負担解消方法、(3)火災事故に関し、高層建築及び大衆利用施設における防災対策、火災による事故死発生率と全国一返上の方策、防災体制の格差の有無、消防学校の休校日と教習生の取扱い及び改善の必要性、プロパンガス爆発事故の実態と今後の防止対策及びその具体化等について、

山科 喜一委員（共産）から、予算執行の適正化に関し、予算執行の基本的な姿勢、旅費の種別と予算総額、出張のあり方と関係書類及び1事例の事実関係、出張の命令権者と責任体制、適正な予算の執行等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時16分休憩、午後2時44分再開。

② 知事に対する総括質疑に入り、

砂原 清治委員（社会）から、プロパンガスの北海道価格解消に関し、国民生活安定緊急措置法第7条の価格指示適用の考え及びその後の措置、道内流通機構の合理化、充てん所の整理統合等の推進等について、

藤井 虎雄委員（社会）から、自衛隊沼田演習場に関し、道に対する事前打合せの有無と見解、町に対する指導の必要性、農民の意見聴取と指導の考え、道独自の演習場適否の検討の必要性、国の構想具体化の時期等について、

川崎 守委員（共産）から、石狩湾新港開発の農業代替地に関し、明治乳業との協定と代替地の抵当権及び移転登記未済の現状に対する認識とその責任、道の指導の妥当性、協定締結と議会への対応のあり方、開発目的の遂行と関係部との連携等について  
質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

③ 委員長から、付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。意見調整のため午後4時1分休憩、午後5時7分再開。

④ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告。ついて、議案第1号ないし第11号を一括議題とし、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。次に、鈴木誠二委員（社会）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、議案第1号について次の意見（省略）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって、異議なくそのことに決定。委員長報告については、委員長に一任することとした。

⑤ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

○7月24日（水） 午後8時1分、第1委員会室において開議、午後8時18分散会、委員長 奥野 一雄（社会）

正副委員長の互選

① 石畑 久成臨時委員長（自民）から、正副委員長互選の方法について指名推選によることとし、臨時委員長により指名選任することをはかり、異議なくそのことに決定。委員長には奥野一雄委員（社会）、副委員長には笹井望委員（自民）をそれぞれ選出。

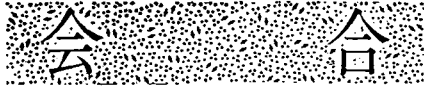
② 本委員会の今後の運営等協議のため午後8時3分休憩、午後8時17分再開し、直ちに散会。

○7月25日（木） 午後4時53分、第1委員会室において開議、午後4時55分散会、委員長 奥野 一雄（社会）

① 委員長から、各派代表者会議の結果、付託案件はいずれも第2回定例会における本委員会付託案件と同一内容であり、かつ、議了している経緯にかんがみ、質疑、意見調整及び討論を省略することをはかり、異議なくそのことに決定。

② 議案第1号ないし第11号及び第19号を一括議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。ついて、本委員会審議の経過にかんがみ、議案第1号について、配付の意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入することをはかり、異議なくそのことに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

注 決算特別委員会については、前半を次号に掲載します。



## 全国都道府県議会議長会

○6月6日(木) 都道府県会館別館において合同委員会を開催。座長(農林水産委員長、千葉県議長)のあいさつに引き続き、評論家坂本二郎氏の講演があり、ついで、昭和49年度における委員会の運営方針について決定して、閉会した。

○6月6日(木) 都道府県会館別館において臨時総会を開催。会長(佐賀県議長)のあいさつに引き続き、中国友好訪問団について報告。ついで、新任の正副議長を紹介した後、会長を議長に選出して、協議に入り、欠員中の副会長補欠選任についてはかり、議長指名により、岐阜県、兵庫県、岡山県及び宮崎県各議長を副会長に補欠選任して、閉会した。

○6月6日(木) 全国議長会会議室において役員会を開催。会長(佐賀県議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、副議長顕彰記念章について、全議事務局長から各ブロックの意見を報告の後、実施することに決定。具体的内容については正副会長に一任。ついで、50年統一地方選挙に伴う自治功労者表彰及び記念章贈呈について全議事務局長から説明の後、これを決定。次に、京都府から、議員の退職金制度について意見があり、今後の検討事項とすることとして、閉会した。

○6月6日(木) 都道府県会館別館において建設商工運輸委員会を開催。委員長代理(和歌山県議長)のあいさつに引き続き、建設大臣官房政策課長、中小企業庁長官官房総務課長及び運輸大臣官房政策課長から、それぞれ所管行政について説明及び質疑応答の後、定例会提出議案について協議決定し、委員長報告については一任して、閉会した。

○6月7日(金) 都道府県会館別館において地方制度委員会を開催。委員長(滋賀県議長)のあいさつに引き続き、自治省官房長から、地方行政の現状と問題点について説明、質疑応答の後、協議に入り、定例会提出議案及び地方行政財政対策に関する決議について協議決定。今後の運営方法について了承して、閉会した。

○7月30日(火) 都道府県会館において役員会を開催。会長(佐賀県議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、第63回定例総会の提出議案及び運営方法等について

協議決定の後、議会制度研究会の答申の取扱いについて協議、政府に要望すべき事項の案文を会長に一任することに決定。ついで、副議長顕彰バッジについて意見交換を行なって、閉会した。

○7月31日(水) 都道府県会館において第63回定例総会を開催。会長(佐賀県議長)のあいさつに引き続き、来賓の内閣総理大臣代理及び自治大臣からあいさつがあり、ついで、新任の正副議長を紹介の後、議事に入り、まず、議長に会長を選出したあと、役員会提出の決議案4件について審議決定。次に、各委員長から、提出議案に関する審議の経過と結果について報告の後、いずれも委員長報告のとおり決定し、要望事項の運動方法について会長に一任と決定の後、会長から、議会制度研究会答申の取扱いについて報告があって、役員を選任に入り、役員選考委員会を設置して休憩、再開後、役員選考委員長(大分県議長)報告のとおり、会長は東京都、副会長は北海道、岩手、千葉、富山、滋賀、鳥取、愛媛及び長崎の各道県、幹事は宮城、栃木、三重、和歌山、山口、徳島及び宮崎の各県、監事は神奈川、京都及び香川の各府県議長の選任を決定。ついで、各委員会正副委員長について決定して、閉会した。

### 第1 決議

- 1 物価政策の確立に関する決議
- 2 食糧自給体制の確立に関する決議
- 3 高福祉社会の建設に関する決議
- 4 地方税財政対策に関する決議

### 第2 昭和49年度政府予算編成及び施策に関する要望事項

#### 1 地方制度委員会関係

- (1) 地方税財政対策について
- (2) 公有地先行取得の円滑化について
- (3) 地方事務官制度の廃止について
- (4) 自治体病院に対する助成対策について
- (5) 消防、防災体制の整備促進について
- (6) 軍人恩給等の改善について
- (7) 北方領土の返還ならびに漁業の安全操業の確保について

#### 2 社会文教委員会関係

- (1) 老人福祉対策の拡充強化について
- (2) 心身障害児(者)対策の充実について
- (3) 生活保護対策の推進について
- (4) 社会福祉施設整備の促進および職員の処遇改善について
- (5) 年金制度の改善について
- (6) 医療体制の充実について
- (7) がん対策の推進について
- (8) 廃棄物処理対策の強化について

- (9) 国民健康保険の高額療養費支給制度の実施ともなう財政措置について
- (10) 自然、環境保全行政の推進について
- (11) 内湾、湖沼等の浄化対策の促進について
- (12) 私立学校振興助成法（仮称）の制定について
- (13) 国立医科大学の設置促進について
- (14) 学校管理下における事故補償制度の確立について
- (15) 養護学校建設費に対する助成について
- (16) 学校給食費の大幅国庫助成について
- (17) 勤労者の財産形成政策の推進について

### 3 建設商工運輸委員会関係

- (1) 道路網の整備促進等について
- (2) 治水事業等の推進について
- (3) 公営住宅建設事業の促進について
- (4) 下水道の整備促進について
- (5) 山土採取の規制措置について
- (6) 中小企業安定対策の推進について
- (7) エネルギー対策の推進について
- (8) 発電用施設周辺地域の整備促進等について
- (9) 鉄道網の整備促進等について
- (10) 地方空港整備の促進と新航空機の確保について
- (11) 原油スラッジによる海岸汚染の防止対策の確立について
- (12) 大型貨物自動車の交通規制等について

### 4 農林水産委員会関係

- (1) 農業振興施策の積極的推進について
- (2) 汚染米対策について
- (3) 畜産経営安定対策について
- (4) 果樹振興対策について
- (5) 野菜価格安定対策について
- (6) 松くい虫の防除対策について
- (7) 漁業振興対策について

### 5 地域開発委員会関係

- (1) 国土利用計画法の実効確保について
- (2) 地方中核都市圏の整備促進について
- (3) 水資源の確保について
- (4) 過疎地域対策の促進について
- (5) 離島振興対策の促進について
- (6) 山村振興対策の推進について

## 都道府県議会議員共済会

○6月6日（木） 全議会議長室において役員会を開催。会長（佐賀県議長）あいさつに引き続き、共済会定款の一部変更（会長専決）について報告の後、これを了承。ついで、代議員会の運営方法について協議決定して、閉会

した。

○6月6日（木） 都道府県会館別館において代議員会を開催。会長（佐賀県議長）あいさつに引き続き、全議事務局長から、共済会定款の一部変更（会長専決）について報告があって、これを了承。ついで、議事に入り、昭和48年度決算及び監査報告の後、これを認定。ついで、任期満了に伴う監事の選任について、島根県議長及び薄津芳氏を選任することに決定の後、全議事務局長から、年金額の改定等に関する法律改正案の内容について説明があって、閉会した。

## 東北新幹線建設促進期成同盟会

○7月29日（月） 都道府県会館において通常総会を開催。会長（宮城県議長）及び名誉会長（宮城県知事）のあいさつに引き続き、来賓からそれぞれ祝辞があり、議長に会長を選出して、協議に入り、昭和48年度事業報告及び収支決算並びに昭和49年度事業計画案及び収支予算案について、それぞれ承認又は決定して、閉会した。

# 資 料

## 第2回定例道議会及び第1回臨時道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	4. 26 専決処分	4. 27	北海道条例第32号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	同 第33号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	同 第34号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	同 第35号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	6. 11 専決処分	6. 15	同 第36号
北海道道民生活安定条例	6. 29	7. 1	同 第37号
公団営農用地開発事業負担金等徴収条例	7. 25	7. 27	同 第38号
北海道議会議務局職員定数条例の一部を改正する条例	同	同	同 第39号
北海道職員等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	同	同	同 第40号
北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例	同	同	同 第41号
北海道医学及び歯学修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	同 第42号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	同 第43号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例	同	同	同 第44号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	同 第45号
学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	同	同	同 第46号

## 第10回参議院議員通常選挙の結果

第10回参議院議員通常選挙は、6月14日告示され、翌15日午後5時の締切り時までに、全国区112人、地方区237人、計349人が立候補し、全国区54(欠員4を含む。)、地方区76、計130の改選議席に対し、全国区2.07倍、地方区3.10倍となり、地方区では、第2回選挙の3.31倍に次ぐ

競争率となった。北海道地方区は、改選議席4に対し、立候補者は、吉田忠三郎氏(社会前)、小笠原貞子氏(共産前)、高橋辰夫氏(無所属新)、西田信一氏(自民前)、河口陽一氏(自民前)、つしま孝旦氏(社会新)、相沢武彦氏(公明新)の7人で、競争率は1.75倍と少数激戦地区となった。

立候補者の党派別内訳は、次のとおりである。

党派別	区分 当選者数	地方区				全国区				新分野	改選前の分野			
		前	元	新	計	前	元	新	計		改選	非改選		計
												地方	全国	
自民	62	20	2	21	43	8	0	11	19	126	70	42	22	134
社会	28	5	0	13	18	4	0	6	10	62	25	27	7	59
公明	14	2	0	3	5	8	0	1	9	24	13	2	8	23
共産	13	2	0	3	5	2	0	6	8	20	4	2	5	11
民社	5	0	0	1	1	2	0	2	4	10	6	2	3	11
諸派	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
無所属	7	2	0	1	3	1	1	2	4	9	4 (欠4)	1	1 (欠4)	6 (欠8)
計	130	31	2	43	76	25	1	28	54	252	126	126	252	

かくて、7月7日午前7時から全国一斉に投票が行なわれ、投票率は全国平均73.19%(前回59.30%)、北海道では75.86%(前回59.73%)と史上最高を記録した。

開票は、7月9日早朝まで続けられ、参議院の新勢力分野が固まったが、自民党は改選議席が62にとどまり、一方、共産党が改選議席を3倍強、非改選議席を合わせて2倍に伸ばすなど、与野党の議席差は大幅に縮まった。

北海道地方区の当選者は、小笠原貞子氏(共産)、吉田忠三郎氏(社会)、つしま孝旦氏(社会)、相沢武彦氏(公明)に決定。同全国区では、藤原房雄氏(公明前)、岩間正男氏(共産前)、宮田輝氏(自民新)、日黒けさ次郎氏(社会新)、和田静夫氏(社会新)、あくね登氏(社会前)が上位を占めた。

今次参院選は、明春の統一地方選挙の前しよう戦として政党間で激しい選挙戦が展開され、昨年の石油危機に伴う物価の高騰、生活不安などの有権者の意識、また、投票時間の1時間延長の特例措置など、選挙に対する関心が高まった。

選挙結果に関する表は、次のとおりである。

なお、台風8号の影響により、三重県下の4投票区について、公選法第57条に基づく繰延べ投票が7月14日行なわれ、これに伴い伊勢市の開票も当日まで凍結された。

当選者の党派別内訳及び参議院の新勢力分野は、次のとおりである。

区分 党派別	立候補者		地方区				全国区			
	合計	うち 婦人	前	元	新	計	前	元	新	計
自民	95	4	37	3	26	60	14	2	19	35
社会	57	2	7	0	38	45	6	0	6	12
公明	45	0	3	0	33	36	8	0	1	9
民社	14	1	1	0	8	9	2	0	3	5
共産	53	6	2	0	43	45	2	0	6	8
諸派	11	1	0	0	6	6	0	0	5	5
無所属	74	4	2	0	34	36	1	1	35	38
総計	349	18	46	3	188	237	34	3	75	112

投票結果に關

支庁・市区別	区分	選挙当日の有権者数 (人)			投票者数 (人)		
		男	女	計	男	女	計
石狩 後空	狩島山志知	20,084	20,892	40,976	15,719	15,936	31,655
		62,024	67,074	129,098	43,930	50,283	94,213
		25,176	27,264	52,440	19,278	21,647	40,925
		47,125	52,830	99,955	35,586	39,797	75,383
		46,392	51,506	97,898	39,319	42,379	81,698
上留宗 網走	川萌谷走振	49,855	54,329	104,184	41,399	44,188	85,587
		18,984	21,286	40,270	15,488	17,666	33,154
		16,763	18,099	34,862	14,199	15,420	29,619
		65,977	71,349	137,326	55,213	58,724	113,937
		26,878	29,185	56,063	22,534	24,045	46,579
日十 釧根	高勝路室	33,568	35,670	69,238	27,121	28,787	55,908
		64,839	69,682	134,521	55,575	58,750	114,325
		29,051	30,126	59,177	22,910	23,741	46,651
		16,627	16,718	33,345	12,979	12,697	25,676
<b>支 庁 計</b>		<b>523,343</b>	<b>566,010</b>	<b>1,089,353</b>	<b>421,250</b>	<b>454,060</b>	<b>875,310</b>
札幌市		390,879	409,116	799,995	276,781	292,061	568,842
中央 北東 白石	区 区 区 区	65,249	74,610	139,859	43,691	50,475	94,166
		52,350	54,158	106,508	36,993	38,749	75,742
		62,639	64,380	127,019	44,232	46,270	90,502
		62,055	63,695	125,750	44,154	46,026	90,180
豊平 南西	区 区 区	57,203	59,156	116,359	39,304	41,420	80,724
		33,237	32,830	66,067	25,691	24,322	50,013
		58,146	60,287	118,433	42,716	44,799	87,515
函小 旭室 釧	市 市 市 市	94,636	111,837	206,473	67,913	79,635	147,548
		60,087	71,385	131,472	45,218	52,817	98,035
		100,986	109,677	210,663	76,829	83,184	160,013
		52,903	54,550	107,453	40,521	41,010	81,531
		65,277	69,559	134,836	47,676	51,309	98,985
帯北 夕岩 網走	市 市 市 市	45,834	48,292	94,126	32,944	34,263	67,207
		28,556	31,096	59,652	22,420	24,194	46,614
		18,708	20,105	38,813	14,452	14,868	29,320
		22,931	25,267	48,198	17,753	18,856	36,609
		13,515	14,906	28,421	10,622	11,196	21,818
留苦 稚美 芦	市 市 市 市	12,631	13,470	26,101	9,113	9,661	18,774
		41,641	42,178	83,819	31,930	32,431	64,361
		17,731	18,740	36,471	12,558	13,389	25,947
		13,020	14,851	27,871	10,109	11,066	21,175
		12,542	13,823	26,365	9,967	10,785	20,752
江赤 紋士 名	市 市 市 市	23,387	24,552	47,939	18,290	19,090	37,380
		9,399	10,242	19,641	7,417	8,025	15,442
		10,546	11,762	22,308	8,158	9,233	17,391
		10,158	11,239	21,397	7,175	7,457	14,632
		11,659	12,082	23,741	9,596	9,641	19,237
三根 千滝 砂	市 市 市 市	9,050	10,358	19,408	7,282	8,166	15,448
		13,742	14,856	28,598	9,082	9,710	18,792
		21,538	17,828	39,366	17,108	13,409	30,517
		15,925	17,167	33,092	12,456	13,111	25,567
		8,158	9,002	17,160	6,735	7,471	14,206



す る 調 (地 方 区)

昭和49年7月7日執行

棄権者数 (人)			投票率 (%)			前回投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
4,365	4,956	9,321	78.27	76.28	77.25	66.91	64.10	65.48
18,094	16,791	34,885	70.83	74.97	72.98	56.71	60.56	58.71
5,898	5,617	11,515	76.57	79.40	78.04	61.58	63.78	62.72
11,539	13,033	24,572	75.51	75.33	75.42	64.79	63.07	63.88
7,073	9,127	16,200	84.75	82.28	83.45	73.32	68.84	70.96
8,456	10,141	18,597	83.04	81.33	82.15	72.03	68.78	70.34
3,496	3,620	7,116	81.58	82.99	82.33	68.60	67.64	68.09
2,564	2,679	5,243	84.70	85.20	84.96	75.05	73.37	74.18
10,764	12,625	23,389	83.69	82.31	82.97	71.41	66.85	69.04
4,344	5,140	9,484	83.84	82.39	83.08	69.78	67.12	68.40
6,447	6,885	13,330	80.79	80.70	80.75	67.08	67.45	67.27
9,264	10,932	20,196	85.71	84.31	84.99	74.87	71.55	73.15
6,141	6,385	12,526	78.86	78.81	78.83	64.26	62.19	63.21
3,648	4,021	7,669	78.06	75.95	77.00	64.26	61.00	62.63
<b>102,093</b>	<b>111,950</b>	<b>214,043</b>	<b>80.49</b>	<b>80.22</b>	<b>80.35</b>	<b>68.23</b>	<b>66.38</b>	<b>67.27</b>
114,098	117,055	231,153	70.81	71.39	71.11	53.33	54.64	53.99
21,558	24,135	45,693	66.96	67.65	67.33			
15,357	15,409	30,766	70.66	71.55	71.11			
18,407	18,110	36,517	70.61	71.87	71.25			
17,901	17,669	35,570	71.15	72.26	71.71			
17,899	17,736	35,635	68.71	70.02	69.37			
7,546	8,508	16,054	77.30	74.08	75.70			
15,430	15,488	30,918	73.46	74.31	73.89			
26,723	32,202	58,925	71.76	71.21	71.46	53.84	51.69	52.68
14,869	18,568	33,437	75.25	73.99	74.57	56.42	53.83	55.02
24,157	26,493	50,650	76.08	75.84	75.96	56.60	53.40	54.94
12,382	13,540	25,922	76.59	75.18	75.88	56.79	55.06	55.91
17,601	18,250	35,851	73.04	73.76	73.41	57.03	56.31	56.67
12,890	14,029	26,919	71.88	70.95	71.40	59.46	58.26	58.85
6,136	6,902	13,038	78.51	77.80	78.14	60.80	58.32	59.51
4,256	5,237	9,493	77.25	73.95	75.54	59.54	53.10	56.21
5,178	6,411	11,589	77.42	74.63	75.96	57.84	52.99	55.31
2,893	3,710	6,603	78.59	75.11	76.77	64.34	61.94	63.09
3,518	3,809	7,327	72.15	71.72	71.93	59.42	54.70	56.99
9,711	9,747	19,458	76.68	76.89	76.79	55.61	55.27	55.44
5,173	5,351	10,524	70.83	71.45	71.14	55.60	53.60	54.58
2,911	3,785	6,696	77.64	74.51	75.98	65.12	57.25	60.00
2,575	3,038	5,613	79.47	78.02	78.71	62.09	60.24	61.12
5,097	5,462	10,559	78.21	77.75	77.97	62.81	62.53	62.67
1,982	2,217	4,199	78.91	78.35	78.62	58.27	55.19	56.68
2,388	2,529	4,917	77.36	78.50	77.96	60.19	60.40	60.30
2,983	3,782	6,765	70.63	66.35	68.38	60.14	54.57	57.20
2,063	2,441	4,504	82.31	79.80	81.03	65.93	60.98	63.39
1,768	2,192	3,960	80.46	78.84	79.60	59.34	53.05	56.03
4,660	5,146	9,806	66.09	65.36	65.71	49.71	47.55	48.58
4,430	4,419	8,849	79.43	75.21	77.52	66.77	59.11	63.37
3,469	4,056	7,525	78.22	76.37	77.26	62.36	59.06	60.66
1,423	1,531	2,954	82.56	82.99	82.79	66.95	66.13	66.52

支庁・市区別	選挙当日の有権者数 (人)			投票者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計
歌志内市	4,260	4,838	9,098	3,532	3,882	7,414
深川市	11,807	13,331	25,138	9,493	10,411	19,904
富良野市	9,292	10,446	19,738	7,376	7,877	15,253
登別市	16,230	16,810	33,040	12,754	13,037	25,791
恵庭市	12,935	11,785	24,720	10,683	9,408	20,091
伊達市	10,252	11,444	21,696	8,512	9,303	17,815
市計	1,190,215	1,276,594	2,466,809	882,455	939,956	1,822,411
合計	1,713,558	1,842,604	3,556,162	1,303,705	1,394,016	2,697,721

候補者別得

1 支庁・市区別

支庁・市区別	候補者別得票数					
	1 吉田 忠三郎 (社会・前)	2 小笠原 貞子 (共産・前)	3 高橋 辰夫 (無所属・新)	4 西田 信一 (自民・前)	5 河口 陽一 (自民・前)	6 対島 孝且 (社会・新)
石狩市	2,088	4,326	4,273	3,035	6,435	6,117
渡島市	21,244	12,659	7,930	19,011	12,179	3,970
後志市	10,640	5,718	3,891	6,422	6,526	1,367
空知市	5,240	10,236	8,571	10,206	13,192	15,487
支庁計	4,289	10,015	8,009	8,902	21,810	16,947
上川市	22,208	10,126	4,056	10,054	24,295	4,571
留萌市	7,099	3,323	3,600	4,173	8,169	1,616
宗谷市	7,250	3,780	1,949	6,152	4,531	1,364
網走市	32,167	11,258	17,955	16,466	19,025	4,861
胆振市	2,974	5,794	14,682	5,190	3,677	7,157
日高市	2,450	7,989	8,588	10,713	6,220	11,346
十勝市	34,072	12,987	17,989	9,700	21,809	5,229
釧路市	3,380	6,198	8,174	6,084	6,898	9,161
根室市	1,444	2,925	6,259	2,317	4,104	5,121
支庁計	156,545	107,334	115,926	118,425	158,870	94,314
札幌市	68,470	108,656	64,251	73,272	53,169	97,252
中央区	8,415	16,661	13,468	16,483	10,437	13,090
北区	8,708	15,580	8,210	7,734	7,412	14,403
白石区	13,080	18,008	8,794	10,053	7,925	15,743
豊平区	11,740	18,545	8,172	10,260	6,698	15,967
豊南区	8,480	16,066	9,698	10,703	6,581	13,850
西区	12,618	16,357	9,076	8,999	8,477	16,108
南区	5,429	7,439	6,833	9,040	5,639	8,091
函館市	36,896	30,996	9,844	25,112	10,668	8,618
小樽市	6,897	22,342	10,454	12,084	10,918	19,254
旭川市	36,186	22,382	12,783	10,126	43,465	13,734
室蘭市	5,766	16,423	10,438	9,401	3,209	21,803
釧路市	7,895	14,255	14,600	10,227	7,264	27,616

棄権者数 (人)			投票率 (%)			前回投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
728	956	1,684	82.91	80.24	81.49	67.12	60.93	63.88
2,314	2,920	5,234	80.40	78.10	79.18	66.79	61.73	64.13
1,916	2,569	4,485	79.38	75.41	77.28	69.24	63.93	66.45
3,476	3,773	7,249	78.58	77.56	78.06	58.88	56.65	57.76
2,252	2,377	4,629	82.59	79.83	81.27	70.28	65.25	67.92
1,740	2,141	3,881	83.03	81.29	82.11	59.86	56.54	58.11
307,760	336,638	644,398	74.14	73.63	73.88	56.99	55.39	56.17
409,853	448,588	858,441	76.08	75.65	75.86	60.57	58.94	59.73

票 数 調 (地 方 区)

7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
4,642	30,916	738	31,654	31,655	—	1	—
13,956	90,949	3,237	94,186	94,213	2	25	—
5,331	39,895	1,019	40,914	40,925	10	1	—
10,510	73,442	1,933	75,375	75,383	2	6	—
9,305	79,277	2,410	81,687	81,698	3	9	△ 1
8,361	83,671	1,910	85,581	85,587	3	3	—
4,180	32,160	992	33,152	33,154	1	1	—
3,802	28,828	787	29,615	29,619	2	2	—
9,831	111,563	2,368	113,931	113,937	3	3	—
6,345	45,819	755	46,574	46,579	—	5	—
7,447	54,753	1,153	55,906	55,908	—	2	—
9,985	111,771	2,527	114,298	114,325	5	22	—
5,552	45,447	1,194	46,641	46,651	3	7	—
3,117	25,287	378	25,665	25,676	10	1	—
102,364	853,778	21,401	875,179	875,310	44	88	△ 1
96,814	561,884	6,862	568,746	568,842	—	96	—
14,288	92,842	1,289	94,131	94,166	—	35	—
12,746	74,793	942	75,735	75,742	—	7	—
15,779	89,382	1,110	90,492	90,502	—	10	—
17,807	89,189	975	90,164	90,180	—	16	—
14,436	79,814	894	80,708	80,724	—	16	—
14,835	86,470	1,037	87,507	87,515	—	8	—
6,923	49,394	615	50,009	50,013	—	4	—
22,797	144,931	2,605	147,536	147,548	—	12	—
14,510	96,459	1,571	98,030	98,035	—	5	—
19,328	158,004	1,993	159,997	160,013	—	16	—
13,259	80,299	1,226	81,525	81,531	—	6	—
15,877	97,734	1,224	98,958	98,985	—	27	—

区分	1	2	3	4	5	6
支庁・市区別	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 貞子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対島 孝且 (社会・新)
帯広市	17,248	8,895	9,924	8,184	9,652	4,065
北見市	10,954	5,528	7,798	5,912	7,114	4,469
夕張市	1,222	4,835	1,009	3,111	1,000	12,918
岩見沢市	4,706	5,783	2,462	4,115	6,601	7,790
網走市	5,460	2,550	3,363	2,925	3,143	1,451
留萌市	4,454	2,025	2,748	1,984	2,850	934
小牧市	4,290	10,337	6,381	18,847	1,248	12,593
稚内市	6,889	3,677	1,918	3,965	2,973	1,821
美幌市	969	3,951	1,387	3,173	2,736	5,064
芦名市	714	2,764	1,787	2,207	1,741	7,912
江別市	5,687	6,098	3,183	5,023	4,166	7,788
赤平市	612	2,467	850	1,918	705	5,734
紋別市	4,378	2,315	2,071	2,849	2,380	1,185
士別市	3,690	1,904	1,098	1,865	3,201	960
名寄市	5,161	1,941	1,218	3,529	3,326	1,339
三根市	725	2,449	421	2,162	861	6,337
笠釧市	1,691	2,824	2,462	2,727	2,416	3,756
千歳市	1,439	2,846	3,062	7,764	6,340	4,177
滝川市	2,366	3,370	3,298	4,216	2,576	6,161
砂川市	905	2,220	1,509	1,802	1,049	4,361
歌志内市	284	1,604	274	969	182	2,799
深川市	1,808	2,803	2,288	1,707	4,384	4,460
富良野市	4,398	2,120	803	1,758	3,561	949
登別市	1,577	4,849	3,997	2,284	1,078	7,454
恵庭市	1,170	2,090	2,243	5,859	3,439	2,552
伊達市	1,294	2,317	7,671	936	503	2,516
市計	256,201	309,616	197,595	242,013	207,918	309,822
合計	412,746	416,950	313,521	360,438	366,788	404,136

2 町 村 別

区分	1	2	3	4	5	6
町村別	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 貞子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対馬 孝且 (社会・新)
(石狩支庁)						
広島町	825	1,400	849	892	1,102	1,641
石狩町	498	879	977	562	1,478	1,371
当別町	492	1,562	1,279	914	2,245	1,697
新篠津村	47	153	473	106	1,040	353
厚田村	112	154	232	194	364	309
浜益村	114	178	463	367	206	746
計	2,088	4,326	4,273	3,035	6,435	6,117

7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
8,294	66,262	944	67,206	67,207	—	1	—
4,277	46,052	556	46,608	46,614	5	1	—
4,679	28,774	544	29,318	29,320	—	2	—
4,555	36,012	593	36,605	36,609	2	2	—
2,511	21,403	415	21,818	21,818	—	—	—
3,592	18,587	185	18,772	18,774	—	2	—
9,953	63,649	709	64,358	64,361	2	1	—
4,138	25,381	559	25,940	25,947	4	3	—
3,527	20,807	365	21,172	21,175	—	3	—
3,379	20,504	248	20,752	20,752	—	—	—
5,083	37,028	350	37,378	37,380	—	2	—
2,845	15,131	310	15,441	15,442	—	1	—
1,701	16,879	508	17,387	17,391	—	4	—
1,632	14,350	281	14,631	14,632	—	1	—
2,354	18,868	348	19,216	19,237	19	2	—
2,218	15,173	274	15,447	15,448	—	1	—
2,361	18,237	555	18,792	18,792	—	—	—
4,196	29,824	689	30,513	30,517	—	4	—
3,265	25,252	313	25,565	25,567	—	2	—
2,139	13,985	202	14,187	14,206	—	19	—
1,110	7,222	192	7,414	7,414	—	—	—
2,172	19,622	281	19,903	19,904	—	1	—
1,443	15,032	215	15,247	15,253	5	1	—
4,112	25,351	440	25,791	25,791	—	—	—
2,436	19,789	302	20,091	20,091	—	—	—
2,357	17,594	221	17,815	17,815	—	—	—
272,914	1,796,079	26,080	1,822,159	1,822,411	37	215	—
375,278	2,649,857	47,481	2,697,338	2,697,721	81	303	△ 1

7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
1,393	8,102	241	8,343	8,343	—	—	—
1,153	6,918	93	7,011	7,012	—	1	—
951	9,140	205	9,345	9,345	—	—	—
191	2,363	83	2,446	2,446	—	—	—
538	1,903	51	1,954	1,954	—	—	—
416	2,490	65	2,555	2,555	—	—	—
4,642	30,916	738	31,654	31,655	—	1	—

区分 町村別	1	2	3	4	5	6
	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 貞子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対馬 孝且 (社会・新)
(渡島支庁)						
松前町	1,294	1,175	721	1,953	1,027	286
福島町	795	634	386	1,523	380	223
知内町	577	218	551	603	714	121
木古内町	1,414	799	482	835	642	230
上磯町	3,787	1,144	812	1,969	1,154	601
大野町	1,211	740	215	728	1,457	208
七飯町	2,414	1,187	467	1,315	1,815	476
戸井町	580	292	145	851	442	56
尻内町	512	328	317	1,069	306	37
椴法華村	127	130	147	394	58	23
南茅部町	828	655	282	1,868	774	209
鹿部村	574	246	212	550	278	34
砂原村	409	257	276	947	277	87
森雲町	1,920	1,047	968	2,024	819	392
八雲町	2,405	1,566	960	1,480	1,657	784
長万部町	2,397	1,241	989	902	379	203
計	21,244	12,659	7,930	19,011	12,179	3,970
(桧山支庁)						
江上町	1,979	1,134	735	1,075	837	369
差国町	882	994	409	592	917	281
厚沢部町	942	347	284	500	1,507	110
乙部町	773	585	379	421	671	63
熊石町	2,189	218	82	217	92	24
大奥町	592	453	350	513	219	43
尻棚町	463	209	193	1,148	382	55
瀬北町	407	356	318	698	287	47
今檢山町	1,033	743	550	555	890	136
金町	1,380	679	591	703	724	239
計	10,640	5,718	3,891	6,422	6,526	1,367
(後志支庁)						
島牧村	73	247	224	220	341	341
寿都町	121	486	237	484	531	841
黒松内町	229	437	417	359	434	622
蘭越町	491	366	592	652	876	1,090
二七町	168	332	214	394	728	625
真狩村	50	119	242	257	680	345
留寿都村	33	169	211	194	310	209
喜茂別町	257	227	500	280	546	602
京極町	139	148	648	227	669	491
倶知安町	1,112	1,171	723	1,377	2,207	2,159
共岩町	447	465	229	353	1,461	1,017
泊内町	534	2,051	714	1,369	843	2,090
神恵内村	67	375	103	422	132	335
積丹村	122	81	90	180	63	297
丹町	121	253	280	519	319	526

7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
1,553	8,009	305	8,314	8,319	2	3	—
1,161	5,102	315	5,415	5,415	—	—	—
524	3,308	124	3,432	3,433	—	1	—
476	4,878	119	4,997	4,997	—	—	—
1,751	12,218	389	12,607	12,607	—	—	—
599	5,158	127	5,285	5,285	—	—	—
1,296	8,970	201	9,171	9,172	—	1	—
535	2,901	178	3,079	3,080	—	1	—
698	3,267	504	3,771	3,772	—	1	—
255	1,132	47	1,179	1,179	—	—	—
875	5,491	144	5,635	5,637	—	2	—
300	2,194	81	2,275	2,275	—	—	—
537	2,790	109	2,899	2,899	—	—	—
1,269	8,439	225	8,664	8,677	—	13	—
1,280	10,132	239	10,371	10,374	—	3	—
849	6,960	132	7,092	7,092	—	—	—
<b>13,956</b>	<b>90,949</b>	<b>3,237</b>	<b>94,186</b>	<b>94,213</b>	<b>2</b>	<b>25</b>	<b>—</b>
957	7,086	136	7,222	7,224	2	—	—
476	4,551	248	4,799	4,799	—	—	—
433	4,123	109	4,232	4,232	—	—	—
633	3,525	77	3,602	3,603	1	—	—
351	3,173	61	3,234	3,236	2	—	—
369	2,539	90	2,629	2,629	—	—	—
631	3,081	69	3,150	3,150	—	—	—
193	2,306	52	2,358	2,358	—	—	—
596	4,503	79	4,582	4,586	3	1	—
692	5,008	98	5,106	5,108	2	—	—
<b>5,331</b>	<b>39,895</b>	<b>1,019</b>	<b>40,914</b>	<b>40,925</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>—</b>
331	1,777	46	1,823	1,823	—	—	—
551	3,251	89	3,340	3,341	—	1	—
198	2,696	55	2,751	2,751	—	—	—
470	4,537	159	4,696	4,696	—	—	—
397	2,858	45	2,903	2,903	—	—	—
256	1,949	30	1,979	1,979	—	—	—
120	1,246	24	1,270	1,270	—	—	—
400	2,812	48	2,860	2,861	—	1	—
264	2,586	76	2,662	2,662	—	—	—
1,032	9,781	255	10,036	10,036	—	—	—
459	4,431	74	4,505	4,505	—	—	—
1,698	10,299	195	10,494	10,494	—	—	—
293	1,727	38	1,765	1,765	—	—	—
301	1,134	41	1,175	1,175	—	—	—
540	2,558	176	2,734	2,737	—	3	—

区分	1	2	3	4	5	6
町村別	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 貞子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対馬 孝且 (社会・新)
古仁余赤	122	419	562	374	408	484
平木市	283	500	135	481	808	571
町町村	841	2,222	1,328	1,930	1,651	2,616
井川	30	168	122	134	185	226
計	5,240	10,236	8,571	10,206	13,192	15,487
(空知支庁)						
北栗南奈上	133	285	117	198	1,667	469
村町	530	867	350	830	1,767	1,866
沢幌井	145	360	163	490	1,292	396
江川	267	863	1,071	479	869	1,003
町	149	1,174	187	438	232	4,782
由長栗月浦	580	555	441	698	1,638	825
仁沼山形白	403	1,130	516	1,149	2,486	914
町町町	579	1,342	1,130	1,321	2,166	2,037
町	135	294	418	605	923	668
町	124	321	307	175	878	257
新十妹秩雨北	351	611	838	578	1,852	788
津川牛別	142	460	413	196	1,924	435
町町	156	408	156	573	890	260
町	103	202	593	309	625	461
町	55	298	331	221	939	350
沼幌	257	591	739	414	1,064	607
田内町	180	254	239	228	598	829
計	4,289	10,015	8,009	8,902	21,810	16,947
(上川支庁)						
鷹東当比愛	799	917	150	201	1,436	158
植神麻布別	974	233	75	143	1,015	202
町町町	1,029	656	488	344	2,168	270
町	752	668	109	268	1,385	114
町	749	337	227	271	1,662	137
上東美上中	2,272	629	409	437	632	310
川川	814	875	207	352	1,332	237
町町	2,670	1,192	385	768	2,681	404
富良野	1,303	552	570	2,163	2,462	340
町	830	418	86	1,481	1,325	121
南富占和劍朝	1,493	292	110	332	463	174
良冠寒淵日	456	91	69	110	165	22
町町	947	688	219	495	1,242	178
町	1,107	520	125	340	628	135
町	820	205	45	318	647	41
風下美音中	870	394	171	664	1,210	197
連川深	1,724	373	185	696	760	1,040
町町	1,189	728	224	373	2,155	336
子府村	646	96	48	153	278	99
町	764	262	154	145	649	56
計	22,208	10,126	4,056	10,054	24,295	4,571



7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
578	2,947	101	3,048	3,048	—	—	—
469	3,247	82	3,329	3,330	1	—	—
2,046	12,634	347	12,981	12,982	—	1	—
107	972	52	1,024	1,025	1	—	—
<b>10,510</b>	<b>73,442</b>	<b>1,933</b>	<b>75,375</b>	<b>75,383</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>—</b>
319	3,188	205	3,393	3,394	—	1	—
856	7,066	135	7,201	7,201	—	—	—
337	3,183	224	3,407	3,409	—	2	—
664	5,216	178	5,394	5,395	—	1	—
1,154	8,116	117	8,233	8,233	—	—	—
645	5,382	178	5,560	5,561	—	1	—
765	7,323	387	7,710	7,710	—	—	—
1,270	9,845	181	10,026	10,027	—	1	—
526	3,569	131	3,700	3,703	3	—	—
299	2,361	22	2,383	2,383	—	—	—
662	5,686	162	5,842	5,844	—	2	—
372	3,942	212	4,154	4,154	—	—	—
243	2,686	37	2,723	2,724	—	1	—
279	2,572	65	2,637	2,636	—	—	△ 1
171	2,365	58	2,423	2,423	—	—	—
416	4,088	69	4,157	4,157	—	—	—
367	2,695	49	2,744	2,744	—	—	—
<b>9,305</b>	<b>79,277</b>	<b>2,410</b>	<b>81,687</b>	<b>81,698</b>	<b>3</b>	<b>9</b>	<b>△ 1</b>
339	4,000	74	4,074	4,074	—	—	—
283	2,925	42	2,967	2,967	—	—	—
726	5,681	130	5,811	5,811	—	—	—
233	3,529	63	3,592	3,592	—	—	—
364	3,747	69	3,816	3,816	—	—	—
573	5,262	166	5,428	5,429	—	1	—
544	4,361	74	4,435	4,436	1	—	—
1,074	9,174	172	9,346	9,347	1	—	—
556	7,946	153	8,099	8,099	—	—	—
204	4,465	52	4,517	4,518	—	1	—
212	3,076	50	3,126	3,126	—	—	—
81	994	15	1,009	1,009	—	—	—
581	4,350	92	4,442	4,442	—	—	—
298	3,153	79	3,232	3,232	—	—	—
125	2,201	49	2,250	2,250	—	—	—
785	4,291	135	4,426	4,427	—	1	—
576	5,354	140	5,494	5,494	—	—	—
518	5,523	240	5,763	5,764	1	—	—
85	1,405	31	1,436	1,436	—	—	—
204	2,234	84	2,318	2,318	—	—	—
<b>8,361</b>	<b>83,671</b>	<b>1,910</b>	<b>85,581</b>	<b>85,587</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>—</b>

区分	1	2	3	4	5	6
町村別	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 貞子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対馬 孝且 (社会・新)
(留萌支庁)						
増毛町	890	571	819	610	1,193	190
小平町	920	260	617	437	1,005	138
苫前町	1,041	401	340	583	1,137	114
羽幌町	1,728	829	607	1,542	1,750	489
初山別村	307	99	64	210	512	295
遠別町	883	426	267	299	853	109
天塩町	663	445	316	372	1,104	193
幌延町	667	292	570	120	615	88
計	7,099	3,323	3,600	4,173	8,169	1,616
(宗谷支庁)						
猿払村	572	228	101	314	506	47
浜頓別町	1,588	484	237	529	451	240
中頓別町	859	390	206	295	358	127
枝幸町	1,207	1,021	354	950	813	228
歌登町	778	199	64	278	756	61
豊礼町	868	558	187	853	645	143
富文町	483	276	294	993	356	120
利尻町	537	283	330	943	269	130
利尻町	358	341	176	997	417	268
計	7,250	3,780	1,949	6,152	4,531	1,364
(網走支庁)						
東藻琴村	365	288	291	296	518	78
女満別町	654	270	645	311	1,399	134
美津町	2,610	1,319	3,432	1,970	2,020	930
津斜町	2,134	803	753	939	629	219
斜里町	2,686	875	1,571	474	1,620	498
清里町	1,453	300	368	753	771	138
小清水町	1,448	615	503	441	933	170
端野町	462	287	375	297	1,416	124
訓子府町	689	620	638	504	1,330	204
置戸町	1,774	335	708	390	930	123
留辺蘂町	2,838	829	1,190	1,068	1,097	339
佐呂間町	1,445	779	775	1,059	626	135
常呂町	676	313	506	820	676	153
生田町	929	294	333	429	314	49
遠軽町	3,177	1,060	1,711	2,499	1,101	640
丸瀬布町	1,284	195	371	303	166	37
白滝村	732	61	210	248	187	3
上湧別町	1,537	414	443	1,037	934	281
湧別町	911	294	661	781	824	112
滝上町	1,756	267	904	490	355	96
興部町	1,139	396	465	606	538	222
西興部町	354	107	286	149	211	35
雄武町	1,114	537	816	602	430	141
計	32,167	11,258	17,955	16,466	19,025	4,861

7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
1,182	5,455	97	5,552	5,552	—	—	—
551	3,928	215	4,143	4,143	—	—	—
548	4,164	103	4,267	4,267	—	—	—
778	7,723	197	7,920	7,921	1	—	—
119	1,606	33	1,639	1,639	—	—	—
368	3,205	162	3,367	3,368	—	1	—
393	3,486	74	3,560	3,560	—	—	—
241	2,593	111	2,704	2,704	—	—	—
<b>4,180</b>	<b>32,160</b>	<b>992</b>	<b>33,152</b>	<b>33,154</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	—
211	1,979	42	2,021	2,021	—	—	—
206	3,715	123	3,838	3,838	—	—	—
237	2,472	62	2,534	2,534	—	—	—
683	5,256	97	5,353	5,353	—	—	—
223	2,359	23	2,382	2,384	2	—	—
386	3,640	184	3,824	3,824	—	—	—
721	3,223	86	3,309	3,309	—	—	—
598	3,090	86	3,176	3,177	—	1	—
537	3,094	84	3,178	3,179	—	1	—
<b>3,802</b>	<b>28,828</b>	<b>787</b>	<b>29,615</b>	<b>29,619</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	—
133	1,969	32	2,001	2,001	—	—	—
446	3,859	73	3,932	3,933	—	1	—
1,175	13,456	245	13,701	13,701	—	—	—
627	6,104	202	6,306	6,306	—	—	—
809	8,533	173	8,706	8,706	—	—	—
446	4,229	84	4,313	4,313	—	—	—
569	4,679	80	4,759	4,760	—	1	—
256	3,217	64	3,281	3,281	—	—	—
392	4,377	73	4,450	4,450	—	—	—
301	4,561	80	4,641	4,641	—	—	—
695	8,056	167	8,223	8,224	1	—	—
362	5,181	123	5,304	5,304	—	—	—
355	3,499	152	3,651	3,651	—	—	—
134	2,482	75	2,557	2,557	—	—	—
1,015	11,203	145	11,348	11,350	2	—	—
151	2,507	47	2,554	2,554	—	—	—
82	1,523	29	1,552	1,552	—	—	—
391	5,037	95	5,132	5,133	—	1	—
386	3,969	125	4,094	4,094	—	—	—
315	4,183	81	4,264	4,264	—	—	—
344	3,710	146	3,856	3,856	—	—	—
133	1,275	28	1,303	1,303	—	—	—
314	3,954	49	4,003	4,003	—	—	—
<b>9,831</b>	<b>111,563</b>	<b>2,368</b>	<b>113,931</b>	<b>113,937</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	—

区分 町村別	1	2	3	4	5	6
	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 貞子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対馬 孝且 (社会・新)
(胆振支庁)						
豊浦町	256	484	1,285	371	407	469
此洞村	415	686	1,999	451	301	1,260
大社	41	164	642	153	292	154
滝警	60	60	322	58	59	94
計	116	243	1,028	187	187	388
白老町	546	1,609	4,958	950	211	1,385
早来町	237	364	1,253	626	336	472
追分町	862	537	359	364	290	701
厚真町	90	486	849	996	575	827
鷗川町	185	737	1,118	723	718	763
穂別町	166	424	869	311	301	644
計	2,974	5,794	14,682	5,190	3,677	7,157
(日高支庁)						
日高町	53	354	310	432	183	574
平取町	192	465	823	756	661	1,381
門別町	301	1,187	1,310	1,410	1,358	1,339
新冠町	157	483	655	632	816	710
新静内町	715	1,576	1,761	2,730	1,132	2,643
三浦町	163	372	1,195	557	669	641
石河町	394	2,356	1,124	2,082	799	2,356
様似町	354	732	722	1,165	336	769
えりも町	121	464	688	949	266	933
計	2,450	7,989	8,588	10,713	6,220	11,346
(十勝支庁)						
音更町	3,317	1,765	1,624	1,323	3,611	941
上幌町	880	678	379	231	1,577	138
土幌町	2,006	493	480	303	850	198
鹿追町	943	375	503	454	1,324	106
新得町	2,516	467	864	624	895	141
清芽町	1,791	973	1,170	518	2,235	339
中札内村	1,753	1,494	818	501	3,116	418
更別村	831	300	191	261	485	49
忠類村	623	270	541	272	315	74
大広村	346	207	281	122	256	55
大樹町	1,445	543	1,514	318	446	258
広尾町	1,504	688	2,428	345	201	278
幕田町	3,569	1,255	1,383	975	1,297	546
池田町	2,988	676	771	596	1,061	444
豊頃町	919	479	571	275	979	85
本足町	2,490	669	1,247	1,016	1,195	530
寄別町	2,828	680	1,491	707	686	278
陸奥町	1,589	314	735	245	286	54
浦幌町	1,734	661	998	614	994	297
計	34,072	12,987	17,989	9,700	21,809	5,229

7	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
相 沢 武 彦 (公明・新)							
622	3,844	92	3,986	3,986	—	—	—
1,268	6,380	87	6,467	6,471	—	4	—
132	1,578	27	1,605	1,605	—	—	—
224	877	27	904	904	—	—	—
392	2,541	34	2,575	2,575	—	—	—
1,797	11,456	167	11,623	11,624	—	1	—
331	3,619	50	3,669	3,669	—	—	—
173	3,286	54	3,340	3,340	—	—	—
335	4,158	83	4,241	4,241	—	—	—
606	4,850	71	4,921	4,921	—	—	—
465	3,180	63	3,243	3,243	—	—	—
6,345	45,819	755	46,574	46,579	—	5	—
266	2,172	40	2,212	2,212	—	—	—
513	4,791	204	4,995	4,995	—	—	—
945	7,850	127	7,977	7,978	—	1	—
763	4,216	91	4,307	4,307	—	—	—
1,738	12,295	160	12,455	12,456	—	1	—
482	4,079	101	4,180	4,180	—	—	—
1,358	10,469	233	10,702	10,702	—	—	—
578	4,656	90	4,746	4,746	—	—	—
804	4,225	107	4,332	4,332	—	—	—
7,447	54,753	1,153	55,906	55,908	—	2	—
1,487	14,068	225	14,293	14,296	—	3	—
275	4,158	95	4,253	4,253	—	—	—
343	4,673	108	4,781	4,783	—	2	—
361	4,066	66	4,132	4,132	—	—	—
523	6,030	118	6,148	6,148	—	—	—
807	7,833	119	7,952	7,952	—	—	—
703	8,803	158	8,961	8,964	—	3	—
147	2,264	32	2,296	2,296	—	—	—
160	2,255	66	2,321	2,321	—	—	—
92	1,359	51	1,410	1,410	—	—	—
367	4,891	106	4,997	4,997	—	—	—
561	6,005	140	6,145	6,149	—	4	—
678	9,703	220	9,923	9,923	—	—	—
524	7,060	269	7,329	7,329	—	—	—
457	3,765	102	3,867	3,868	—	1	—
609	7,756	210	7,966	7,967	—	1	—
934	7,604	216	7,820	7,829	5	4	—
320	3,543	65	3,608	3,608	—	—	—
637	5,935	161	6,096	6,100	—	4	—
9,985	111,771	2,527	114,298	114,325	5	22	—

区分	1	2	3	4	5	6
町村別	吉田 忠三郎 (社会・前)	小笠原 真子 (共産・前)	高橋 辰夫 (無所属・新)	西田 信一 (自民・前)	河口 陽一 (自民・前)	対馬 孝且 (社会・新)
(釧路支庁)						
釧路村	238	610	718	941	535	677
厚岸町	637	1,281	1,743	945	1,018	1,531
浜中町	198	578	588	679	853	1,182
標茶町	739	1,024	1,009	637	1,431	1,418
弟子屈町	590	635	1,177	733	672	1,504
阿寒町	212	327	1,339	478	588	771
鶴居町	52	198	126	107	654	269
白糠町	572	1,347	973	1,243	763	1,584
音別町	142	198	501	321	384	225
計	3,380	6,198	8,174	6,084	6,898	9,161
(根室支庁)						
別海町	388	1,452	2,051	918	1,885	1,255
中標津町	647	890	1,924	578	1,497	2,242
標津町	283	258	804	512	592	968
羅臼町	126	325	1,480	309	130	656
計	1,444	2,925	6,259	2,317	4,104	5,121

投 票 結 果 に 関

区分 支庁・市区別	選挙当日の有権者数 (人)			投票者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計
石 狩 渡 島 後 志 空 知	20,084	20,892	40,976	15,716	15,934	31,650
	62,024	67,074	129,098	43,931	50,282	94,213
	25,176	27,264	52,440	19,278	21,646	40,924
	47,125	52,830	99,955	35,584	39,791	75,375
上 川 留 萌 宗 谷 網 走 胆 振	49,855	54,329	104,184	41,393	44,181	85,579
18,984	21,286	40,270	15,487	17,666	33,153	
16,763	18,079	34,862	14,199	15,420	29,619	
65,977	71,349	137,326	55,205	58,712	113,917	
26,878	29,185	56,063	22,532	24,044	46,576	
日 高 十 勝 釧 路 根 室	33,568	35,670	69,238	27,120	28,785	55,905
	64,839	69,682	134,521	55,571	58,745	114,316
	29,051	30,126	5,177	22,908	23,741	46,649
	16,627	16,718	33,345	12,978	12,695	25,673
支 庁 計	523,343	566,010	1,089,353	421,215	454,014	875,229

7 相沢武彦 (公明・新)	有効投票数 (A)	無効投票数 (B)	投票総数 (A)+(B)	投票者総数	不 符 合 の 内 訳		
					不 受 理	持 帰 り	そ の 他
642	4,361	101	4,462	4,462	—	—	—
1,050	8,205	199	8,404	8,404	—	—	—
647	4,725	89	4,814	4,814	—	—	—
660	6,918	233	7,151	7,151	—	—	—
700	6,011	248	6,259	6,264	—	5	—
568	4,283	82	4,365	4,365	—	—	—
113	1,519	40	1,559	1,559	—	—	—
955	7,437	127	7,564	7,569	3	2	—
217	1,988	75	2,063	2,063	—	—	—
<b>5,552</b>	<b>45,447</b>	<b>1,194</b>	<b>46,641</b>	<b>46,651</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>—</b>
1,138	9,087	130	9,217	9,217	—	—	—
927	8,705	134	8,839	8,850	10	1	—
457	3,874	57	3,931	3,931	—	—	—
595	3,621	57	3,678	3,678	—	—	—
<b>3,117</b>	<b>25,287</b>	<b>378</b>	<b>25,665</b>	<b>25,676</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>—</b>

す る 調 (全 国 区)

昭和49年7月7日執行

棄 権 者 数 (人)			投 票 率 (%)			前 回 投 票 率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
4,368	4,958	9,326	78.25	76.27	77.24	66.91	64.10	65.48
18,093	16,792	34,885	70.83	74.96	72.98	56.71	60.55	58.71
5,898	5,618	11,516	76.57	79.39	78.64	61.58	63.78	62.73
11,541	13,039	24,580	75.51	75.32	75.41	64.78	63.07	63.88
7,079	9,139	16,218	84.74	82.26	83.43	73.32	68.83	70.96
8,462	10,143	18,605	83.03	81.33	82.14	72.03	68.77	70.34
3,497	3,620	7,117	81.58	82.99	82.33	68.59	67.63	68.09
2,564	2,679	5,243	85.70	85.20	84.96	75.05	73.37	74.18
10,772	12,637	23,409	83.67	82.24	82.95	71.41	66.85	69.04
4,346	5,141	9,487	83.83	82.38	83.08	69.79	67.13	68.41
6,448	6,885	13,333	80.79	80.70	80.74	67.08	67.46	67.27
9,268	10,937	20,205	85.71	84.30	84.98	74.86	71.55	73.15
6,143	6,385	12,528	78.85	78.81	78.83	64.26	62.19	63.21
3,649	4,023	7,672	78.05	75.94	76.99	64.25	61.00	62.63
<b>102,128</b>	<b>111,996</b>	<b>214,124</b>	<b>80.49</b>	<b>80.21</b>	<b>80.34</b>	<b>68.23</b>	<b>66.38</b>	<b>67.27</b>

区分 支庁・ 市区別	選挙当日の有権者数 (人)			投票者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計
札幌市	390,879	409,116	799,995	276,728	292,019	568,747
中央区	65,249	74,610	139,859	43,681	50,473	94,154
中北区	52,350	54,158	106,508	36,988	38,733	75,721
東区	62,639	64,380	127,019	44,224	46,267	90,491
白石区	62,055	63,695	125,750	44,149	46,022	90,171
豊平区	57,203	59,156	116,359	39,285	41,408	80,693
南区	33,237	32,830	66,067	25,637	24,320	50,007
西区	58,146	60,287	118,433	42,714	44,796	87,510
函館市	94,636	111,837	206,473	67,908	79,625	147,533
小樽市	60,087	71,385	131,472	45,218	52,817	98,035
旭川市	100,986	109,677	210,663	76,832	83,168	160,000
室蘭市	52,903	54,550	107,453	40,516	41,009	81,525
釧路市	65,277	69,559	134,836	47,667	51,303	98,970
帯広市	45,834	48,292	94,126	32,943	34,261	67,204
北見市	28,556	31,096	59,652	22,415	24,188	46,603
夕張市	18,708	20,105	38,813	14,451	14,867	29,318
岩見沢市	22,931	25,267	48,198	17,751	18,856	36,607
網走市	13,515	14,906	28,421	60,622	11,192	21,814
留萌市	12,631	13,470	26,101	9,104	9,660	18,764
小樽市	41,641	42,178	83,819	31,923	32,418	64,341
稚内市	17,731	18,740	36,471	12,558	13,389	25,947
美幌市	13,020	14,851	27,871	10,107	11,064	21,171
芦名市	12,542	13,823	26,365	9,967	10,783	20,750
江別市	23,387	24,552	47,939	18,287	19,089	37,376
赤平市	9,399	10,242	19,641	7,413	8,022	15,435
紋別市	10,546	11,762	22,308	8,157	9,230	17,387
士別市	10,158	11,239	21,397	7,175	7,456	14,631
名寄市	11,659	12,082	23,741	9,594	9,641	19,235
三根市	9,090	10,358	19,408	7,278	8,165	15,443
笠岡市	13,742	14,856	28,598	9,080	9,408	18,788
千歳市	21,538	17,828	39,366	17,108	13,709	30,517
滝川市	15,925	17,167	33,092	12,456	13,110	25,566
砂川市	8,158	9,002	17,160	6,734	7,471	14,205
歌志内市	4,260	4,838	9,098	3,532	3,882	7,414
深川市	11,807	13,331	25,138	9,490	10,405	19,895
富良野市	9,292	10,446	19,738	7,376	7,877	15,253
登別市	16,230	16,810	33,040	12,753	13,035	25,788
恵庭市	12,935	11,785	24,720	10,680	9,403	20,083
伊達市	10,252	11,444	21,696	8,512	9,301	17,813
市計	1,190,215	1,276,594	2,466,809	882,335	939,823	1,822,158
合計	1,713,558	1,842,604	3,556,162	1,303,550	1,393,837	2,697,387



棄権者数 (人)			投票率 (%)			前回投票率 (%)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
114,151	117,097	231,248	70.80	71.38	71.09	53.33	54.64	53.99
21,568	24,137	45,705	66.95	67.65	67.32			
15,362	15,425	30,787	70.66	71.52	71.09			
18,415	18,113	36,528	70.60	71.87	71.24			
17,906	17,675	35,579	71.14	72.25	71.71			
17,918	17,748	35,666	68.68	70.00	69.35			
7,550	8,510	16,060	77.28	74.08	75.69			
15,432	15,491	30,923	73.46	74.30	73.89			
26,728	32,212	58,940	71.76	71.20	71.45	53.84	51.70	52.68
14,869	18,568	33,437	75.25	73.99	74.57	56.42	53.83	55.02
24,154	26,509	50,663	76.08	75.83	75.95	56.60	53.40	54.94
12,387	13,541	25,928	76.59	75.18	75.87	56.79	55.06	55.91
17,610	18,256	35,866	73.02	73.75	73.40	57.03	56.31	56.66
12,891	14,031	26,922	71.87	70.95	71.40	59.45	58.25	58.84
6,141	6,908	13,046	78.49	77.78	78.12	60.79	58.31	59.51
4,257	5,238	9,495	77.25	73.95	75.54	59.54	53.10	56.21
5,180	6,411	11,591	77.41	74.63	75.95	57.84	52.98	55.31
2,893	3,714	6,607	78.59	75.08	76.75	64.33	61.94	63.08
3,527	3,810	7,337	72.08	71.71	71.89	59.41	54.68	56.97
9,718	9,760	19,478	76.66	76.86	76.76	55.62	55.28	55.45
5,173	5,351	10,524	70.83	71.45	71.14	55.61	53.60	54.58
2,913	3,787	6,700	77.63	74.50	75.96	63.11	57.24	59.99
2,575	3,040	5,615	79.47	78.01	78.70	62.09	60.24	61.12
5,100	5,463	10,563	78.19	77.75	77.97	62.82	62.53	62.67
1,986	2,220	4,206	78.87	78.32	78.59	58.27	55.19	56.68
2,389	2,532	4,921	77.35	78.47	77.94	60.19	60.40	60.30
2,983	3,783	6,766	70.63	66.34	68.38	60.13	54.55	57.18
2,065	2,441	4,506	82.29	79.80	81.02	65.93	60.98	63.39
1,772	2,193	3,965	80.42	78.83	79.57	59.33	53.05	56.03
4,662	5,148	9,810	66.07	65.35	65.70	49.71	47.55	48.58
4,430	4,419	8,849	79.43	75.21	77.52	66.76	59.11	63.37
3,469	4,057	7,526	78.22	76.37	77.26	62.36	59.06	60.66
1,424	1,531	2,955	82.54	82.99	82.78	66.93	66.13	66.51
728	956	1,684	82.91	80.24	81.49	67.12	60.93	63.88
2,317	2,926	5,243	80.38	78.05	79.14	66.80	61.73	64.13
1,916	2,569	4,485	79.38	75.41	77.28	69.24	63.93	66.45
3,477	3,775	7,252	78.58	77.54	78.05	58.88	56.65	57.75
2,255	2,382	4,637	82.57	79.79	81.24	70.28	65.24	67.92
1,740	2,143	3,883	83.03	81.27	82.10	59.89	56.53	58.11
307,880	336,771	644,651	74.13	73.62	73.87	56.98	55.39	56.17
410,008	448,767	858,775	76.07	75.64	75.85	60.57	58.94	59.73

参議院議員全国区党派別

区分	自由民主党	日本社会党	日本共産党	公明党	民社党
支庁・市区別					
石狩	13,701.470	6,030.965	2,802.499	3,200.680	807.478
渡島	41,641.118	19,209.613	7,215.880	8,489.197	3,467.105
松山	18,862.626	8,080.890	3,635.057	3,504.316	1,671.994
後志	33,349.075	16,023.204	6,757.666	7,050.315	1,873.465
空知	38,298.823	17,040.237	5,789.567	5,064.601	4,003.040
上川	39,355.340	22,238.927	5,675.600	5,380.724	2,098.244
留萌	16,335.270	7,445.498	1,959.358	2,133.350	717.278
宗谷	13,219.485	7,439.592	2,331.600	2,828.475	553.363
網走	51,403.512	33,410.991	6,618.750	7,054.003	2,621.915
胆振	20,224.471	8,724.766	4,261.132	4,065.550	1,924.452
日高	24,920.128	10,992.089	5,628.986	4,478.414	1,650.362
十勝	48,109.012	35,086.341	8,080.846	6,760.151	2,366.813
釧路	21,176.192	10,470.186	4,162.275	3,955.944	1,001.457
根室	12,125.435	5,583.847	1,913.305	2,241.627	560.093
支庁計	392,721.957	207,777.146	66,832.521	66,207.347	25,317.059
札幌市	199,506.859	107,762.361	70,646.436	70,873.902	19,860.685
中央区	40,267.774	12,759.016	9,880.976	10,312.132	3,640.162
北区	24,859.726	14,682.288	10,446.887	9,197.720	2,624.516
東区	29,334.642	18,292.497	12,388.905	11,605.568	3,062.897
白石区	27,262.480	19,275.091	12,930.934	13,595.218	2,754.628
豊平区	28,057.214	14,724.809	10,176.941	10,691.720	2,816.734
南区	21,672.343	8,785.656	4,390.932	4,728.187	1,804.754
西区	28,322.680	19,243.004	10,430.861	10,743.357	3,155.994
函館市	50,275.082	34,311.086	18,929.731	15,435.504	7,437.791
小樽市	35,701.593	18,632.132	15,275.575	10,969.349	2,931.144
旭川市	62,961.924	40,751.071	14,015.669	13,360.886	6,400.344
室蘭市	27,342.743	19,952.828	9,861.900	8,153.150	4,256.771
釧路市	32,714.457	28,607.376	9,802.706	11,700.657	3,984.004
帯広市	27,627.726	17,355.408	5,372.480	6,075.826	2,246.582
北見市	18,964.213	13,190.276	3,273.428	3,178.896	2,039.297
夕張市	6,041.161	13,625.080	3,085.739	2,923.684	516.227
岩見沢市	12,595.377	9,688.606	3,910.707	2,637.586	2,706.537
網走市	8,816.767	5,766.769	1,697.000	1,848.649	947.032
留萌市	8,228.410	5,025.050	1,138.000	1,360.466	575.020
苫小牧市	22,516.359	14,055.792	7,081.628	6,760.619	3,617.704
内田市	9,396.338	7,311.373	2,152.872	2,957.811	844.144
稚内市	7,689.614	4,502.809	2,838.800	2,145.571	1,063.201
美唄市	5,953.367	8,298.399	1,675.045	2,148.714	633.203
江別市	13,141.952	8,789.224	4,103.918	3,535.456	1,714.433
赤平市	4,022.048	5,654.623	1,599.464	1,903.550	373.536
紋市	7,014.707	4,759.184	1,250.000	1,261.444	699.255
紋市	5,885.376	3,969.550	1,121.000	1,212.222	430.626
名寄市	8,387.971	5,262.808	1,880.000	1,184.096	878.251
三笠市	3,764.876	6,567.557	1,572.000	1,379.666	538.180
根室市	8,420.086	3,872.888	1,629.000	1,615.483	471.553
千歳市	17,203.243	3,676.868	1,553.000	2,995.978	621.088
滝川市	10,148.138	6,655.051	2,203.857	1,936.983	1,347.394
砂川市	4,469.629	4,038.505	1,301.076	1,387.000	1,069.110
歌志内市	1,773.555	2,854.440	995.000	745.400	100.139
深川市	8,857.713	4,732.208	1,792.935	1,272.560	1,025.753
富良野市	6,419.176	4,231.469	1,301.769	1,009.322	403.288
登別市	8,448.804	7,208.574	2,974.739	2,590.818	769.315
恵庭市	11,866.784	2,481.093	1,337.692	1,584.224	350.907
伊達市	7,219.785	3,294.050	1,721.833	1,720.836	751.858
市計	663,375.833	426,884.458	198,294.999	189,866.308	71,604.372
合計	1,056,097.790	634,661.604	265,127.520	256,073.655	96,921.431

支 庁 ・ 市 区 別 得 票 数 調

諸 派	無 所 属	有 効 投 票 数	無 効 投 票 数	持 帰 り 他 そ の	投 票 者 総 数
116.172	3,090.693	29,750	1,897	3	31,650
344.240	7,396.739	87,734	6,468	11	94,213
117.934	2,490.113	38,363	2,551	10	40,924
199.466	5,554.679	70,808	4,553	14	75,375
181.913	5,982.692	76,361	5,310	9	81,680
210.038	5,855.998	80,815	4,755	9	85,579
111.651	2,215.540	30,918	2,234	1	33,153
85.136	1,549.298	28,008	1,606	5	29,619
246.281	7,228.399	108,537	5,320	10	113,917
156.041	4,356.513	43,714	2,862	0	46,576
169.730	4,656.221	52,496	3,406	3	55,905
230.930	7,760.776	108,395	5,898	23	114,316
115.318	3,236.563	44,118	2,514	17	46,649
67.722	2,062.940	24,555	1,113	5	25,673
<b>2,322.572</b>	<b>63,437.164</b>	<b>824,622</b>	<b>50,487</b>	<b>120</b>	<b>875,229</b>
1,076.950	86,532.730	556,210	12,406	131	568,747
131.458	15,228.472				
107.678	12,301.175				
272.154	13,382.325				
145.557	12,302.078				
152.121	12,386.451				
65.918	7,484.199				
152.064	13,448.030				
241.124	16,246.672	142,877	4,632	24	147,533
150.253	11,225.944	94,886	3,106	43	98,035
784.775	17,135.319	154,910	5,056	34	160,000
138.973	9,498.623	79,205	2,311	9	81,525
158.777	9,286.011	96,254	2,640	76	98,970
119.073	6,352.893	65,150	2,049	8	67,204
79.610	4,507.271	45,233	1,364	6	46,603
43.502	1,836.593	28,072	1,245	1	29,318
48.449	3,445.728	35,033	1,570	4	36,607
36.575	1,846.199	20,959	351	4	21,814
35.076	1,742.966	18,105	655	4	18,764
137.530	7,961.356	62,131	2,208	2	64,341
34.506	2,068.946	24,766	1,173	8	25,947
53.011	1,874.984	20,168	993	10	21,171
39.731	1,256.530	20,005	744	1	20,750
51.092	5,030.913	36,367	1,008	1	37,376
26.123	1,003.645	14,583	851	1	15,435
41.670	1,438.728	16,465	922	0	17,387
31.342	1,188.924	13,839	792	0	14,631
37.454	1,643.410	18,474	738	23	19,235
30.250	932.463	14,785	657	1	15,443
42.745	1,941.234	17,993	788	7	18,788
55.781	3,210.033	29,316	1,194	7	30,517
42.709	2,326.857	24,661	900	5	25,566
27.727	1,315.945	13,609	582	14	14,205
16.266	444.191	6,929	485	0	7,414
40.686	1,340.135	19,062	832	1	19,895
34.714	1,208.252	14,608	639	6	15,253
47.300	2,736.438	24,776	1,010	2	25,788
42.158	1,861.128	19,524	553	6	20,083
62.299	2,094.328	16,865	948	0	17,813
<b>3,258.231</b>	<b>212,535.389</b>	<b>1,765,820</b>	<b>55,899</b>	<b>439</b>	<b>1,822,158</b>
<b>5,580.803</b>	<b>275,972.553</b>	<b>2,590,442</b>	<b>106,386</b>	<b>559</b>	<b>2,697,387</b>

## 6 月 の メ モ

- 5 ○自然保護憲章制定国民会議、国民の総意で自然を守ろうという「自然保護憲章」の制定を全会一致で採択。自然保護団体、政財界、教育・労働・婦人団体、地方公共団体などの代表が参加。  
○道議会、プロパンガスの北海道価格に係る公聴会を開催。
- 7 ○道観光連盟、48年の本州本道間のカーフェリー利用客動向調査の結果を発表。上下便で169万7,000人と前年の3.5%増加。本州客の80%は観光客、特にその半数はヤング。東北、東海の客が急増。
- 8 ○道開発調整部、48年の工業統計調査結果（速報）を発表。事業所数、従業員数とも1年間で大きな変化なく、製造品の出荷額は前年より伸び率30.8%と30年以来最高。
- 10 ○道公衆浴場入浴料金審議会、入浴料金の引上げを知事に答申。新料金は、大人90円（現行70円）、中人45円（同25円）、小人20円（同15円）の大幅アップ。16日から実施。
- 14 ○参議院議員選挙告示。投票日は7月7日。改選数全国区50人、地方区76人。  
○札幌通産局、苫小牧東部工業基地の企業の工業用水需要量調査結果をまとめた。53年段階は10万トン、60年代は日量158万トンと当初より下回る。
- 17 ○最高裁、青函連絡船渡島丸の合理化反対スト参加による免職処分無効確認請求訴訟で、懲戒免職は「懲戒権の乱用」とした2審判決（札幌高裁函館支部）を支持、国鉄側の上告を棄却。  
○日本不動産研究所、「全国市街地価格指数」を発表。全国市街地で、昨年9月からの半年間で7%に落ち、前回調査（昨年3月～9月）の平均15%に比べほぼ半分。6大都市の地価上昇率は、前回平均14%から4%にまで落ち込んだ。  
○北電、有珠漁協組と伊達市との間における漁業振興、漁業被害防止協定締結の交渉は、北電が漁業振興資金3億6,000万円、組合再建助成金6,000万円を、伊達市が再建助成金3,000万円を上積みし、計4億5,000万円で最終妥結。
- 18 ○閣議、第3次国連海洋法会議に望む基本方針を決めた。①経済水域200カイリは会議の動向によって対処、②領海12カイリは会議全体の合意を得れば同調、③深海海底資源の開発は米国提案によるライセンス方式をとる。  
○札幌通産局、49年度の道内鉱工業設備動向調査を発表。工事ベース2,522億円、対前年比41%増。
- 22 ○建設省、公有地拡大推進法に基づく本年3月までの地方公共団体の公有地取得状況を発表。42都道府県と9指定市で920件、334万1,000平方メートルの用地先買いが成立。  
○道指導漁連、漁船海難の総合的な対策を推進するため、道のあっせんにより「北海道漁船海難防止センター」を設立発足。
- 24 ○閣議、西村英一氏の国務相（国土庁長官）の任命を了承。
- 25 ○閣議、74年版通商白書を了承。オイルマネー還流の具体化等構造的転換を強調。
- 28 ○通産省、1985年（昭和60年）までの経済成長や産業構造のあり方を描いた「日本経済の長期ビジョン」をまとめた。経済実質成長率7%、消費者物価上昇率6%程度（年率）を想定している。
- 29 ○第2回定例道議会開会。会期19日間。  
○道開発調整部、「北海道におけるエネルギーの現状」と題する初のエネルギー白書を発表。  
○道鉱業振興委員会石炭鉱業対策専門委員会（知事の諮問機関）は、①高い石炭の位置づけの確立、②閉山炭田の再開発、立地条件の良い石狩炭田の新鉱開発の推進、③保安監督指導体制の強化、④労働力確保のための協議機関の設置、⑤石炭のガス・液化技術の開発の推進などを提言。  
○道季節移動労働者福祉協会発足。
- 30 ○自治省、過疎対策の47年事業実績を中心とした「過疎対策の現況」（過疎白書）を発表。過疎地域の市町村1,046（49年4月1日現在）で全国市町村数の32.5%を占め、その人口は900万人で総人口の8.7%、面積は全国土の41.8%を占めている。

## 7 月 の メ モ

- 1 ○総理府、道開発審議会の委員に道知事、道議長など12名を任命。
- 2 ○アルゼンチンペロン大統領死去。イサベル・ペロン夫人が正式に大統領に昇格。  
○労働省、48年賃金制度調査結果速報をまとめ発表。仕事給体系（職務給、職能給、職種給など総称）を採用する企業がふえ、総合給体系（年齢、勤続などの属人的要素職務内容を勘案したもの）は減少していることが判明。
- 4 ○電源開発調整審議会、49年から56年までの8年間の電源開発計画とこれに基づく本年度の新規発電着工計画を正式に決定。
- 7 ○参議院議員選挙投票日。
- 9 ○閣議、昭和49年「国土建設の現況」（建設白書）を了承。①民間部門に偏った資源配分を是正し、公的部門に重点を移す、②生活環境優先の思想を徹底し、環境との調和を図るなどに配慮すべきだとしている。
- 10 ○通産省工業技術院、省エネルギー技術についての調査中間報告書をまとめた。具体的方策として、①エネルギー消費機器の効率向上、②廃熱利用技術の開発、③総合熱供給システムの開発、④廃棄物利用システムの確立、⑤省エネルギー型交通システムの確立、⑥産業構造の転換と新エネルギー開発をあげている。
- 12 ○三木環境庁長官が辞任、後任に毛利松平氏が就任。  
○閣議、「わが国外交の近況」（49年版外交青書）を了承。資源確保の立場から、中近東、アフリカ、中南米諸国との首脳外交を含めた新しい多角外交を強調。  
○農林省、49年度の農業観測を発表。畜産物は配合飼料などの大幅値上りで牛乳、豚肉、鶏卵、ブロイラーなどは大幅値上りとなり、ミカン、野菜の増産によりほぼ前年並みだとしている。
- 14 ○厚生省、47年度の国民医療費調査をまとめ発表。医療機関に支払われた費用総額3兆3,994億円に達し、前年度より24.7%、6,744億円の大幅増。1人当り換算3万1,600円、また10年前の5.5倍となったとしている。
- 15 ○札幌地検、大教組の大野委員長ら幹部5人を公判維持上困難であるとして不起訴（起訴猶予）とした。
- 16 ○福田大蔵大臣、保利行政管理庁長官の辞任に伴い、後任に蔵相は大平外相、外相は木村俊夫氏、行政管理庁長官は細田吉蔵氏が就任。また、中川大蔵政務次官も辞任。  
○閣議、「48年労働経済の分析」（労働白書）を了承。  
物価の高騰は春闘による大幅賃金の上昇が原因でないと指摘、総需要抑制の堅持を訴えている。
- 海上保安庁、48年の「海上保安の現況」（海上保安白書）を発表。海難事故で死亡又はゆくえ不明361人で最近5カ年間で最も少なく、海上公害事件は1,818件にのぼり、依然として海洋汚染の多発が目立っている。
- 18 ○道生活環境部、本道の「49年の公害の状況に関する年次報告」をまとめ発表。拡大する騒音、悪臭、事前評価の補充が必要。
- 19 ○第2回定例道議会、時間切れ流会。  
○運輸省、「48年度の海運現況」（海運白書）を発表。
- 22 ○石炭鉱業審議会総合部会、「石炭の長期展望」をまとめ通産相に報告。国内炭の供給量は、長期的にみて年間2,000万トン以上が可能とし、国内炭の安定供給のため、①石炭企業間の格差解消と国の助成措置、②労働条件の引上げと炭鉱離職者の再雇用の促進、③新鉱の開発をあげている。  
○道民生活安定審議会（知事の諮問機関）の第1回総会開催。会長に伊藤俊夫氏（北大名誉教授）を選出。  
○閣議、本年度生産者米価60キロ当たり1万4,156円に決定、対前年比37.4%アップ。
- 24 ○第1回臨時道議会開会。
- 25 ○第1回臨時道議会閉会。
- 26 ○参議院本会議、議長に河野謙三氏、副議長に前田佳都男氏（自民）を選出。  
○閣議、昭和49年の「警察白書」（警察活動の現況）を了承。①今後の警察の進むべき道、②当面する警察活動の現況、③外勤警察官の現状を骨子としている。  
○人事院、国家公務員の給与を「暫定払い」分と今回の定昇分を含め実質3万4,823円（昨年比32.48%）の引上げ、期末・勤勉手当5.2カ月、平均67万円（現行4.8カ月分）を支給するよう勧告。
- 30 ○自然環境保全審議会公園部会（環境庁長官の諮問機関）、利尻礼文園定公園にサロベツ原野を加えて「利尻礼文サロベツ国立公園」に昇格させることを答申。  
○農林省、「49年農業調査」を発表。純農家数は502万7,000戸で、前年に比べ7万3,000戸、1.4%の減など。
- 31 ○第73臨時国会は、衆院本会議で内閣不信任案を否決、参院本会議で田中首相問責決議案を否決して閉会。  
○道民生活安定審議会、道民生活安定条例に基づく指定物資に食肉、灯油、石炭など38品目を選定し、知事に答申。